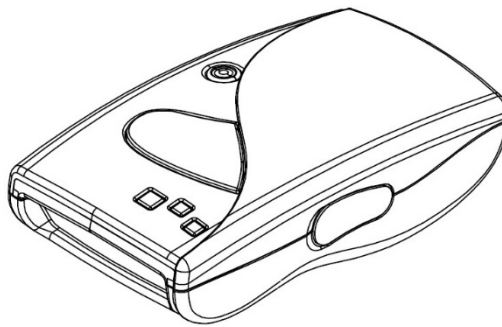


バーコードリーダー
AC-201 シリーズ
取扱説明書

Ver.A1.2

はじめにお読み下さい



株式会社エイポック

www.a-poc.co.jp

- ・製品の仕様および本書は改良のため予告無く変更される場合があります。
- ・本書に記載されている他社製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製することを禁止します。

目次

改訂履歴	6
おことわり／取り扱い上の注意	7
 第1章 はじめに	 11
1-1 本書について	11
1-2 製品の特徴	11
1-3 型番と主な仕様	11
1-4 付属品	11
1-5 別途ご用意下さい	11
1-6 各部の名称	12
 第2章 セットアップ	 13
2-1 製品の取り出し	13
2-2 スキャナのセットアップ	13
2-3 充電して下さい	13
2-4 最初に設定して下さい（キーボード配列の設定）	13
2-5 よく遣う設定（Enter・Tab・なし）	14
 第3章 バーコードの読み取り	 15
3-1 バーコードの読み取り方	15
3-2 ブザー	15
3-3 バイブレータ	15
3-4 ブザーとLEDの意味	16
 第4章 データ転送形式	 19
4-1 データ転送形式について	19
4-2 データ転送形式の説明図	19
4-3 データ転送形式の設定変更	19
 第5章 日時の設定	 20
4-1 日時の設定	20
4-2 日時を転送する設定について	20
 第6章 3つのモード 切替と固定	 21
6-1 スキャナのモードを知る	21
6-2 ケーブルモードに切り替える	22
6-3 メモリモードに切り替える	22
6-4 BTモードに切り替える	22
6-5 モードを固定する	23

第7章	ケーブルモード 設定と使い方	24
7-1	キーボード配列の設定（キーボード/メモリ共通）	24
7-2	USB 接続中の充電オン/オフ	24
7-3	バーコードを読み取る	25
7-4	困ったときは データ転送すると改行しない、横に連続で出る、全角になるとき	25
7-5	ケーブルモードの改行設定を変更する	26
7-6	ケーブルモードで日時を転送する	27
第8章	メモリモード 設定と使い方	28
8-1	キーボード配列の設定（キーボード/メモリ共通）	28
8-2	バーコードを読み取る	28
8-3	2度読み防止の設定	28
8-4	蓄積データを1件消去する	28
8-5	蓄積データを転送する	29
8-6	蓄積データを1件ずつ転送する設定	29
8-7	蓄積データの転送データ形式	30
8-8	ヘッダとフッタ	31
8-9	メモリモードの日時を転送する	32
8-10	蓄積データをすべて消去する	33
8-11	転送したら自動的に消去する設定	33
8-13	蓄積データ転送のレコード抜け対策	34
8-12	マスのストレージの設定	35
8-13	マスのストレージで蓄積データファイルを取り出す定	35
8-14	マスのストレージのデータを消去する	35
8-15	マスのストレージのデータ形式	35
第9章	BT モード(Bluetooth ワイヤレスモード) 設定と使い方	36
9-1	専用 USB ドングルとの使い方	36
9-2	専用 USB ドングルとスキャナのペアリング	38
9-3	iOS デバイス(iPad,iPhone)とスキャナのペアリング・使い方	39
9-4	Android デバイス(タブレット等)とスキャナのペアリング・使い方	41
9-5	Windows <Bluetooth 対応 PC/タブレット>とスキャナのペアリング・使い方	43
9-6	ペアリングモードに入る方法	45
9-7	ペアリング解除を防ぐ設定	45
9-8	モード切替を防ぐ設定	45
9-9	Bluetooth を切断する	45
9-10	USB 充電しながら BT モードを使う設定	46
9-11	Bluetooth 接続時間の設定	46
9-12	メモリモードの蓄積データを BT モードで転送する	47
9-13	BT モードで転送モードに入らない設定	47
9-14	BT モード データ転送速度を遅くする設定（桁落ち、文字抜け対策）	48
9-15	BT モード(Bluetooth ワイヤレス)の改行設定を変更する	49
9-16	BT モードで日時を転送する	50

第10章	メンテナンス	51
第11章	困ったときは	52
第12章	仕様	53
第13章	出荷時の初期設定一覧、コード ID 一覧	54
13-1	出荷時の初期設定一覧	54
13-2	コード ID 一覧	65
第14章	設定の方法	66
14-1	設定について	66
14-2	設定フローチャート	66
14-3	設定の初期化	67
14-4	基本的な設定	67
14-5	数値・桁数の設定	67
14-6	アスキーの設定（文字・キーの設定）	68
14-7	読み取りデータの前後に文字やキーを転送する設定	69
14-8	バーコードタイプ/コード ID/桁数を転送する設定	70
14-9	1 桁目から連続する 0（ゼロ）を削除する設定	70
14-10	読み取りデータの前方と後方を削除する設定	71
14-11	読み取りデータに文字やキーを挿入する設定	72
第15章	設定メニュー	73
15-1	初期化、設定中止、バージョン情報	73
15-2	スキャナの操作	74
15-3	動作設定 インターフェースの設定	75
15-4	動作設定 キーボード設定	76
15-5	動作設定 モード固定	77
15-6	動作設定 ボタンの設定	78
15-7	動作設定 スキャナ本体の日時設定	79
15-8	動作設定 日時の転送時設定	80
15-9	動作設定 メモリモードの動作	81
	メモリモードの動作（続き）	82
15-10	動作設定 BTモードの動作	83
15-11	動作設定 スキャニング	84
	スキャニング（続き）	85
15-12	動作設定 省電力モード	86
15-13	動作設定 ブザーの音量	87
15-14	動作設定 バイブレータ	88
15-15	動作設定 プリアンブル／プリフィックス／サフィックス／ポストアンブル	89

15-16	動作設定	コードタイプ／コードID／桁数	90
15-17	動作設定	アルファベット大文字小文字の変換／制御文字の転送	91
15-18	動作設定	UPC-A	92
15-19	読取設定	UPC-E	93
15-20	読取設定	EAN-13 / JAN-13	94
15-21	読取設定	EAN-8 / JAN-8	95
15-22	読取設定	Code39	96
15-23	読取設定	Interleaved 2 of 5	97
15-24	読取設定	Industrial 2of 5	98
15-25	読取設定	Matrix 2 of 5	99
15-26	読取設定	Codabar / NW7	100
15-27	読取設定	Code 128	101
	読取設定	Code 128 (続き) 資料、設定例	102
15-28	読取設定	Code 93	103
15-29	読取設定	Code 11	104
15-30	読取設定	MSI	105
15-31	読取設定	Plessey	106
15-32	読取設定	Telepen	107
15-33	読取設定	GS1データバー標準型 (オムニディレクショナル)	108
15-34	読取設定	GS1データバー限定型 (リミテッド)	109
15-35	読取設定	GS1データバー標準二層型 (オムニディレクショナルスタック)	110
15-36	読取設定	GS1データバー拡張型 (エキスパンデッド)	111
15-37	読取設定	GS1 データバー拡張多層型 (エキスパンデッドスタック)	112
第 16 章 保証と修理			113
付録 A サンプルバーコード			114
付録 B 英数メニュー			115

改訂履歴

Ver.A	初版発行	
Ver.A1.1	訂正	p50、p80 BT モード「日付と時刻の間のキャラクタの」設定メニューを訂正
Ver.A1.2	訂正	誤ったページを削除。15-13 以降の番号、ページ数、関連ページを訂正。

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。




おことわり

- 本製品を正しく使用するために、必ず本書をお読みにになり内容をご理解いただいた上でご使用ください。本製品の取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障・不具合およびパソコンの故障・不具合やデータの消失・破損は弊社の保証対象には含まれず、その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品はすべての USB または Bluetooth を用いた機器との接続動作を確認したものではありません。また、すべての USB を用いた機器との動作保証をするものではありません。ご使用にあたっては、USB または Bluetooth を用いた機器の動作条件と接続の可否情報を各メーカーまたは取り扱い元にご確認ください。
- 読み取りはバーコードの品質に影響を受ける為、すべての読み取りを保証するものではありません。



取り扱い上の注意

ここには、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するための注意事項を記載しております。

警告表示の意味

 危険	絶対に行ってはいけない事項。この表示の注意を守らないと、使用者が死亡または重症を負う危険が差し迫って生じる恐れがあります。
 警告	厳重に守って頂きたい事項。その指示に従わないと、生命の危険または重症を負う恐れがあります。
 注意	安全上、特に注意していただきたい事項。その指示に従わないと障害を負う恐れ、または物的損害を引き起こす可能性があります。

絵記号の意味

 警告	この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。
 注意	この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。



危険



本製品を火の中、電子レンジ、オープンや高压容器に入れないで下さい。また、本製品を加熱したりしないで下さい。
破裂、発火や火傷の原因となります。



本製品から漏れ出た液が目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けて下さい。
目に障害を与える恐れがあります。



本製品の充電には、必ず本製品付属の接続ケーブルまたは本製品専用の充電アダプタを使用してください。



プラグ、ジャックの端子をショートさせないで下さい。
発熱、破裂、発火や火傷の原因となります。特にコインやヘヤピンなどの金属製品と一緒に携帯・保管しないで下さい。



直射日光の当たる場所、炎天下の車中、暖房器具の近くで使用または放置をしないで下さい。
破裂、発火や火傷の原因となります。



本製品の分解・改造・修理を自分でしないで下さい。
発熱、破裂、発火、火傷や感電の原因となります。また、許可なく本製品のシールやカバーをはずした場合、修理をお断りする場合があります。

**警告**

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。



液体や異物などが内部に入ったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。



煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。



本製品を落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。与えてしまったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。



接続ケーブルは、必ず付属品（または指定品）をご使用下さい。

付属品（または指定品）以外を使用すると、電圧や端子の極性が異なる場合があります。この場合、発煙や発火の恐れがあります。本製品の故障の原因にもなります。



読み取り窓から出る赤い光を直接目でのぞき込まないで下さい。

目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。



読み取り窓から出る赤い光を人の目に向けしないで下さい。

目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。



風呂場など、水分や湿気の多い場所では、本製品を使用しないで下さい。

火災になったり、感電する恐れがあります。



濡れた手で本製品に触れないで下さい。

パソコンおよび周辺機器の電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因になります。また、コンセントに接続されていなくとも故障の原因になります。



小さなお子様が電気製品を使用する場合は、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導の下で行うようにして下さい。



プラグ、ジャックの周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でふき取ってください。

そのまま使い続けると、火災、感電の原因となります。

**注意**

パソコンおよび周辺機器の取扱いは、各説明書をよく読んで、各メーカーが決める手順に従ってください。



静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにして下さい。

人体からの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損される恐れがあります。



本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスクなど）のデータをすべて CD-ROM など外部の記憶装置にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。



次の場所には設置しないで下さい。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- ・ 強い磁界が発生するところ、静電気が発生するところ
- ・ 温度、湿度が製品の説明書が定めた使用環境を超えところ、または結露するところ→故障の原因となります
- ・ 振動が発生するところ→けが、故障、破損の原因となります
- ・ 平らでないところ→転倒したり、落下したりしてけがや故障の原因となります
- ・ 直射日光が当たるところ、火気の周辺、または熱気のこもるところ→故障や変形の原因となります
- ・ 漏電または漏水のあるところ→故障や感電の原因となります



シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品を拭かないで下さい。製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。



本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って下さい。

条例については、各地地方自治体にお問い合わせ下さい。

**法令準拠と注意**

この装置は FCC 規制パート 15 に適合しています。この装置は次の 2 つの条件に従って動作するものとします。

- (1)本製品によって、有害な干渉が発生することはない。
 (2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。

本製品は FCC 規制のパート 15 に従い、クラス B デジタル機器の制限に適合するようにテスト済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。その場合には、ユーザー側の負担で次のような干渉防止措置を講じる必要があります。

- ・ 受信アンテナの位置や方向を変える
- ・ 装置と受信機の距離をとる
- ・ 装置と受信機を別の回路のコンセントに接続する
- ・ 経験のあるテレビ・ラジオの技術者に相談する

**電波に関する注意**

- ・ 本製品は、電波法で定められた 2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合認証を受けた製品を内蔵しています。
従って、日本国内のみの使用目的において無線局の免許は必要ありません
- ・ 本製品は、技術基準適合証明を受けた製品を内蔵していますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 本製品を分解・改造すること
 - ・ 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- ・ 本製品は、次の場所で使用しないで下さい。
 - ・ 電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害の発生するところ、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近く（環境により電波が届かない場合があります）
 - ・ 人命に関わる医療用機器の近く
- ・ 本製品は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - ・ 産業・科学・医療用機器
 - ・ 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - 1.構内無線局（免許を要する無線局）
 - 2.特定省電力無線局（免許を要しない無線局）
 - ・ 無線 LAN 製品
- ・ 本製品を使用する場合、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
 - ・ 本製品を使用する前に、必ず本製品の干渉距離内に移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認の上使用を開始してください。
 - ・ 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	FF-SS 方式
想定干渉距離	40m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ構内無線局および特定省電力無線局の帯域を回避不可

レーザーの注意

本製品は IEC/EN 60825-1 Class 2 レーザー製品に準拠した製品です。製品の目的どおりに使用した場合は危険がないとみなされています。ご使用になるとき、次の点に注意して下さい。



読み取り窓から出る赤い光・レーザービームを直接目でのぞき込まないで下さい。

目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。



読み取り窓から出る赤い光・レーザービームを人の目に向けしないで下さい。

目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。



バッテリーの注意

- **本製品は、リチウムイオンポリマーバッテリーを使用しております。体積エネルギー密度 400Wh/L 以下です。**
従って、電機用品安全法が定める PSE マークは必要ありません。
- **はじめに、バッテリーを満充電して下さい。**
 - ・ 満充電になるまで約 4 時間です。
 - ・ 満充電になると、充電通知 LED が赤の点灯から点滅になります。
- **パソコンまたは USB AC 充電器(5VDC ,500mA 以上)で充電して下さい。**
 - ・ タブレットやその他の方法で充電した場合、適切に充電できず本製品のバッテリーを痛める恐れがあります。
- **バッテリーは定期的に充電して下さい。寿命がくるのを防ぎます。**
 - ・ 3 ヶ月以上、使用・充電せずに放置すると、バッテリーの特性により劣化、液漏れなど不良が生じます。
- **バッテリー使用回数の目安は次の通りです。**
AC-201L
 - ・ 約 21,000 回（5 秒に 1 回の読み取り、パイブレータ・オン、ブザー・オン）
 AC-201LW1
 - ・ 約 20,000 回（5 秒に 1 回の読み取り、パイブレータ・オフ、ブザー・オン）
- **販売元のサポートなしで、バッテリーの交換を行わないで下さい。**
お客様ご自身でバッテリー交換のため分解等を行うと、破損・故障の原因になります。
- **充電中、赤いランプが高速で点滅したら、バッテリーの寿命です。**
 - ・ すみやかに充電を中止して下さい。
 - ・ 弊社または販売店にバッテリー交換修理をご依頼下さい。バッテリーの交換は有償となります。
- **バッテリーが液漏れしていたら、直接手で触れたり、目に入らないようにして下さい。**
万一、バッテリー液に直接触れた場合はすみやかにきれいな水で洗い流し、医師に相談して下さい。

第 1 章 はじめに

1-1 本書について

本書では、バーコードリーダーAC-201 シリーズの操作方法について一般的な情報を説明します。

1-2 製品の特徴

AC-201 シリーズ（以下、本製品またはスキャナ）はバーコードの読み取りおよび入力装置です。

AC-201W1、AC-201LW1 ワイヤレスバーコードリーダー

- ケーブルモード(有線式)、メモリモード(蓄積式)、Bluetooth ワイヤレスモード(無線式)の 3 つのモードに対応。
- バーコードを読み取り USB または Bluetooth(HID)でパソコン、スマートフォン等に入力可能。
※Bluetooth HID(キーボード)入力です。Bluetooth SPP は非対応です。
- USB ドングル付きセット品もご用意。Bluetooth が無いパソコンに無線で入力が可能。
※USB ドングルは USB HID(キーボード)入力です。設定で USB COM も対応します。
- 読取方式は赤色 LED 式(AC-201W1)とレーザー式(AC-201LW1)をご用意。

AC-201L バーコードメモリースキャナ

- ケーブルモード(有線式)、メモリモード(蓄積式)の 2 つのモードに対応。
- バーコードを読み取り蓄積が可能。蓄積したデータは USB で PC に転送可能。

略称について 以下、本書ではモードを略称で表記している場合があります。

モード	略称
ケーブルモード	ケーブル
メモリモード	メモリ
Bluetooth ワイヤレスモード(Bluetooth 搭載モデルが対応)	BT、BT モード

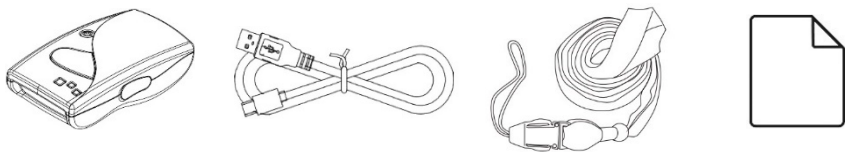
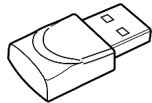
1-3 型番と主な仕様

型番	AC-201W1（USB ドングルなし）	AC-201L	AC-201LW1（USB ドングルなし）
	AC-201W1-S（USB ドングル付き）		AC-201LW1-S（USB ドングル付き）
スキャンエンジン	CMOS,赤色 LED 620nm		赤色半導体レーザー 650nm
Bluetooth	あり	なし	あり
USB	USB 2.0 (Type C)		
対応バーコード	主な 1 次元バーコード		
メモリ	8MB (JAN13 で約 60,000 件データ保存可能)		
日時機能	あり クォーツ RTC (読取日時の記録可能)		
キー	スキャンキー1、機能(消去/転送/他)キー1		
バッテリー	リチウムポリマーバッテリー 3.7V,420mAH (USB ポートで充電)		
読取回数	約 20,000 回	約 21,000 回	約 20,000 回
読取通知	LED、ブザー、バイブレータ		

ご案内 型番の「-S」は各 AC-201 シリーズに USB ドングルを同梱したセット商品の型番です。

ご案内 詳細は第 12 章 仕様を参照して下さい。

1-4 付属品 付属品がそろっていることを確認してください

付属品(すべての型番)	USB ドングル付き(-S)の付属品
<input type="checkbox"/> スキャナ本体 <input type="checkbox"/> USB ケーブル <input type="checkbox"/> ストラップ <input type="checkbox"/> かんたんガイド 	<input type="checkbox"/> 左記の付属品 <input type="checkbox"/> USB ドングル A306-CB 

ご案内 本書の印刷物は付属していません。ホームページからのダウンロードでの提供となります。

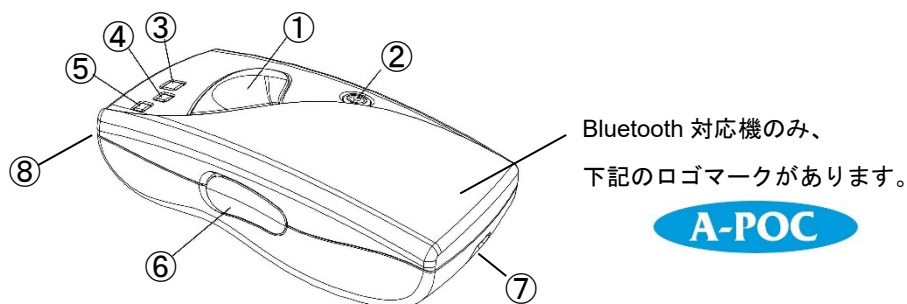
1-5 別途ご用意下さい

- 利用可能な USB ポートがあるパソコン
- 利用可能な Bluetooth に対応した機器 (Bluetooth HID プロファイル対応であること)

ご注意 本製品はすべての機器との動作を保証するものではありません。

1-6 各部の名称

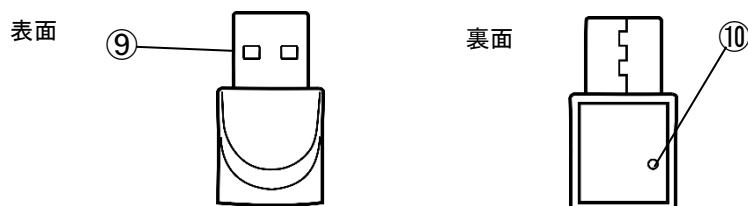
スキャナ本体 AC-201 シリーズ



メモ BT モードは Bluetooth ありのモデルが対応します。

①	大 ボタン (スキャンボタン)	バーコードを読み取る。 長押しでモード切替。 転送モードに入った後、押すと蓄積データを転送する。
②	小 ボタン	ケーブルモード/BT モード時、長いブザーが 1 回なるまで長押しすると、蓄積データの転送モードに入る。 メモリモード時、長押ししてブザーが 3 回鳴った後、長押ししたまま 大 ボタンを押すと蓄積データを全消去する。 BT モード時、長押ししてブザーが 3 回鳴った後、手を離すと Bluetooth オフ。 BT モード時、長押ししてブザーが 3 回鳴った後、長押ししたまま 大 ボタンを押すとペアリングモードに入る。
③	読取通知 LED	緑：読み取り成功。 赤：メモリ時、蓄積データの全消去。BT 時、読取失敗(無線通信が確立していない)
④	モード通知 LED	緑：ケーブルモード。 オレンジ：メモリモード。 青：BT モード。 赤→緑→青の 3 色に変化：設定中
⑤	パワー通知 LED (赤)	バッテリーの状態を通知します。 充電時 (USB ケーブル接続中) 点灯：充電中 点滅 (2 秒に 1 回)：満充電。※充電を中止して下さい。 高速点滅：バッテリー寿命、または異常 ※すみやかに充電を中止して下さい 使用時 (メモリモード/BT モード) 消灯：バッテリー残量が十分 ※残量が十分なとき頻繁に充電しないで下さい。 2 回の点滅：バッテリー残量がおおよそ 60% 1 回の低速点滅：バッテリー残量がおおよそ 38% 点灯しすぐ消灯：バッテリー残量なし (0%。1 回の長いブザーが鳴ります)
⑥	USB ポート	USB ケーブルを接続する。(カバーを開くと USB Type C コネクタがあります) 充電、データ転送する。
⑦	ストラップ穴	ストラップを取り付ける。
⑧	読取窓	エイマービーム (レーザー、読み取り光) を照射する。

専用 USB ドングル A306-CB



⑨	USB コネクタ	パソコンの USB ポートに接続する
⑩	リセットスイッチ	裏面の穴にあります。PC のメモ帳を開きクリップ等で押すとアドレスを出力します。 例：Device Address→ ドングルのアドレス 12 文字 (出荷時は設定済み)

第2章 セットアップ

2-1 製品の取り出し

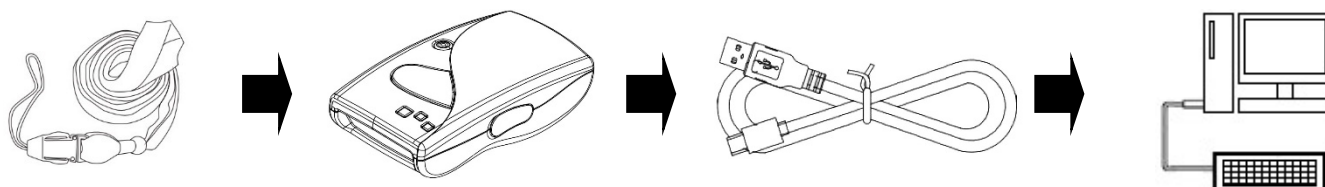
箱から製品を取り出したら、次のことを確認して下さい。

- ・ 製品に破損が無いことを確認する。破損があった場合はすぐに弊社へお知らせ下さい。
- ・ 不足しているものがないか確認する。
- ・ 保管や返送時のために、箱は保管する。

2-2 スキャナのセットアップ

スキャナにストラップを取り付けてください。落下防止のため、ストラップをご使用下さい。

USB コネクタをパソコンの USB ポートに接続して下さい。※ドライバは自動でインストールされます



2-3 充電して下さい

スキャナを USB ケーブルでパソコンに接続し、充電して下さい。ご購入直後は満充電にしてから使用して下さい。

- 充電中は、パワーLED（赤）が点灯します。
- 満充電になると、パワーLED（赤）が点滅（2 秒に 1 回）になります。満充電になるまで約 4 時間です。満充電になったら USB ケーブルを外し、充電を中止して下さい。

メモ USB 接続したまま充電を中止することもできます。USB 接続したまま **小**ボタン長押し→ブザー3 回(ピピピ)→**小**ボタンを押したまま、**大**ボタンを押す（同じ操作で充電を再び開始）

ご注意 パソコンまたは USB AC 充電器(5VDC ,500mA 以上)で充電して下さい。
タブレットやその他の方法で充電した場合、適切に充電できず本製品のバッテリーを痛める恐れがあります。

ご注意 バッテリー残量が十分にあるとき、頻繁に充電を繰り返さないで下さい。バッテリーがはやく痛みます。

ご注意 充電したとき、パワーLED（赤）が高速で連続点滅した場合、バッテリー寿命、または異常が発生しています。すみやかに充電を中止し、弊社または販売店にご相談下さい。

2-4 最初に設定して下さい（キーボード配列の設定）

はじめて使うときは、スキャナで下記の設定メニュー1～4 を順に読み取り設定して下さい。

スキャナの**大**ボタンを押し、エイマービーム（レーザー、読み取り光）をバーコードに照射すると読み取ります。

1.設定開始



2.ケーブルモード/メモリモード用の設定



3.BT モード用の設定（使用しないなら省略）

BT キーボード配列 日本キーボード(BT 対応機種) 	左記の設定はスキャナを日本語 Windows で使うときの設定です。その他の場合は BT モードの説明を参照して下さい。
---------------------------------	--

4.設定終了



メモ この設定は、：や+など記号を正しく転送するために設定します。

2-5 よく使う設定（Enter・Tab・なし）

- ・ 出荷時のスキャナはデータの終端に Enter（エンター、改行）を転送します
- ・ Enter を Tab（タブ）、または無しに変更する場合は、スキャナで下記の 1～5 の設定メニューを上から順に読み取り、設定を変更して下さい。

1.設定開始



2.ケーブルモードか BT モードを選択（モード別、ポストアンプルのデータ）

ケーブルモード	BT モード(BT 対応機種)
 * 4 T K + *	 * G 0 0 + *

3.Enter、Tab、なしを選択

Enter(改行) ※出荷時設定	Tab(タブ)	無し
0 D 	0 9 	0 0

4.セット



5.設定終了

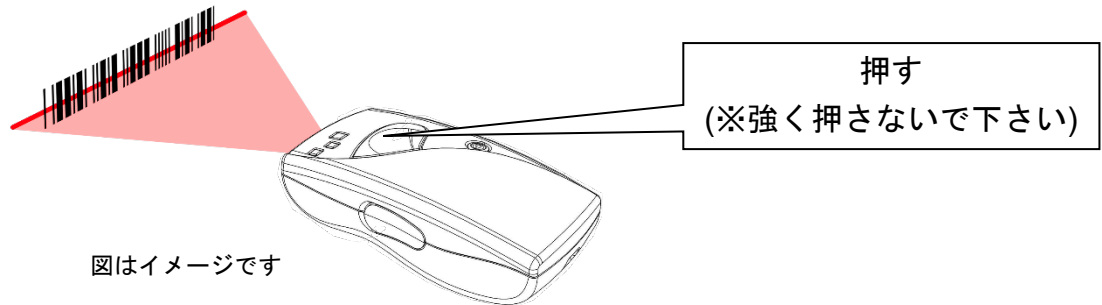


メモ 詳しくは「第 14 章 設定の方法」「第 15 章 設定メニュー」をお読み下さい。

第3章 バーコードの読み取り

3-1 バーコードの読み取り方

- 1) **大** ボタンを押して下さい。
- 2) エイマービーム（赤色光）をバーコードに照射して下さい。 スキャナがバーコードを読み取ります。



メモ ビームの出かた（太さ）は製品の読取方式によって異なります。下記はイメージ図です。

赤色 LED (AC-201W1)



レーザー (AC-201LW1、AC-201L)



メモ エイマービーム（赤色光）が完全にバーコードを横切るように照射して下さい。



3-2 ブザー

スキャナはバーコードを読み取ると、ブザーが鳴ります。出荷時は、最大のブザー音量です。
ブザーの音量は小さく設定できます。
ブザーは、スキャナのモード・動作ごとに設定します。

- ブザーのオン/オフと音量は第 15 章 15-13 の設定メニューを読み取って設定して下さい。

例 BT モードのすべての動作の音量を小にする

設定開始 → (ブザーの音量/BT) 読み取り 小 → 警告 小 → 機能操作 小 → 設定終了

3-3 バイブレータ

スキャナはバイブレータの振動で読み取りを確認することができます。
バイブレータは、スキャナのモード・動作ごとに設定します。

- バイブレータの設定は第 15 章 15-14 の設定メニューを読み取って設定して下さい。

例 メモリモードのすべての動作のバイブレータをオンにする

設定開始 → (バイブレータ/メモリ) 読み取り 許可 → 警告 許可 → 機能操作 許可 → 設定終了

例 メモリモードのすべての動作のバイブレータをオフにする

設定開始 → (バイブレータ/メモリ) 読み取り 禁止 → 警告 禁止 → 機能操作 禁止 → 設定終了

メモ バイブレータをオフにすると、バッテリーの持ちがよくなります。

3-4 ブザーと LED の意味





各モードのブザーと LED

スキャナの動作はブザーと LED で通知します。ケーブル、メモリ、BT それぞれのブザーと LED については、次の通りです。

ケーブルモード

機能、操作	ブザー	LED	
ケーブルモードになった時 ・ PC とケーブル接続する	上昇下降メロディー、1 回の長音	赤・点灯→点滅(満充電)	パワーLED
ケーブルモードで使用中	-	緑・点滅	モード LED
バーコード読み取り	1 回の短音 (ピ)	緑・点灯	読取 LED
蓄積データ転送モードに入る			
 ボタン長押し ↓	3 回の短音 (ピピピ) ↓	緑・高速点滅 ↓	モード LED
長押し続ける ↓	1 回の長音 (ピー) ↓	緑・点灯 ↓	モード LED
ボタンをはなす ↓	1 回の長音、2 回の短音 (ピーピピ) ↓	オレンジ・高速点滅	モード LED
蓄積データ転送する  ボタンを押す	1 回の長い高音、転送後、1 回の短い低音 (ピー・・・ピ)	オレンジ・点滅→消灯 (転送完了時：緑・点灯)	モード LED (読取 LED)

メモリモード

機能、操作	ブザー	LED	
メモリモードになった時 ・ PC から取り外す ・ BT からメモリに切り替える	上昇メロディー	オレンジ・点滅 (使用中、常に点滅します。しばらくするとスリープし、消灯します)	モード LED
メモリモードで使用中	-		
バーコード読み取り (成功)	1 回の短音 + 短い上昇音 (ピピロロロ)	緑・点灯	読取 LED
バーコード読み取り (エラー)	5 回の短音 (ピピピピピ)	-	-
蓄積データ 1 件消去  ボタン押ししながら読み取り	1 回の長音、2 回の短音 (ピーピピ)	緑・点灯	読取 LED
蓄積データすべて消去			
 ボタン長押し ↓	3 回の短音 (ピピピ) ↓	オレンジ・高速点滅 ↓	モード LED
小ボタン長押ししながら  ボタンを押す	3 回の長音 (ピーピーピー)	赤・点灯→すぐ消灯	読取 LED
メモリ容量が残り少ない (容量の 90% まで蓄積した)	1 回の長音と 2 回の短音 (ピーピピ)	オレンジ・点灯 ※通常は緑→オレンジになる	読取 LED
メモリ容量がいっぱいになった (容量が無く読取できない)	5 回の短音 (ピピピピピ)	赤・点灯 ※オレンジ→赤になる	読取 LED
BT モードに切替 ※BT 対応機種のみ			
 ボタン長押し ↓	3 回の短音 (ピピピ) ↓	オレンジ・高速点滅	モード LED
押し続ける	1 回の長音 (ピー) (次にボタンを離すと BT になる)	オレンジ・点灯	モード LED

3-4 ブザーと LED の意味（続き）

BT モード ※Bluetooth 対応機種のみ

機能、操作	ブザー	LED	
BT モードに切り替えた時 ・ PC から取り外す ・ メモリから BT に切り替える	3 回の短音 + 1 回の長音（ピピピ ピー）	青・点滅	モード LED
バーコード読み取り（成功）	1 回の短音（ピ）	緑・点灯	読取 LED
バーコード読み取り（エラー）	4 回の短音（ピピピピ）	赤・点灯	読取 LED
蓄積データ転送モードに入る			
小 ボタン長押し ↓	3 回の短音（ピピピ） ↓	青・高速点滅 ↓	モード LED
長押し続ける ↓	1 回の長音（ピー） ↓	青・点灯 ↓	モード LED
ボタンをはなす ↓	1 回の長音、2 回の短音（ピーピピ） ↓	オレンジ・点灯(間欠的に点滅)	読取 LED
蓄積データ転送する 大 ボタンを押す	1 回の長い高音、転送後、1 回の長い低音（ピー・・・・ピー）		
ペアリングモードに入る			
小ボタン長押し ↓	3 回の短音（ピピピ） ↓	青・高速点滅 ↓	モード LED
小ボタン長押ししながら 大 ボタンを押す	3 回の短音が 2 回（ピピピ、ピピピ）	青・低速点滅	モード LED
(デバイスのペアリング画面に出た [Pocked Reader W1] をタップ)	-	青・低速点滅	モード LED
ペアリング完了	2 回の短音（ピピ）	青・点灯	モード LED
ペアリング失敗(タイムアウト)	3 回の長短（ピーピーピー）	青・点滅	モード LED
Bluetooth 接続成功	2 回の短音（ピピ）	青・点灯	モード LED
Bluetooth 接続中(使用中)	-	青・点灯(間欠的に点滅)	モード LED
Bluetooth を切断する			
小 ボタン長押し ↓	3 回の短音（ピピピ） ↓	青・高速点滅 ↓	モード LED
ボタンを離す	1 回の長音（ピー）	消灯	
メモリモードに切替			
大 ボタン長押し ↓	3 回の短音（ピピピ） ↓	青・高速点滅 ↓	モード LED
押し続ける	1 回の長音（ピー） (次にボタンを離すとメモリになる)	青・点灯	読取 LED

3-4 ブザーと LED の意味（続き）

すべてのモード

機能、操作	ブザー	LED	
設定開始読み取り	上昇メロディー		
設定中	-	赤→緑→青の繰り返し 点灯	モードLED
設定メニュー読み取り（成功）	高低（ピロ）	-	-
設定メニュー読み取り（エラー）	5回の低い短音（ピピピピピ）	-	-
設定メニュー読み取り 次に英数メニューが必要	高低高低（ピロピロ）	-	-
英数メニュー読み取り	2回の短音（ピピ）	-	-
セット読み取り	短い上昇メロディー	-	-
設定終了読み取り	下降メロディー	-	-

バッテリーの通知 充電時（USB ケーブルでパソコンまたは AC アダプタと接続中）

充電の状態	ブザー	LED	
充電中	-	赤・点灯	パワーLED
充電完了(満充電)	-	赤・点滅(2 秒に 1 回)	パワーLED
バッテリー寿命または異常	-	赤・高速な点滅	パワーLED

バッテリーの通知 使用時（USB ケーブルを外し、メモリモードまたは BT モードで使用中）

バッテリー残量	ブザー	LED	
満充電、残量が十分にある	-	消灯	パワーLED
60%	-	赤・2 回の点滅	パワーLED
38%	-	赤・1 回の低速点滅	パワーLED
0%	長い 1 回の高音（ピーーー）	赤・点灯→消灯	パワーLED

メモ バッテリー残量は目安です。

メモ USB ケーブルを外し、放置するとスキャナは 1 分後にスリープし、全ての通知 LED ランプが消灯します。(出荷時設定)

第 4 章 データ転送形式

4-1 データ転送形式について

スキャナはバーコードを読み取ると、出荷時は読取データと Enter キー（改行キー）をパソコンに転送します（ケーブルモードまたは BT モードのとき）。本書ではスキャナが転送するデータの順序や構成をデータ転送形式と呼びます。

4-1-1 出荷時の読取データ転送形式

読取データ	Enter キー(改行キー)
-------	----------------

例 スキャナがバーコード「12345」を読み取ると、パソコンの画面に「12345」が入力し、最後に自動的に改行します（Enter キーを押したように動作します）。

4-2 データ転送形式の説明図

スキャナは設定すると読取データの前や後に読取日時、文字、キー(Enter など)を追加することができます。スキャナに設定可能なすべてのデータ転送形式は 4-2-1 の図の通りです。出荷時は二重線で示す「読取データ」と「ポストアンブル(Enter)」のみを転送します。

4-2-1 読取データ転送形式

設定	プリアンブル	プレフィックス	日付 (読取日付)	日付と時刻の間	時刻 (読取時刻)	デリミタ	コード タイプ	コード ID (前)	桁数	GS1 AIM ID	読取データ	(コード ID (後))	サフィックス	ポストアンブル
転送の初期値	禁止	禁止	禁止	注	禁止	許可注	禁止	禁止	禁止	禁止			禁止	許可
文字の初期値	なし	なし	YYYY/MM/DD	SP (スペース)	hh:mm:ss	SP (スペース)	(xx..) (文字)	xx (文字)	nn (数字)	jxn (文字)			なし	CR LF (Enter)
桁数	1-8	1-8	可変 設定による	1	可変 設定による	1	可変	1-2	2	3	可変 データによる	1-2	1-8	1-8

例 日付と時刻を転送する設定を行ったときの例です。空白は見やすくするためにあります。

2022/09/24 SP 17:33:50 SP 1234567890 Enter
 2022/09/25 SP 10:20:15 SP ABCDE12345 Enter

↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑
 日付 日付と時刻の間 時刻 デリミタ 読取データ Enter キー

4-2-2 読取データ転送形式 日時の位置を設定変更したとき

日時の位置を読み取りデータの後に設定変更したときの転送形式です。デリミタの位置は読取データと日付の間になります。

設定	プリアンブル	プレフィックス	コード タイプ	コード ID (前)	桁数	GS1 AIM ID	読取データ	(コード ID (後))	デリミタ	日付 (読取日付)	日付と時刻の間	時刻 (読取時刻)	サフィックス	ポストアンブル
----	--------	---------	------------	---------------	----	---------------	-------	-----------------	------	--------------	---------	--------------	--------	---------

注 「日付と時刻の間(初期値 SP)」は禁止/許可の設定がありません。「日付」と「時刻」の転送を許可に設定すると転送するようになります。

注 「デリミタ(初期値 SP)」は「日付」又は「時刻」の転送を許可に設定すると転送するようになります。

メモ メモリモードのみ、ヘッダとフッタも転送します。→第 8 章 8-8、8-9 を参照

メモ メモリモードの転送方法は出荷時の「標準動作」と「マストレージ」があります。図は標準動作の転送形式です。マストレージは「日付 時刻 読取データ」に固定した形式になります→第 8 章 8-13 を参照

4-3 データ転送形式の設定変更

データ転送形式は設定メニューを読み取って変更することができます。

スキャナはケーブルモード、メモリモード、BT モードの 3 つのモードがあります。→第 6 章を参照

データ転送形式（日付、時刻、その他）はそれぞれのモードごとに設定します。→第 14 章、第 15 章を参照

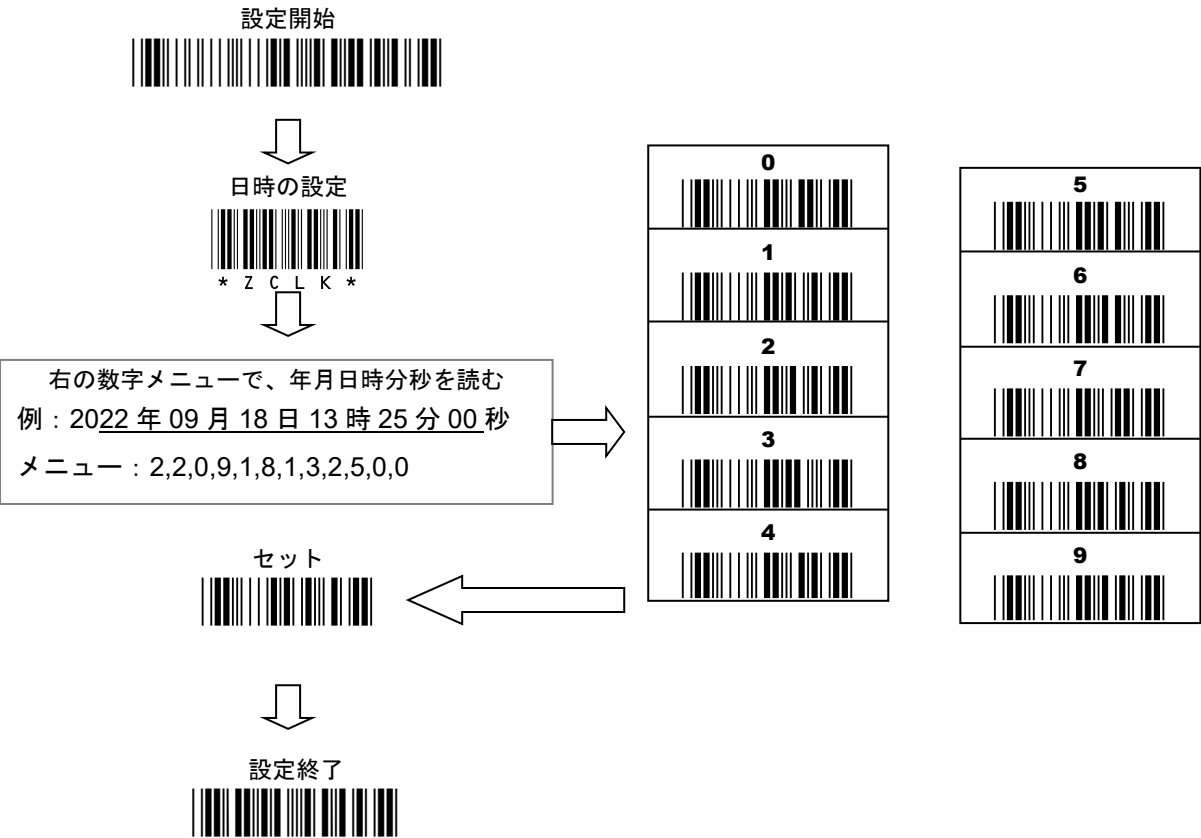
第 5 章 日時の設定

5-1 日時の設定

スキャナのタイマーの日時を設定します。必要な場合、設定して下さい。

設定は、設定専用のバーコードメニュー（以下、設定メニュー）を読み取って設定します。

設定開始から、順に読み取って下さい。



5-2 日時を転送する設定について

読取データとともに読取日時を転送する場合、スキャナのモードごとに設定して下さい。次の章を参照して下さい。

ケーブルモードで読取日時を転送する（読み取りながら日時を転送する）	第 7 章 7-6
メモリモードで読取日時を転送する（蓄積したデータ転送時に日時を転送する）	第 8 章 8-9
BT モードで読取日時を転送する（読み取りながら日時を転送する）	第 9 章 9-16

第6章 3つのモード 切替と固定

6-1 スキャナのモードを知る

AC-201L はメモリモード、ケーブルモードの2つのモードがあります。

AC-201W1、AC-201LW1 は Bluetooth ワイヤレスモード、メモリモード、ケーブルモードの3つのモードがあります。

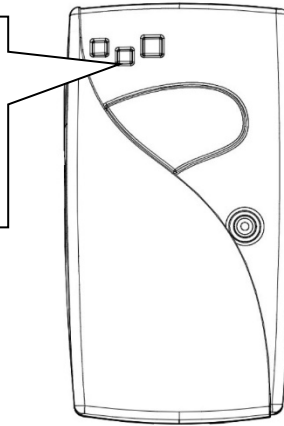
中央の LED の色で、スキャナのモードを知ることができます。

中央の LED

緑（点滅）：ケーブル

オレンジ（点滅）：メモリ

青（点滅）：BT



メモ メモリモード、BT モードのとき、LED はしばらくするとスキャナがスリープして消灯します。

何かボタンを1回押すと電源が入り、点滅し始めます。

6-2 ケーブルモードに切り替える

スキャナを USB ケーブルでパソコンに接続して下さい。自動的にケーブルモードに切り替わります。

メモ スキャナから USB ケーブルを取り外すと、パソコンに接続する前のモード(メモリか BT)に戻ります。

6-3 メモリモードに切り替える

- 1) スキャナをパソコンから取り外して下さい。オレンジが点滅するなら、メモリモードです。そのままお使い下さい。
- 2) 青が点滅するなら、BT モードです。設定メニューかボタンでメモリモードに切り替えて下さい。

●設定メニューで切り替える方法

次の設定メニューを読み取って下さい。



●ボタンでメモリに切り替える方法

大ボタンを長押しして下さい。

ブザーが3回鳴ります。まだ長押しして下さい。青のLEDが高速で点滅します。

しばらく待つと長いブザーが1回なります。青のLEDが点灯します。

ボタンから手を離して下さい。メモリモードになります。

6-4 BT モードに切り替える

- 1) スキャナをパソコンから取り外して下さい。青が点滅するなら、BT モードです。そのままお使い下さい。
- 2) オレンジが点滅するなら、メモリモードです。設定メニューかボタンで BT モードに切り替えて下さい。

●設定メニューで切り替える方法

次の設定メニューを読み取って下さい。



●ボタン操作で BT に切り替える方法

大ボタンを長押しして下さい。

ブザーが3回鳴ります。まだ長押しして下さい。オレンジのLEDが高速で点滅します。

しばらく待つと長いブザーが1回なります。オレンジのLEDが点灯になります。

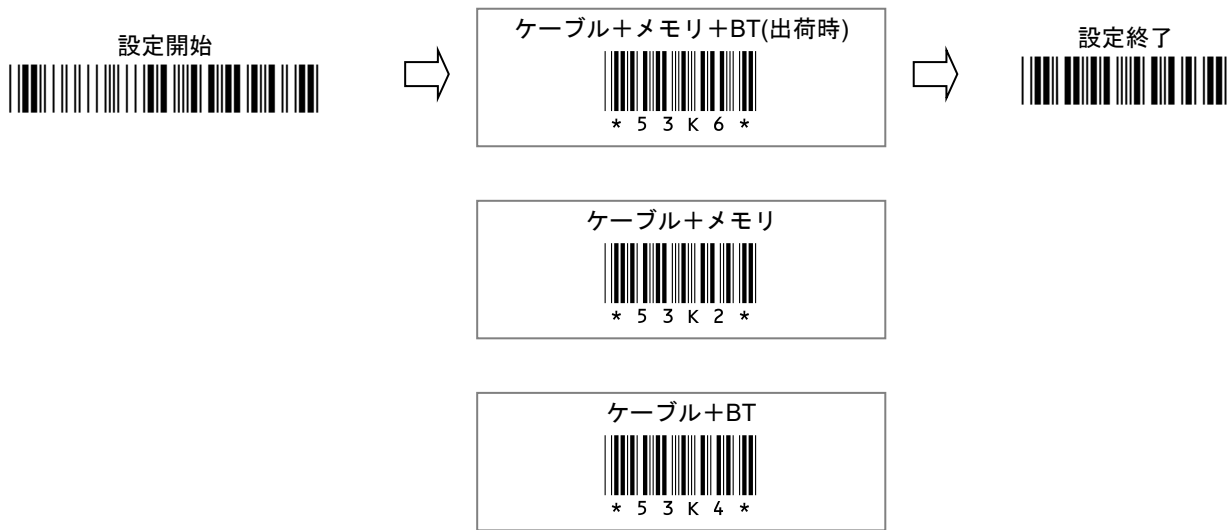
ボタンから手を離してください。BT モードになります。

6-5 モードを固定する

スキャナのモードを固定することができます。モードを固定すると、誤ってモードを切り替えてしまうことを防ぎます。

設定開始→**モードを選択**→**設定終了**を読み取って下さい。

通常は下記の3種類から選択して下さい。



下記の設定をすると、ケーブルモードが使えなくなります。USB ケーブルでデータ転送できません。

USB ケーブル接続時は充電のみ行います。

「BT」を設定すると、USB ケーブルで充電しながらワイヤレススキャナとして使用できます。

メモ 満充電（パワーLED、赤が2秒に1回の点滅）になったらUSB ケーブルを外し充電中止して下さい。



第7章 ケーブルモード 設定と使い方

7-1 キーボード配列の設定（キーボード/メモリ共通）

次の設定メニューを読み取って下さい。初回のみ必要です。



7-2 USB 接続中の充電オン/オフ

スキャナはパソコンに接続すると、自動的にスキャナのバッテリーを充電します。

充電はオン/オフすることができます。

●設定メニューで充電オン/オフする

次の設定メニューを読み取って下さい。充電中に読み取ると充電オフになり、充電オフのときに読み取ると充電オンになります。



●ボタン操作で充電オン/オフする

小ボタンを長押しして下さい。

ブザーが3回鳴ります。緑のLEDが高速で点滅します。

小ボタンを長押ししたまま、**大**ボタンを押して下さい。

スキャナが充電中（充電オン）なら充電オフになります。スキャナが充電オフなら充電オンになります。

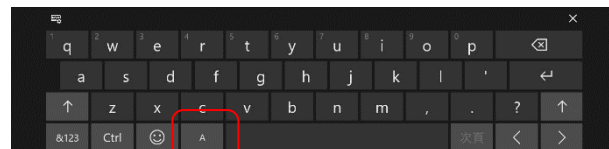
7-3 バーコードを読み取る

- 1) スキャナを USB ケーブルでパソコンに接続して下さい。ケーブルモードになります。緑の LED が点滅します。
- 2) バーコードデータを入力するアプリ（メモアプリやブラウザ）を立ち上げて下さい。
- 3) バーコードを入力したいところをクリック又はタッチしてカーソルを表示させて下さい。

4) (ア) パソコンがデスクトップモードの場合

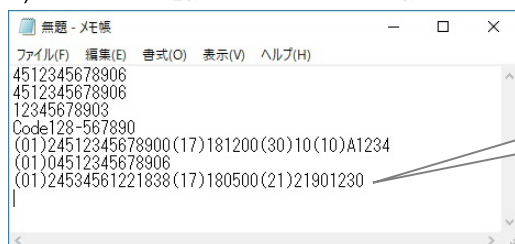
(イ) パソコンがタブレットモードの場合

画面右下の[言語バー]の入力モードを[半角英数]に設定して下さい。画面キーボードの[あ]をタッチ→[A]に切り替えて下さい。[あ]を右クリック→[半角英数]を選択。（あが A になる）



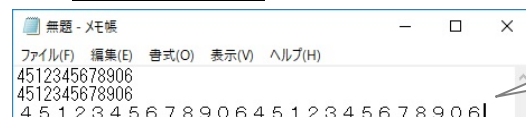
メモ パソコンによっては[直接入力]を設定して下さい。

- 5) バーコードを読み取って下さい。読み取りデータを転送します。



クリック又はタッチして
カーソルが表示したところ
にデータが入ります。

7-4 困ったときは データ転送すると改行しない、横に連続で出る、全角になるとき



横に出る、全角になる
→半角英数に設定して下さい

7-3 の通り、言語バーの入力モードを[半角英数]に設定して下さい。改善しない場合、下記の[直接入力]に設定してお試し下さい。

- Windows 10 : 言語バーの「あ」(A)を右クリック→[詳細設定]→[全般] →[直接入力を使用しない]のチェックを外す→[OK]→再度、言語バーの[あ](A)をクリック→[直接入力]を選択する

メモ 第 15 章 15-3 キーボード設定 Caps Lock の Alt+テンキーを設定すると、パソコンの入力モードを変更しなくても全角にならず半角で入力できます（Windows のみの設定）。ただし入力速度が遅くなります。パソコンによっては使用できない場合もあります。

メモ またはご使用のアプリケーション、ソフト側で入力方法を制御して下さい。詳しくは弊社ホームページを参照して下さい。
<https://www.a-poc.co.jp/support2/faq-00001-Excel.html>

7-5 ケーブルモードの改行設定を変更する










- ・ 出荷時のスキャナは読取データの終端に Enter（エンター、改行）が付きます。
- ・ 読取データの終端を Tab（タブ）、または無しに変更する場合は、スキャナで下記の設定メニューを上から順に読み取り、設定を変更して下さい。

メモ BT モード(Bluetooth ワイヤレス)の改行設定は第 9 章 9-15 を参照して下さい。

1. 設定開始



2. お選び下さい（上から順に読み取る）

読取データ+Enter(改行) (出荷時設定)	読取データ+Tab(タブ)	読取データ+無し(データのみ)
(ケーブル)ポストアンブル 許可  * 0 S H 1 *  (ケーブル)ポストアンブル データ  * 4 T K + *   0   D   セット	(ケーブル)ポストアンブル 許可  * 0 S H 1 *  (ケーブル) ポストアンブル データ  * 4 T K + *   0   9   セット	(ケーブル)ポストアンブル 禁止  * 0 S H 0 *

3. 設定終了



メモ 詳しくは「第 14 章 設定の方法」「第 15 章 設定メニュー」をお読み下さい。

7-6 ケーブルモードで日時を転送する

このページは **USB 接続(ケーブルスキャナ)**で読むときの設定です。メモリモード→第8章 8-9 BT モード→第9章 9-16

設定例のように読取データを転送するには、スキャナで★印のメニューを読み取って下さい。

上下隣のメニューを間違
って読まないようご注意
下さい。設定後タブ区切
りにならない場合、0、9
を0、0などと読んでいま
す。再設定して下さい。

出荷時の転送形式

1234567890
4512345678906
ABCD1234

設定例

2022/09/24 (Tab) 17:33:50 (Tab) 1234567890
2022/10/01 (Tab) 09:15:50 (Tab) 4512345678906
2022/11/15 (Tab) 11:23:45 (Tab) ABCD1234

★設定開始



* 印は出荷時設定

設定	禁止(オフ)	許可(オン)
日付の転送	* 禁止 * 8 S P 0 *	★許可 * 8 S P 1 *
時刻の転送	* 禁止 * 0 S Q 0 *	★許可 * 0 S Q 1 *
デリミタの転送 日時とデータの 間のキャラクタ	* 禁止 * 2 S S 0 *	★許可 * 2 S S 1 *
日時の位置 データの前か後	* 前 * 1 S R 0 *	後 * 1 S R 1 *

日時をスペースで区切る場合はこちら
(そのまま設定終了)
※タブにした後、スペースに戻すには、
巻末付録 B 英数メニューを使い、右側の
0、9 を 2、0 で設定して下さい。

日時をタブ(Tab)で区
切る場合はこちら

★区切文字タブ設定

日付と時刻の間



★設定終了



第 8 章 メモリモード 設定と使い方

8-1 キーボード配列の設定（キーボード/メモリ共通）

- 1) スキャナをパソコンから取り外して下さい。
- 2) メモリモードに切り替えてください。（メニュー読み取り、又は、**大**ボタン長押しで切替）



- 3) 次の設定メニューを読み取って下さい。初回のみ必要です。



8-2 バーコードを読み取る

- 1) メモリモードになっていることを確認して下さい。メモリならオレンジの LED が点滅しています。
- 2) バーコードを読み取って下さい。ブザーが鳴り、バーコードデータを蓄積します。

8-3 2 度読み防止の設定

同じデータを読み取らないように設定できます。

設定開始→**2 度読み防止 許可**→**設定終了**を読み取って下さい。（禁止を設定すると同じデータを読みます）



8-4 蓄積データを 1 件消去する

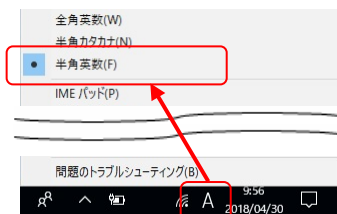
読み間違ったときは、**小**ボタンを押しながら読み取ると、蓄積データからそのデータを 1 件消去します。

8-5 蓄積データを転送する

- 1) スキャナを USB ケーブルでパソコンに接続して下さい。
- 2) バーコードデータを入力するアプリ（メモアプリやブラウザ）を立ち上げて下さい。
- 3) バーコードを入力したいところをクリック又はタッチしてカーソルを表示させて下さい。

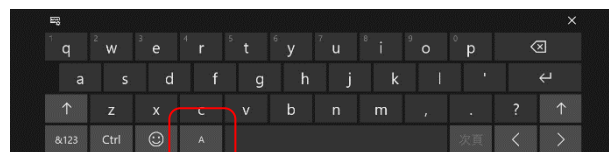
4) (ア) パソコンがデスクトップモードの場合

画面右下の[言語バー]の入力モードを[半角英数]に設定して下さい。[あ]を右クリック→[半角英数]を選択。(あが A になる)



(イ) パソコンがタブレットモードの場合

画面キーボードの[あ]をタッチ→[A]に切り替えて下さい



メモ パソコンによっては[直接入力]を設定して下さい

- 5) 設定メニュー、又は、ボタン操作で転送モードに入り、データを転送して下さい。

●設定メニューで転送モードに入る

「転送モードに入る」を読み取り**大**ボタンを押して下さい。蓄積データを転送します。



大ボタン押す
(転送する)

次の方法でも転送できます。「設定開始」「転送モードに入る」を読み取り**大**ボタンを押して下さい。

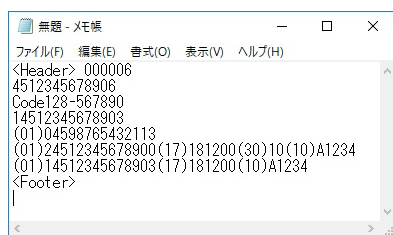


大ボタン押す
(転送する)

●ボタン操作で転送モードに入る

小ボタンを長押しして下さい。**ブザーが3回鳴ります。まだ長押しして下さい。**緑のLEDが高速で点滅します。
押し続け、長いブザーが1回鳴ったら、ボタンから手を離して下さい。オレンジのランプが点滅します。

大ボタンを押して下さい。蓄積データを転送します。



クリック又はタッチしてカーソルが表示したところにデータが入ります。

うまく転送できないときは→第7章 7-4 困ったときは、第8章 8-12 蓄積データ転送のレコード抜け対策を参照して下さい。

8-6 蓄積データを1件ずつ転送する設定

スキャナが転送モードに入ったとき、**大**ボタンを押すたびに1件ずつデータを転送することが出来ます。

設定開始→**1件ずつ転送**→**設定終了**を読み取って下さい。(すべて転送を設定すると、出荷時の設定に戻ります)



1件ずつ転送



設定終了



* すべて転送(出荷時設定)



8-7 蓄積データの転送データ形式

蓄積データの転送データ形式は次の通りです。

行	転送する文字	例	説明
先頭行（1行目）	ヘッダ、改行	<Header> . . . (注)	データの開始行を示す文字<Header>と付加情報
2行目	読み取りデータ、改行	12345678	出荷時はバーコードデータのみ転送します。
残りのデータの行	同上	12345679	同上
最終行	フッタ、改行	<Footer>	データの終了行を示す文字<Footer>

(注)ヘッダとフッタについては後述の 8-8 を参照して下さい。

読み取りデータ形式

日付(読み取り日付)	日付と時刻の間	時刻(読み取り時刻)	デリミタ	読み取りデータ	ポストアンブル
YYYY/MM/DD	SP (スペース)	hh:mm:ss	SP (スペース)	バーコードデータ	CR,LF (改行)

読み取りデータ形式の設定

出荷時はバーコードデータのみ転送します。読み取り日時を転送する設定ができます。

設定方法は **8-9 メモリモードの日時を転送する** を参照して下さい。

蓄積データの転送データ形式は次の通りです。

行	転送する文字	例	説明
先頭行（1行目）	ヘッダ、改行注	<Header> . . .	データの開始行を示す文字<Header>と付加情報
2行目	読み取りデータ、改行	12345678	出荷時はバーコードデータと改行(Enter)のみ転送します。
残りのデータの行	同上	12345679	同上
最終行	フッタ、改行注	<Footer>	データの終了行を示す文字<Footer>

注 ヘッダとフッタの説明→第 8 章 8-8 ヘッダとフッタを参照

1 件の読み取りデータ

設定	プリアンブル	プレフィックス	日付 (読取日付)	日付と時刻の間	時刻 (読取時刻)	デリミタ	コード タイプ	コード ID (前)	桁数	GS1 AIM ID	読取データ	(コード ID (後))	サフィックス	ポストアンブル
転送の初期値	禁止	禁止	禁止		禁止	許可	禁止	禁止	禁止	禁止			禁止	許可
文字の初期値	なし	なし	YYYY/MM/DD	SP (スペース)	hh:mm:ss	SP (スペース)	(xx.) (文字)	xx (文字)	nn (数字)	jxn (文字)			なし	CR LF (Enter)
桁数	1-8	1-8	可変 設定による	1	可変 設定による	1	可変	1-2	2	3	可変 データによる	1-2	1-8	1-8

メモ 第 4 章 4-2-1 読取データ転送形式 と同じ図です。出荷時は二重線の箇所を転送します。

メモ 日付と時刻の位置を読取データの後に設定する場合は 8-9 の設定メニューで日時の位置を後に設定して下さい。

転送例 バーコード 1234567890、4512345678906、ABCD1234 を読み取って蓄積し、転送したときの例です。

```

<Header> 000003 ←ヘッダ
1234567890 ←読み取りデータ
4512345678906 ←同上
ABCD1234 ←同上
<Footer> ←フッタ

```

8-8 ヘッダとフッタ

蓄積データを転送すると、先頭行にヘッダというデータの開始行を示す文字と、最終行にフッタというデータの終了行を示す付加情報を転送します。

転送形式は 8-8-1、8-8-2 の図の通りです。出荷時設定では二重線で示す項目を転送します。

8-8-1 ヘッダの転送形式

設定	ヘッダ	区切文字	ヘッダの日付 (消去日付)	区切文字	ヘッダの時刻 (消去時刻)	区切文字	レコード件数	ポストアンブル 注
転送の初期値	許可	(禁止)	禁止	(禁止)	禁止	(許可)	許可	許可
文字の初期値	<Header>	SP (スペース)	YYYY/MM/DD	SP (スペース)	hh:mm:ss	SP (スペース)	nnnnnn (数字 6 桁)	CR LF (Enter)
桁数	1-16	1	可変 設定による	1	可変 設定による	1	6	1-8

8-8-2 フッタの転送形式

設定	フッタ	区切文字	フッタの日付 (消去日付)	区切文字間	フッタの時刻 (消去時刻)	区切文字	レコード件数	ポストアンブル 注
転送の初期値	許可	(禁止)	禁止	(禁止)	禁止	(禁止)	禁止	許可
文字の初期値	<Footer>	SP (スペース)	YYYY/MM/DD	SP (スペース)	hh:mm:ss	SP (スペース)	nnnnnn (数字 6 桁)	CR LF (Enter)
桁数	1-16	1	可変 設定による	1	可変 設定による	1	6	1-8

8-8-3 ヘッダとフッタ内の付加情報について

ヘッダの日付、ヘッダの時刻、フッタの日付、フッタの時刻

前回、蓄積データをすべて消去した日時です。（読取データを転送した日時ではありません）

レコード件数

蓄積データの件数です。形式は数字(n)6 桁、左側 0 詰めです。例えば 15 件なら 000015 になります。

出荷時、ヘッダのレコード件数は転送が許可になっています。

区切文字

ヘッダとフッタ内の区切文字（スペース、SP）また、ヘッダとフッタ内の区切文字は固定で、変更できません。

それぞれの区切文字の前後の文字を転送する場合、区切文字の SP を転送します。

それぞれの区切文字の前後の文字を転送しない場合、区切文字の SP を転送しません。

注 ポストアンブルは第 4 章 データ転送形式でのポストアンブルと同じ設定です。

メモリモードのポストアンブルは、通常は設定変更しないで下さい。

例 ヘッダの付加情報をすべて転送したときの例です。

```
<Header> 2022/05/13 12:30:21 000003 ←ヘッダ。出荷時は<Header> 000003 を転送します。
1234567890 ←読み取りデータ
4512345678906 ←同上
ABCD1234 ←同上
<Footer> ←フッタ
```

設定例は第 8 章 8-9 を参照して下さい。詳しい設定メニューは第 15 章 15-8 を参照して下さい。

8-9 メモリモードの日時を転送する

このページはメモリモードで蓄積したデータを転送するときの設定です。

ケーブルモード→第7章 7-6 BTモード→第9章 9-16

設定例のようにデータを転送するには、スキャナで★印のメニューを読み取って下さい。

出荷時の転送形式

<Header> 000002
1234567890
4512345678906
<Footer>

設定例













2022/09/24 (Tab) 17:33:50 (Tab) 1234567890
2022/10/01 (Tab) 09:15:50 (Tab) 4512345678906

上下隣のメニューを間違
って読まないようご注意
下さい。設定後タブ区切
りにならない場合、0,9を
0,0などと読んでいます。
再設定して下さい。隣を

★設定開始



* 印は出荷時設定

設定	禁止(オフ)	許可(オン)
ヘッダの転送	★禁止  * 6 L U 0 *	* 許可  * 6 L U 1 *
フッタの転送	★禁止  * 7 L V 0 *	* 許可  * 7 L V 1 *
日付の転送	* 禁止  * 5 W 9 0 *	★許可  * 5 W 9 1 *
時刻の転送	* 禁止  * 6 W A 0 *	★許可  * 6 W A 1 *
デリミタの転送 日時とデータの 間のキャラクタ	* 禁止  * 8 W C 0 *	★許可  * 8 W C 1 *
日時の位置 データの前か後	* 前  * 7 W B 0 *	後  * 7 W B 1 *

日時をスペースで区切る場合はこちら
(そのまま設定終了)

※タブにした後、スペースに戻すには、
巻末付録 B 英数メニューを使い、右側
の 0、9 を 2、0 で設定して下さい。

日時をタブ(Tab)で区
切る場合はこちら

★区切文字タブ設定

日付と時刻の間



0



9

セット



デリミタ



0



9



0

セット



★設定終了



8-10 蓄積データをすべて消去する

蓄積データをパソコンに転送した後も、データはスキャナに保存されています。スキャナを操作して蓄積データを消去します。

- 1) スキャナから USB ケーブルを外して下さい。メモリモードになります。オレンジの LED が点滅します。
- 2) 設定メニューかボタンで蓄積データをすべて消去して下さい。

●設定メニューで消去する

「消去」を読み取って下さい。（メニューでの消去は、どのモードでも行えます）

消去



次の方法でも消去できます。下記「設定開始」「消去」を読み取って下さい。

設定開始



消去



●ボタン操作で消去する

メモ メモリモードのときにのみ、ボタン操作で消去できます。

小 ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。オレンジの LED が高速で点滅します。

小 ボタンを長押ししたまま、**大** ボタンを押して下さい。蓄積データをすべて消去します。

8-11 転送したら自動的に消去する設定

蓄積データをパソコンに転送したら、スキャナから蓄積データを自動的に消去する設定ができます。

設定開始 → **蓄積データの自動消去 許可** → **設定終了** を読み取って下さい。（禁止を設定すると消去しません）

設定開始



蓄積データの自動消去 許可



* 5 L T 1 *



設定終了



蓄積データの自動消去 禁止



* 5 L T 0 *

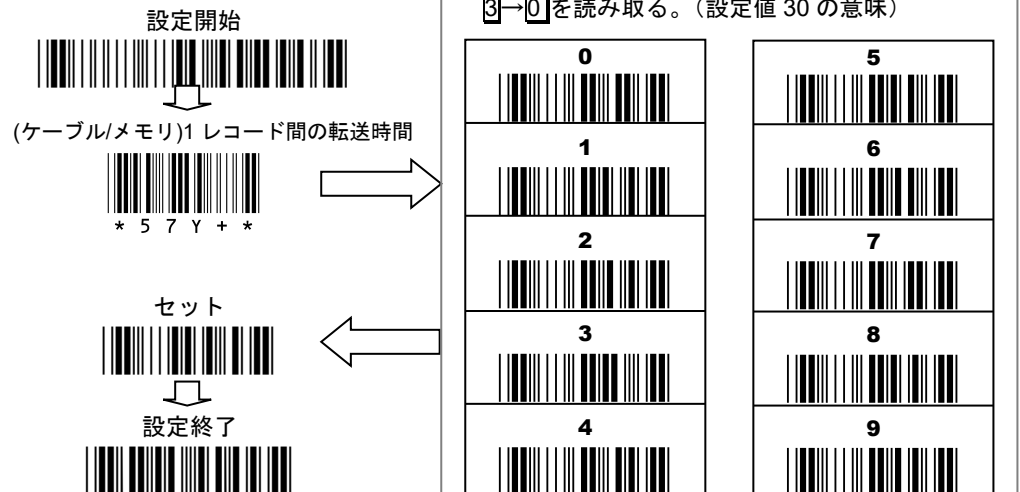
メモ 「蓄積データの自動消去 許可」はメモリモードが「標準動作」のときの動作です。マスストレージに設定したとき自動消去の設定はありません。（第 8 章 7-13 マスストレージの設定を参照）

8-12 蓄積データ転送のレコード抜け対策

メモリモードで蓄積したデータを転送してレコード抜けが発生する場合（1 件のレコードが抜ける）、下記設定メニューを矢印の順で読み取って下さい。1 レコード(1 件)間の転送時間を長くします。

設定手順

矢印の順で読み取って下さい。1 レコード(1 件)間の転送時間を長くします。



設定しても改善しない場合

- 設定の 3→0 を大きな数値 3→5(35 の意味)や 4→0(40 の意味)などで設定し、時間を長くして下さい。
- メモ帳など軽量のソフトに転送して下さい。
- 第 8 章 8-13 マスストレージの設定の使用をご検討下さい。

8-13 マスストレージの設定

スキャナを「マスストレージ」に設定すると、蓄積データ転送をするとき、スキャナがUSB メモリのようになります。マスストレージでは、蓄積データをテキストファイルとしてパソコンに取り出せます。

設定開始→**マスストレージ**→**設定終了**を読み取って下さい。（標準動作を設定すると、元の動作に戻ります）



8-14 マスストレージで蓄積データファイルを取り出す

- 1) スキャナとパソコンを USB ケーブルで接続して下さい。
- 2) 設定メニューかボタンで転送モードに入して下さい。

●設定メニューで転送モードに入る

次の設定メニューを読み取って下さい。



●ボタン操作で転送モードに入る

小ボタンを長押しして下さい。

ブザーが3回鳴ります。まだ長押しして下さい。緑のLEDが高速で点滅します。

しばらく待つと、長いブザーが1回鳴ります。オレンジのLEDが点滅になります。

ボタンから手を離して下さい。転送モードに入りました。

- 3) パソコンが「リムーバブルディスク」の画面を開き、テキストファイル「MEMORY.TXT」が現れます。
- 4) テキストファイル「MEMORY.TXT」を、パソコンのお好きな場所にコピーするなどして保存して下さい。
- 5) **大**ボタンを押して下さい。スキャナがケーブルスキャナに戻ります。

メモ 自動的にパソコンが画面表示しない場合、パソコンを操作して「リムーバブルディスク」の場所を開いて下さい。
メモ リムーバブルディスク内の「MEMORY.TXT」は書き換えできません。コピーしてご利用下さい。
メモ 万一、リムーバブルディスク内の「MEMORY.TXT」を消去しても、自動的にファイルが作成されます。

8-15 マスストレージのデータを消去する

蓄積データを消去する手順は、標準動作と同じです。第8章 8-10 をお読み下さい。

8-16 マスストレージのデータ形式

テキストファイル「MEMORY.TXT」の**データ形式は固定です。日時は必ずデータの前に付きます**。メモリモードの標準動作の付加文字（ヘッダ、フッタ、プリアンブル、ポストアンブル、プリフィックス、サフィックス）は付きません。

データ形式（マスストレージのテキストファイル）

日付(読み取り日付)	日付と時刻の間	時刻(読み取り時刻)	デリミタ	読み取りデータ	ポストアンブル
YYYY/MM/DD	SP (スペース)	hh:mm:ss	SP (スペース)	バーコードデータ	CR,LF (改行)

メモ マスストレージのデータの「日付と時刻の間」と「デリミタ」のSP(スペース)は第8章 8-9の「区切文字タブ設定」を設定するとタブになります。タブ以外のキャラクタでも設定すると反映します。マスストレージのときポストアンブルはCR,LF(改行)に固定されます。

第9章 BT モード (Bluetooth ワイヤレスモード) 設定と使い方

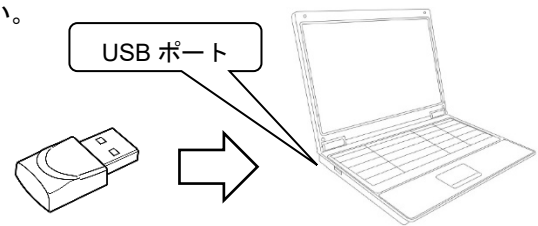
ご案内 BT モードは Bluetooth 対応機種(AC-201W1、AC-201LW1)の説明です。

9-1 専用 USB ドングルとの使い方

メモ ご購入時はペアリングの設定済みです。また、BT モード(Bluetooth ワイヤレスモード)になっています。

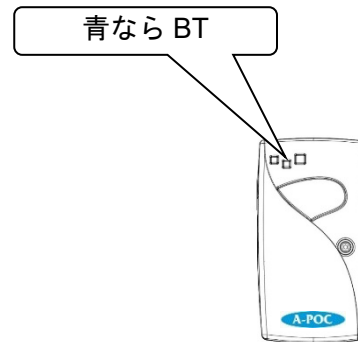
1 パソコンに専用 USB ドングルを取り付ける

専用 USB ドングル A306-C をパソコンの USB ポートに取り付けて下さい。
パソコンが自動で USB ドングルをインストールします。

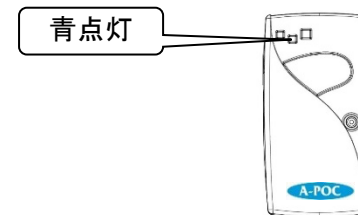


2 スキャナをワイヤレスモードに切り替える

- ①スキャナから USB ケーブルを外して下さい。
- ②BT モードに切り替えて下さい。
※青が点滅するなら、すでに BT モードです。



しばらく待つと、スキャナの青色 LED ランプが点灯し、短い
ブザーが 2 回鳴ります。
以上でワイヤレス接続は完了です。



3 キーボード配列の設定

次のメニューを上から順に読み取って下さい。



9-1 (続き) 専用 USB ドングルとの使い方

メモ Windows のバージョンにより画面や設定方法が異なる場合があります。

4 使い方

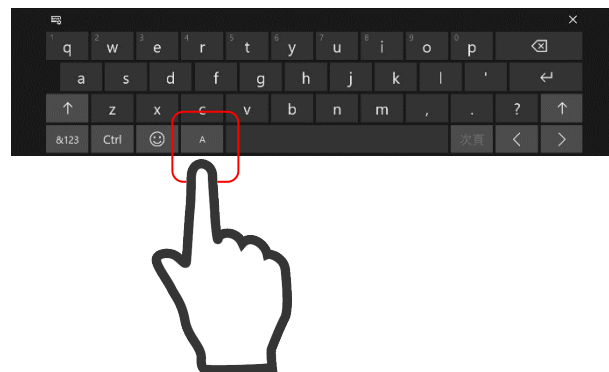
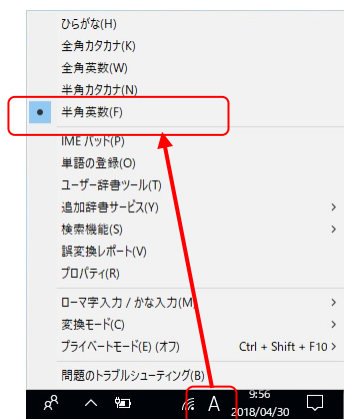
1) バーコードデータを入力するアプリ (メモアプリやブラウザ) を立ち上げて下さい。

2) バーコードを入力したいところをクリック又はタッチしてカーソルを表示させて下さい。

3) (ア) パソコンがデスクトップモードの場合

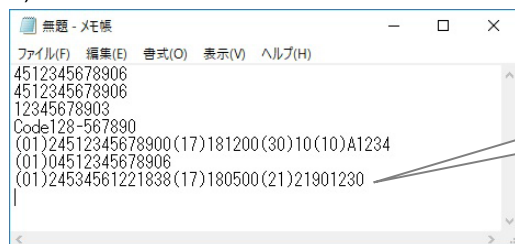
(イ) パソコンがタブレットモードの場合

画面右下の[言語バー]の入力モードを[半角英数]に設定して下さい。画面キーボードの[あ]をタッチ→[A]に切り替えて下さい。[あ]を右クリック→[半角英数]を選択。(あが A になる)



メモ パソコンによっては[直接入力]を設定して下さい。

4) バーコードを読み取って下さい。読み取りデータを転送します。



クリック又はタッチして
カーソルが表示したと
ころにデータが入ります。

メモ スキャナはしばらく時間がたつとスリープします(Bluetooth ワイヤレスを切断します)。

→スリープ時、スキャナのボタンまたは大ボタンを押すと、Bluetooth ワイヤレス接続します。

困ったときは (1) 改行しない、連続して横に出る、全角になる→第 7 章 7-4 困ったときは を参照して下さい。

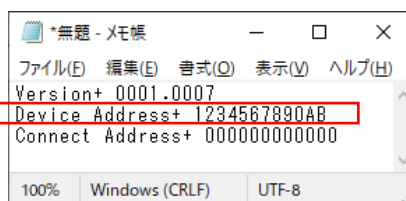
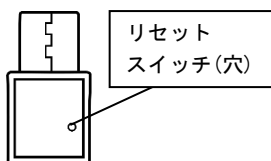
困ったときは (2) 読み取りデータが桁落ち・文字抜けする→第 9 章 9-14 BT モード データ転送速度を遅くする設定を参照して下さい。又は、データ入力するアプリやブラウザを変えてご使用下さい。

9-2 専用 USB ドングルとスキャナのペアリング

ご案内 ご購入時は設定済みの為、この設定は不要です。初期化した場合に設定して下さい。

1 パソコンでドングルのアドレスを確認する

- 1) パソコンのアプリ[メモ帳]を開いて下さい。※Windows10 なら[Windows アクセサリ]内にあります
- 2) パソコンの USB ポートに USB ドングルを差し込んで下さい。
- 3) ドングル裏面のリセットスイッチ（穴）をクリップなどで軽く押して下さい。



メモ帳に数行文字が出ます。Device Address に続く英数 12 文字がドングルのアドレスです。

例 Device Address+ 1234567890AB

2 スキャナにドングルのアドレスを設定する

スキャナで上から矢印の順でメニューを読み取って下さい。

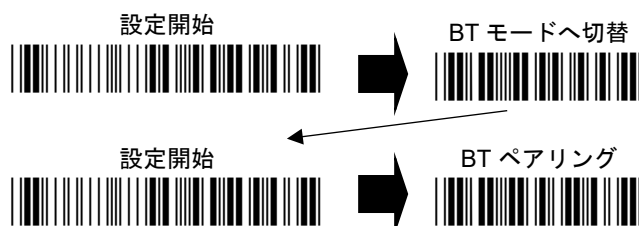


メモ帳に出た Device Address と同じ文字を英数メニューから読み取ります。
例：1234567890AB なら 1→2→3→4→5→6→7→8
→9→0→A→B と 1 つずつ読み取ります。

英数メニュー	
0	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
A	
B	
C	
D	
E	
F	

3 BT モードに切り替え、ペアリングする

スキャナから USB ケーブルを外し、次のメニューを読み取って下さい。



しばらく待つと、スキャナのブザーが鳴り、青色 LED ランプが点灯します。以上でペアリング完了です。

メモ ドングルのアドレスはスキャナを初期化した場合に設定が必要です。

メモ 設定したらメモ帳は終了して下さい。

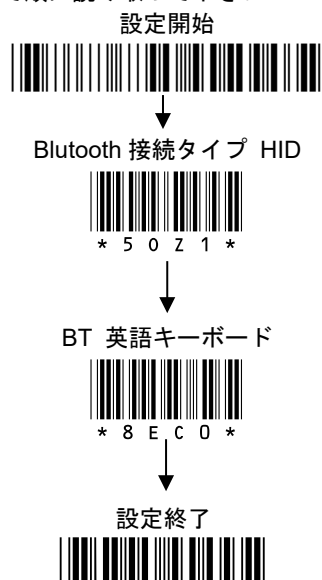
メモ 使い方は、第 9 章 9-1 (続き) 専用 USB ドングルとの使い方 を参照して下さい。

9-3 iOS デバイス(iPad,iPhone)とスキャナのペアリング(直接通信)・使い方

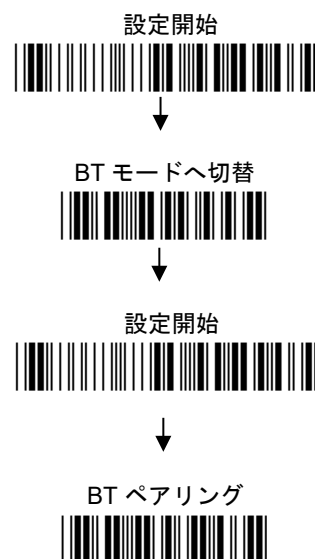
メモ ブザーはオンにしてください。またはバイブレータをオンにしてください。(メニューを読んでいるか確認する為)

1 スキャナを設定し、ペアリングモードにする

①スキャナで順に読み取って下さい



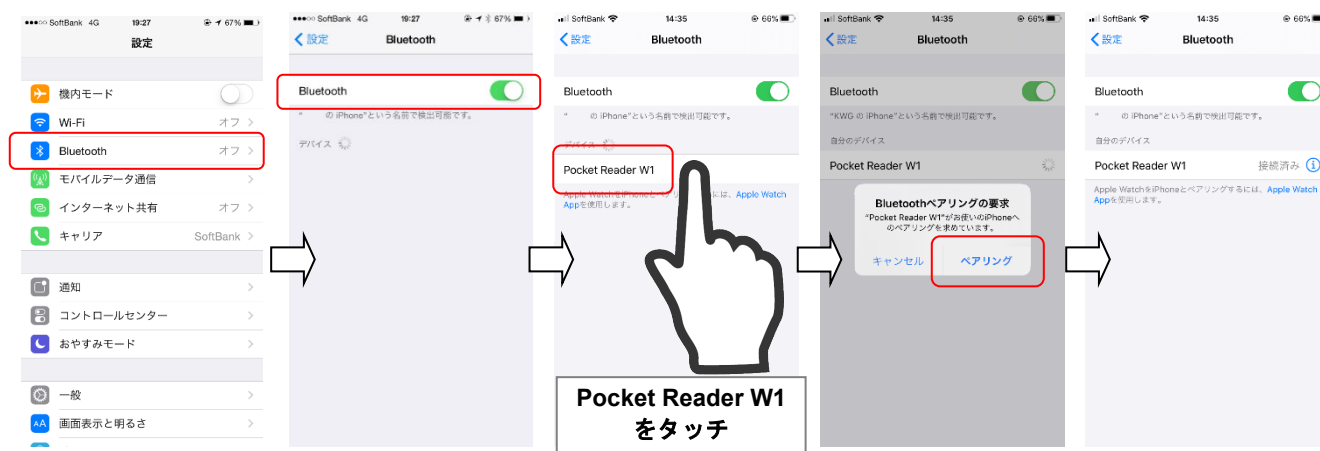
②スキャナで順に読み取って下さい(ケーブルは外して下さい)



2 接続先の機器(スマートフォン、タブレット)のBluetoothをオンにし、ペアリングする

2-1 iOS の手順

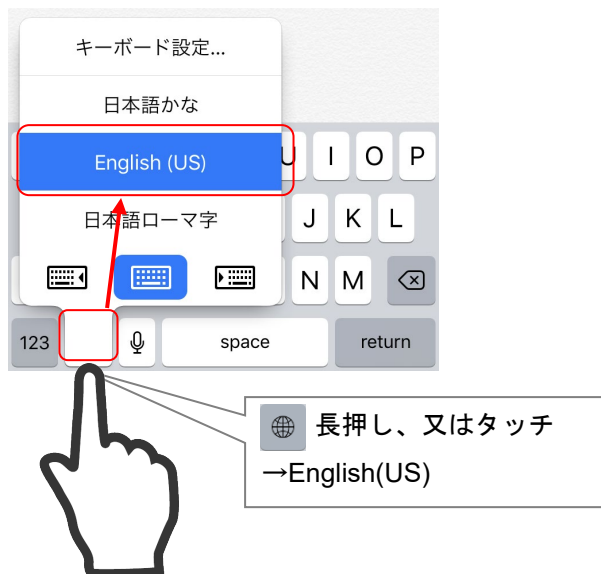
[設定] → [Bluetooth] → [オン] → [Pocket Reader W1] → [ペアリング] → [接続済み] と表示(ペアリング完了)



9-3 (続き) iOS デバイス(iPad,iPhone) とスキャナのペアリング・使い方

3 使い方

- 1) バーコードデータを入力するアプリ (メモアプリやブラウザ) を立ち上げて下さい。
- 2) バーコードを入力したいところをタッチしてカーソルを表示させて下さい。
- 3) スキャナの **小** ボタンを 1 回押して下さい。オンスクリーンキーボードが立ち上がります。
- 4) オンスクリーンキーボードの **地球儀** を長押し、又は何度かタッチしてキーボードを **English(US)** に設定して下さい。



- 5) バーコードを読み取って下さい。読み取りデータを転送します。



メモ 画面キーボードはスキャナの**小**ボタンでオン/オフして下さい

→iOS はスキャナと Bluetooth 接続中、画面をタッチしてもキーボードが出ません

メモ スキャナはしばらく時間がたつとスリープします(Bluetooth 切断します)。

→スリープ時、スキャナの**小**ボタンまたは**大**ボタンを押すと、Bluetooth は接続します。

メモ 手動で Bluetooth を切断できます。

→スキャナの**小**ボタンを長押し→3 回ブザー「ピピピ」が鳴る→すぐボタンをはなす→Bluetooth が切断します。

注意 3 回ブザーが鳴っても押し続けると転送モードに入りますのでご注意ください。

転送モードに入らない設定が出来ます→第 9 章 9-13 を参照

困ったときは (1) 改行しない、連続して横に出る、全角になる→上記 4)の通り、キーボードを English(US)に設定して下さい。

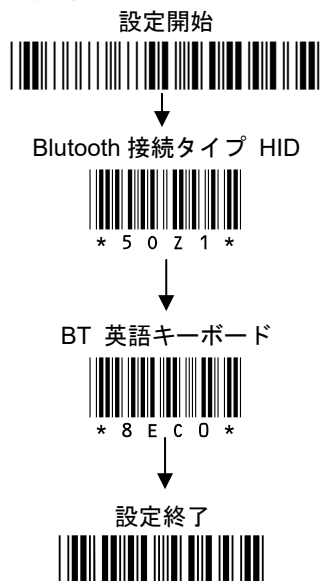
困ったときは (2) 読み取りデータが桁落ち・文字抜けする→第 9 章 9-14 BT モード データ転送速度を遅くする設定 を参照して下さい。又は、データ入力するアプリやブラウザを変えてご使用下さい。

9-4 Android デバイス(タブレット等)とスキャナのペアリング(直接通信)・使い方

メモ ブザーはオンにしてください。またはバイブレータをオンにしてください。(メニューを読んでいるか確認する為)

1 スキャナを設定し、ペアリングモードにする


①スキャナで順に読み取って下さい



②スキャナで順に読み取って下さい(ケーブルは外して下さい)



2 Android と Bluetooth ペアリングを行う (機器により画面・設定名は異なります)

設定  → [接続済みの端末] → [新しいデバイスとペア設定する] → [Pocket Reader W1] → [現在接続されている端末] に表示されます(ペアリング完了)



9-4 (続き) Android デバイス(タブレット等) とスキャナのペアリング・使い方

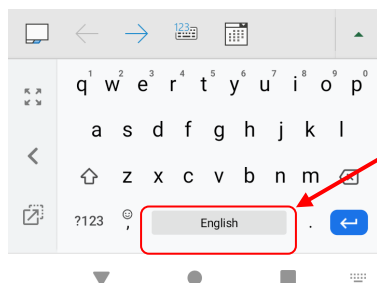
3 使い方 (機器により画面・設定名は異なります)

- 1) バーコードデータを入力するアプリ (メモアプリやブラウザ) を立ち上げて下さい。
- 2) バーコードを入力したいところをタッチしてカーソルを表示させて下さい。
- 3) 画面キーボードの[あ a1]をタッチ→[日本語]を長押し→キーボードを **English(US)QWERTY**(英語、米国など)に設定

例 Gboard の例です。機器により異なります。



English になっていることを確認



- 4) バーコードを読み取って下さい。読み取りデータを転送します。

27	(01)14512345678906(30)17310(10)301017
28	4512345678906
29	CODE39-1Q
30	Code128-567890
31	(01)14512345678906(17)14512345678906(30)17310(10)301017
32	
33	

タッチしてカーソルが表示したところにデータが入ります。

メモ 画面キーボードが出ないとき、スキャナの**小ボタン** **長押し**で Bluetooth 切断して下さい

(Android 端末によっては、Bluetooth 接続中、画面キーボードが出ない為、切断します)

Bluetooth 切断 (オフ) 方法

→スキャナの**小ボタン**を長押し→3 回ブザー「ピピピ」が鳴る→すぐボタンをはなす→Bluetooth が切断します

注意 3 回ブザーが鳴っても押し続けると転送モードに入りますのでご注意ください。

転送モードに入らない設定が出来ます→第 9 章 9-13 を参照

メモ スキャナはしばらく時間がたつとスリープします(Bluetooth 切断します)。

→スリープ時、スキャナの**小ボタン**または**大ボタン**を押すと、Bluetooth は接続します。

困ったときは (1) 改行しない、連続して横に出る、全角になる→上記 3)の通り、キーボードを English(US)に設定して下さい。

困ったときは (2) 読み取りデータが桁落ち・文字抜けする→第 9 章 9-14 BT モード データ転送速度を遅くする設定 を参照して下さい。又は、データ入力するアプリやブラウザを変えてご使用下さい。

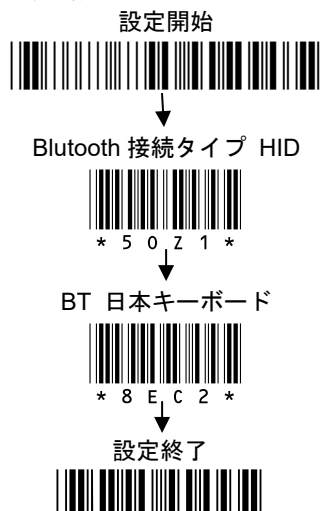
9-5 Windows <Bluetooth 対応 PC/タブレット>とスキャナのペアリング・使い方

注意 専用ドングルの説明は本書 9-1、9-2 です。このページは専用ドングルの説明ではありません。

メモ Bluetooth 搭載 Windows、市販ドングルはこのページで設定して下さい。（表示は異なりますが読み替えて下さい）

1 スキャナを設定し、ペアリングモードにする

①スキャナで順に読み取って下さい

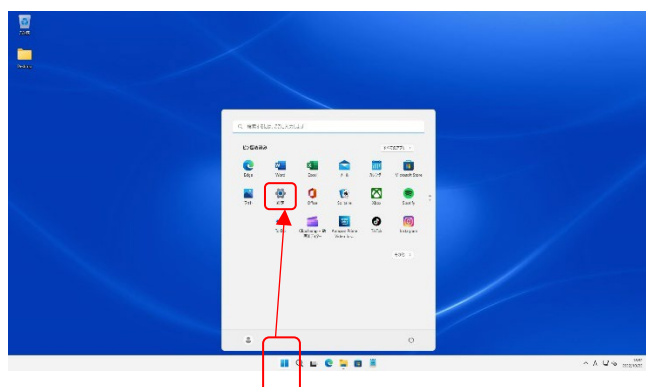


②スキャナで順に読み取って下さい（ケーブルは外して下さい）



2-A Windows11 と Bluetooth ペアリングを行う（画面は異なる場合があります）

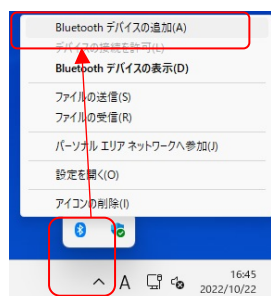
1) スタートアイコン→[設定] をクリック又はタッチ



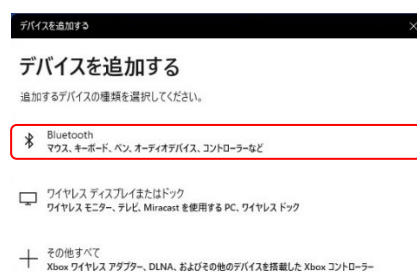
2)[デバイスの追加] をクリック又はタッチ



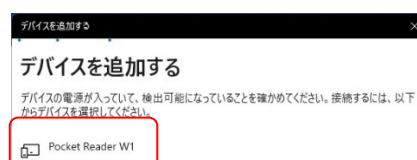
メモ 通知領域からも Bluetooth デバイスの追加を行えます
（Bluetooth がオンになっている場合）



3) [Bluetooth] をクリック又はタッチ

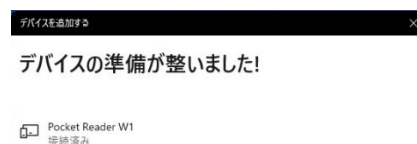


4) [Pocket Reader W1] をクリック又はタッチ



※最初「キーボード」と表示した場合、しばらく待つと「Pocket Reader W1」に変わります

5) [接続済み]と示→[完了]をクリック又はタッチ



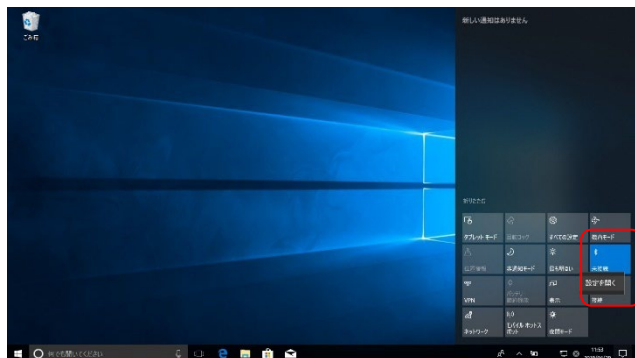
ブザーが鳴り、青 LED が点灯します。
以上でペアリング完了です。

ご案内 使い方は第 9 章 9-1 ドングル付きセット品「4 使い方」をお読み下さい。

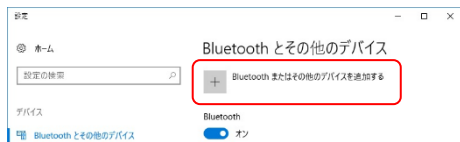
9-5（続き）Windows <Bluetooth 対応 PC/タブレット>とスキャナのペアリング・使い方

2-B Windows10 と Bluetooth ペアリングを行う（画面は異なる場合があります）

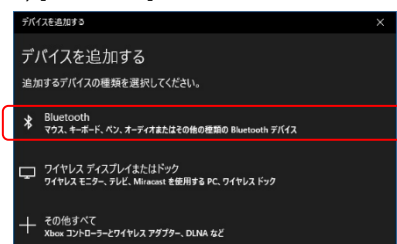
1) [アクションセンター]→[Bluetooth]を右クリック又は長押し
→[設定を開く]



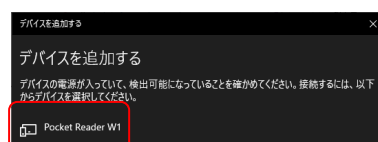
2) [Bluetooth またはその他のデバイスを追加する]をクリック
又はタッチ



3) [Bluetooth]をクリック又はタッチ

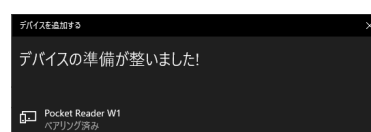


4) [Pocket Reader W1]をクリック又はタッチ



※最初「キーボード」と表示した場合、しばらく待つと「Pocket Reader W1t」に変わります

5) [ペアリング済み]と表示→[完了]をクリック又はタッチ



ブザーが鳴り、青 LED が点灯します。

以上でペアリング完了です。

ご案内 使い方は第 9 章 9-1 ドングル付きセット品「4 使い方」をお読み下さい。

9-6 ペアリングモードに入る方法

ペアリングモードは、設定メニュー読み取りか、ボタン操作で入ることができます。

- 1) スキャナから USB ケーブルを外して下さい。
- 2) スキャナを BT モードに切り替えてください。（第 6 章を参照）
- 2) 設定メニューかボタンでペアリングモードに入って下さい。

●設定メニューでペアリングモードに入る

次の設定メニューを読み取って下さい。



●ボタン操作でペアリングモードに入る

小 ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。青の LED が高速で点滅します。

小 ボタンを長押ししたまま、**大** ボタンを押して下さい。ペアリングモードに入ります。

9-7 ペアリング解除を防ぐ設定

ボタン操作でペアリングモードに入らない設定ができます。ボタン操作でペアリングを解除してしまうミスを防ぎます。

設定開始 → **BT 小ボタン長押し + 大ボタン 禁止** → 設定終了を読み取って下さい。（出荷時は許可です）



メモ ボタン禁止でも設定メニューでのペアリングはできます。

9-8 モード切替を防ぐ設定

大 ボタンの長押しによるモード切替のミスを防ぐには、モード固定して下さい。

メモリモードにならないようように BT モードに固定するには **設定開始** → **ケーブル + BT** → **設定終了** を設定して下さい。
詳しくは第 6 章 6-5 を参照して下さい。



9-9 Bluetooth を切断する

ボタン操作で Bluetooth を切断することができます。Bluetooth 機器のキーボードが使用できない場合などは切断して下さい。

●ボタン操作で Bluetooth を切断する

小 ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。青の LED が高速で点滅します。

ボタンを離して下さい。

スキャナが Bluetooth を切断し、オフになります。

メモ ペアリングの設定は保持されています。何かボタンを押すと電源が入り、Bluetooth 接続します。

9-10 USB 充電しながら BT モードを使う設定

モードの固定で、「BT」「メモリ/BT」（ケーブルモードを使用しない設定）を設定すると、USB ケーブルで充電しながらワイヤレススキャナとして使用できます。

設定開始→**BT（またはメモリ/BT）**→**設定終了**を設定して下さい。

詳しくは第 6 章 6-5 を参照して下さい。

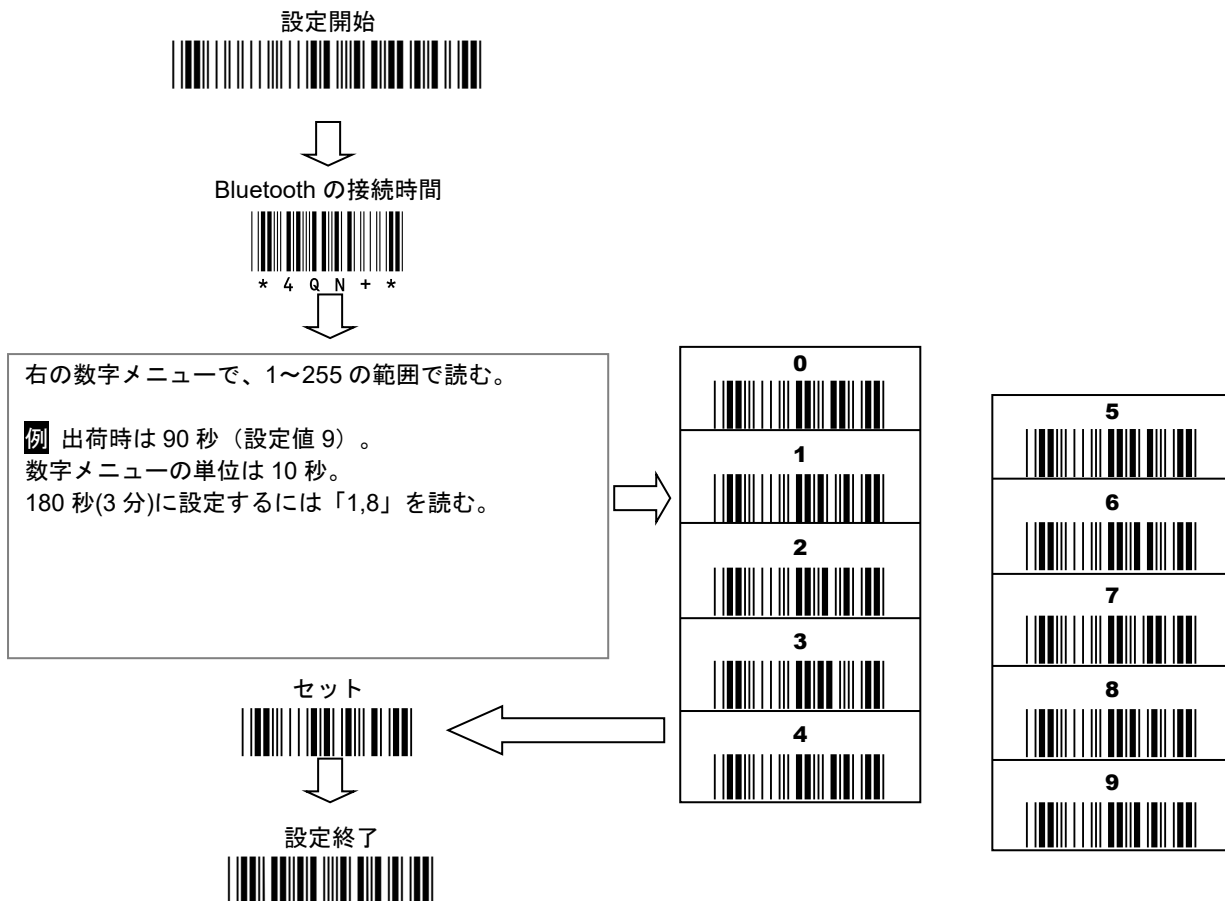
メモ 満充電（パワーLED、赤が 2 秒に 1 回の点滅）になったら USB ケーブルを外し充電中止して下さい。



9-11 Bluetooth 接続時間の設定

出荷時、BT モードは何も操作しないと 90 秒後に Bluetooth を切断し、スリープします。

Bluetooth 接続時間は長くすることができます。下記の設定メニューを順に読み取って下さい。



メモ 時間を長く設定すると、スキャナと機器のバッテリー消耗が早くなります。

9-12 メモリモードの蓄積データを BT モードで転送する

メモリモードで蓄積したデータを、パソコンに Bluetooth ワイヤレスで転送することが出来ます。

メモ モード固定の設定で、メモリを使えないモードを設定している場合は使用できません。

- 1) スキャナから USB ケーブルを外して下さい。
- 2) スキャナを BT モードに切り替えてください。（第 5 章を参照）
- 2) 設定メニューかボタンで転送モードに入して下さい。

●設定メニューで転送モードに入る

次の設定メニューを読み取り、転送モードに入り、**大**ボタンを押して下さい。蓄積データを転送します。



●ボタン操作で転送モードに入る

小ボタンを長押しして下さい。

ブザーが 3 回鳴ります。まだ長押しして下さい。青の LED が高速で点滅します。

しばらく待つと、長いブザーが 1 回鳴ります。青の LED が点灯になります。

ボタンから手を離して下さい。オレンジのランプが点灯します。転送モードに入りました。

大ボタンを押して下さい。蓄積データを転送します。

9-13 BT モードで転送モードに入らない設定

BT モードのとき、スキャナの**小**ボタンを長押しし続けると、転送モードに入ります。操作ミスで**小**ボタン長押しによって転送モードに入らないように、**設定開始**→**BT 小ボタン長押し 禁止**→**設定終了**を設定して下さい。

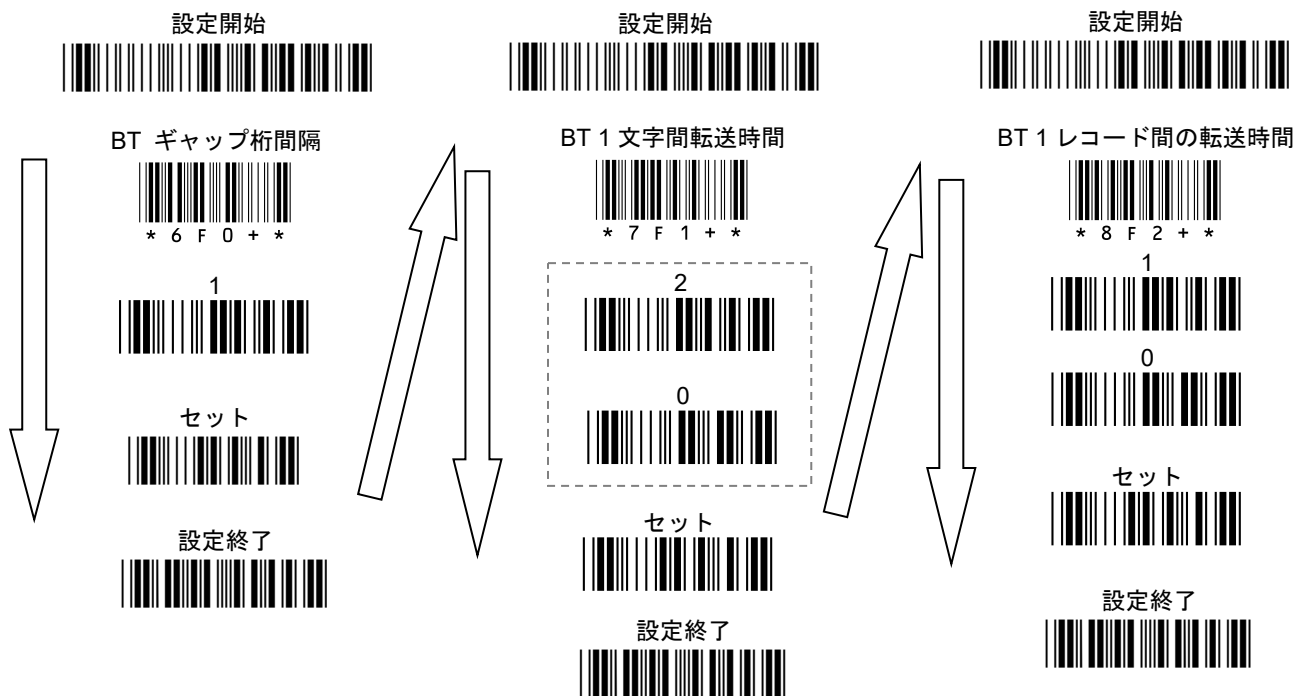


メモ 禁止に設定した後も、ケーブルモードでは**小**ボタンを長押しし続けると転送モードに入ることができます。

9-14 BT モード データ転送速度を遅くする設定（桁落ち、文字抜け対策）

BT モードで読み取りデータの文字が抜ける場合、矢印の順でメニューを読み取って下さい。

順に読み取って下さい。BT モードのデータ転送速度を遅くします。



メモ 設定して改善しない場合、点線箇所「2→0」を「5→0」など大きな数字で設定してお試し下さい。
数字を設定するには下記の数字メニューを読み取って下さい。

メモ 設定の説明
BT ギャップ桁間隔…何文字ごとに、遅延時間を入れるかの設定。通常は上記のまま(1桁ごと)設定して下さい。
BT 1 文字間転送時間…BT ギャップ桁間隔で設定した桁ごとに入れる遅延時間です。単位は 1msec。
BT 1 レコード間の転送時間…読み取りデータ 1 件の後に入れる遅延時間。単位は 10msec。

BT 1 文字間転送時間、BT 1 レコード間の転送時間は、数値を変更して調整できます。下記のメニューをご使用下さい。

0	5
1	6
2	7
3	8
4	9

9-15 BT モード(Bluetooth ワイヤレス)の改行設定を変更する


- 出荷時のスキャナは読取データの終端に Enter（エンター、改行）が付きます。
- 読取データの終端を Tab（タブ）、または無しに変更する場合は、スキャナで下記の設定メニューを上から順に読み取り、設定を変更して下さい。

メモ ケーブルモード(USB ケーブル接続時)の改行設定は第 7 章 7-5 を参照して下さい。

1. 設定開始



2.お選び下さい（上から順に読み取る）

読取データ+Enter(改行) (出荷時設定)	読取データ+Tab(タブ)	読取データ+無し(データのみ)
(BT)ポストアンブル 許可  * 2 Z L 1 *	(BT)ポストアンブル 許可  * 2 Z L 1 *	(BT)ポストアンブル 禁止  * 2 Z L 0 *
↓	↓	
(BT)ポストアンブル データ  * G 0 0 + *	(BT) ポストアンブル データ  * G 0 0 + *	
↓	↓	
 0	 0	
↓	↓	
 D	 9	
↓	↓	
 セット	 セット	

3. 設定終了



メモ 詳しくは「第 14 章 設定の方法」「第 15 章 設定メニュー」をお読み下さい。

9-16 BT モードで日時を転送する

このページは Bluetooth ワイヤレスで読むときの設定です。ケーブルモード→第7章 7-6 メモリモード→第8章 8-9

設定例のように読取データを転送するには、スキャナで★印のメニューを読み取って下さい。

出荷時の転送形式


1234567890
4512345678906
ABCD1234

















設定例

2022/09/24 (Tab) 17:33:50 (Tab) 1234567890
2022/10/01 (Tab) 09:15:50 (Tab) 4512345678906
2022/11/15 (Tab) 11:23:45 (Tab) ABCD1234

上下隣のメニューを間違
って読まないようご注意
下さい。設定後タブ区切
りにならない場合、0, 9 を
0, 0 などと読んでいます。
再設定して下さい。


★設定開始



設定	禁止(オフ)	許可(オン)	
日付の転送	<p>* 禁止</p>  <p>* 1 Z T 0 *</p>	<p>★許可</p>  <p>* 1 Z T 1 *</p>	<p>日時をタブ(Tab)で 区切る場合はこちら</p> <p>★区切文字タブ設定</p> <p>日付と時刻の間</p>  <p>* A 0 9 + *</p>  <p>0</p>  <p>9</p>  <p>セット</p>  <p>デリミタ</p> <p>* 9 0 8 + *</p>  <p>0</p>  <p>9</p>  <p>セット</p>
時刻の転送	<p>* 禁止</p>  <p>* 2 Z U 0 *</p>	<p>★許可</p>  <p>* 2 Z U 1 *</p>	
デリミタの転送 日時とデータの 間のキャラクタ	<p>* 禁止</p>  <p>* 4 Z W 0 *</p>	<p>★許可</p>  <p>* 4 Z W 1 *</p>	
日時の位置 データの前か後	<p>* 前</p>  <p>* 3 Z V 0 *</p>	<p>後</p>  <p>* 3 Z V 1 *</p>	

日時をスペースで区切る場合はこちら
(そのまま設定終了)
※タブにした後、スペースに戻すには、
巻末付録 B 英数メニューを使い、右側
の0, 9を2, 0で設定して下さい。

★設定終了



第 10 章 メンテナンス

本製品は特別なメンテナンスが不要ですが、定期的に清掃・点検を行うことで高い性能を保つことができます。

10-1 読み取り窓の清掃



ご注意



読み取り窓を清掃するときは、傷つけないように注意してください。**読み取り窓が傷つくと読み取らなくなります。**

読み取り窓が汚れていると、バーコードの読み取り性能が低下するなどの影響が生じます。ほこりや汚れがついている場合は柔らかい布やティッシュを水または薄めた中性洗剤で湿らせて、よく絞ってから読み取り窓を拭いてください。

読み取り窓を拭くときは下記のことをお守り下さい。

- ・ **強くこすらない**
→窓が傷つき読み取らなくなります。
- ・ 研磨剤を使ったり、研磨する布類を使ったりしない
→窓が傷つき読み取らなくなります。
- ・ 有機溶剤を使用しない
→窓が溶けて読み取らなくなります。
- ・ 水やその他の液体を直接窓に吹きかけない
→本製品は防水ではありません。液体が侵入し故障の原因になります。

10-2 コネクタ・ケーブルの点検

コネクタ・ケーブルが破損・故障していると、正常に動作しません。

定期的の下記のことを確認して下さい。

- ・ コネクタが破損・変形していないか確認する
→コネクタが異常だと動作しなくなります。
- ・ ケーブルがねじれていたり、物が乗っていたり、挟まったりしていないか確認する。
→ケーブルが断線し、動作しなくなります。

第 11 章 困ったときは

Q:設定の方法を知りたい

A:第 14 章 設定の方法 をお読み下さい。

Q:JAN-13(13 桁)が 12 桁で転送してしまう 先頭 0 が出ない

A: そのバーコードの 1 桁目が 0 の場合、バーコードタイプ UPC-A に対し、次の設定をして下さい。

第 15 章 15-19 UPC-A **設定開始**→**EAN 13 / JAN 13 に変換**→**設定終了**

Q:Interleaved 2 of 5(ITF)を読み取らない

A:次の設定をして下さい。第 15 章 15-24 Interleaved 2 of 5 **設定開始**→**読み取り 許可**→**設定終了**

Q:Code 39 のスタート/ストップキャラクタ * を転送したい

A: 次の設定をして下さい。第 15 章 15-23 Code 39 **設定開始**→**スタート/ストップ転送 許可**→**設定終了**

Q:NW7 のスタート/ストップキャラクタ A を転送したい

A: 次の設定をして下さい。第 15 章 15-27 Codabar / NW7 **設定開始**→**スタート/ストップ転送 許可**→**設定終了**

Q:データの最後に転送する Enter(エンター、改行)を Tab(タブ)や無しに変更したい

A:第 2 章 2-5 「よく使う設定」の設定メニューで設定して下さい。

詳しくは第 14 章 14-7「読み取りデータの前後に文字やキーを転送する設定」をお読み下さい。

Q:Excel に転送すると E+12 などと表示する、最初の 0 が消える

A:Excel でデータを入力する列を選択→右クリック→セルの書式設定→表示形式→文字列→OK を設定して下さい

第 12 章 仕様

仕様表

型番	AC-201W1	AC-201L	AC-201LW1
プロセッサ	32 bits CPU		
メモリ	8MB (JAN13 で約 60,000 件データ保存可能)		
日時機能	クォーツ RTC (読取データに読取日時を付加可能)		
キー	スキャンキー1、機能(消去/転送/他)キー1		
対応バーコード	JAN,EAN,UPC,Code 39, Interleaved 2 of 5 (ITF), Industrial 2 of 5, Matrix 2 of 5, Codabar(NW7), Code 93, Code 128,GS1-128(注), GS1 Databar 他		
読取光源	赤色 LED 620nm	赤色半導体レーザー 650nm	
スキャン速度	200 スキャン/秒	120 スキャン/秒	
PCS	0.45 以上		
バッテリー	リチウムポリマーバッテリー 3.7V,420mAH (USB ポートで充電)		
読取回数	約 20,000 回	約 21,000 回	約 20,000 回
消費電流	約 113.6mA	約 92.3mA	約 87mA
待機電流	約 3.5~10.7mA	約 1.3~9.5mA	約 4.7~10.1mA
USB	USB 2.0 (Type C) インターフェース:USB HID,USB COM,マストレージ		
Bluetooth	Bluetooth (BLE5.0), 距離約 40m 対応プロファイル : HID,専用 USB ドングル	なし	Bluetooth (BLE5.0), 距離約 40m 対応プロファイル : HID,専用 USB ドングル
読取通知	LED ランプ (3 箇所)、ブザー (音量 4 段階、または無し)		
バイブレータ	あり (禁止に設定可能)		
温度	動作 : -10 ℃~40 ℃、保管 : -20 ℃~60 ℃		
寸法	(L x W x H) 68.7 x 37.1 x 21 mm		
重量	37.9g	39.3g	41g
認証	FCC / CE / VCCI / 技適(工事設計認 証、無線モジュール)	FCC / CE / VCCI	FCC / CE / VCCI / 技適(工事設計認 証、無線モジュール)
環境	RoHS 指令準拠(RoHS2)		
オプション	専用ドングル ※別売、又はセット品に同梱	なし	専用ドングル ※別売、又はセット品に同梱

メモ 専用ドングルの付いたセット品は各型番に-S を追記したものととなります。

AC-201W1-S → AC-201W1 に専用ドングルの付いたセット品

AC-201LW1-S → AC-201LW1 に専用ドングルの付いたセット品

注意 バーコードの品質に影響を受ける為、すべての読み取りを保証するものではありません。

注意 すべての機器との接続動作を保証するものではありません。

注意 Bluetooth は SPP 非対応です。

読取深度

AC-201W1 (赤色 LED 式)

コードタイプ	分解能	最小読取距離	最大読取距離
JAN-13	0.396mm (15.6mil)	5.0cm	22.0cm
Code 39	0.1mm (4mil)	9.0cm	11.0cm
Code 39	0.127mm (5mil)	9.0cm	12.0cm
Code 39	0.33mm (13mil)	8.0cm	30.0cm

AC-201L, AC-201LW1 (レーザー式)

コードタイプ	分解能	最小読取距離	最大読取距離
JAN-13	0.396mm (15.6mil)	5.5cm	23.0cm
Code 39	0.1mm (4mil)	4.5cm	10.0cm
Code 39	0.127mm (5mil)	6.0cm	9.0cm
Code 39	0.33mm (13mil)	8.5cm	33.0cm

第 13 章 出荷時の初期値一覧、コード ID 一覧

13-1 初期値の一覧

設定の初期値です。

初期値の一覧表

モード	インターフェースの設定	初期値	参照 章
ケーブル/メモリ	インターフェースの設定	USB HID	15-3

モード	キーボード配列	初期値	参照 章
ケーブル/メモリ	キーボード配列	英語キーボード	15-4
BT	キーボード配列	英語キーボード	15-4

モード	Caps Lock	初期値	参照 章
ケーブル/メモリ	Caps Lock	オート	15-4
BT	Caps Lock	Caps Lock オフ	15-4

モード	数字データ	初期値	参照 章
ケーブル/メモリ	数字データ	フルキーとしてデータを転送	15-4
BT	数字データ	フルキーとしてデータを転送	15-4

モード	ギャップ	初期値	参照 章
ケーブル/メモリ	桁間隔	0 (桁)	15-4
	1文字間の転送時間	2 (1msec)	15-4
	1レコード間の転送時間	0 (10msec)	15-4
BT	桁間隔	0 (桁)	15-4
	1文字間の転送時間	2 (1msec)	15-4
	1レコード間の転送時間	0 (10msec)	15-4

スキャナのモード固定	初期値	参照 章
スキャナのモード固定	ケーブル+メモリ+BT	15-5

モード	小ボタンの設定	初期値	参照 章
ケーブル	転送モードに入る	許可	15-6
メモリ	1件消去する	許可	15-6
BT	転送モードに入る	許可	15-6

モード	小ボタン長押し+大ボタンの設定	初期値	参照 章
ケーブル	充電オン/オフ	許可	15-6
メモリ	すべて消去する	許可	15-6
BT	ペアリングモードに入る	許可	15-6

初期値の一覧表(続き)

モード	スキャナ本体の日時設定	初期値	参照 章
すべて	日時の設定	2000-01-01 00:00:00 (開封時すすんでいる場合あり)	15-7
	日付の区切文字	- (設定値2D、ハイフン)	15-7
	時刻の区切文字	許可	15-7

モード	日付の形式	初期値	参照 章
すべて	日付の形式	YYYYMMDD	15-7

モード	時刻の形式	初期値	参照 章
すべて	時刻の形式	hhmmss	15-7

モード	日時の転送	初期値	参照 章
ケーブル	日付の転送	禁止	15-8
	時刻の転送	禁止	15-8
	日付と時刻の間のキャラクタ	SP (設定値20)	15-8
	デリミタの転送	禁止	15-8
	デリミタのキャラクタ	SP (設定値20)	15-8
	日時の位置	データの直前	15-8
メモリ	日付の転送	禁止	15-8
	時刻の転送	禁止	15-8
	日付と時刻の間のキャラクタ	SP (設定値20)	15-8
	デリミタの転送	禁止	15-8
	デリミタのキャラクタ	SP (設定値20)	15-8
	日時の位置	データの直前	15-8
BT	日付の転送	禁止	15-8
	時刻の転送	禁止	15-8
	日付と時刻の間のキャラクタ	SP (設定値20)	15-8
	デリミタの転送	禁止	15-8
	デリミタのキャラクタ	SP (設定値20)	15-8
	日時の位置	データの直前	15-8

モード	メモリモードの動作		初期値	参照 章
メモリ	メモリモードの転送タイプ		標準動作	15-9
メモリ/BT	蓄積データの転送単位		すべて転送	15-9
	1件ずつ転送のキー押下待機時間		30 (秒)	
	蓄積データの自動消去		禁止	15-9
メモリ	ヘッダの転送		許可	15-9
	フッタの転送		許可	15-9
	ヘッダ内の 文字の転送	<Header>の転送	許可	15-9
		<Header>の文字 設定	<Header>	15-9
		日時の転送	許可	15-9
		レコード件数の 転送	許可	15-9
	フッタ内の 文字の転送	<Footer>の転送	許可	15-9
		<Footer>の文字 設定	<Header>	15-9
		日時の転送	禁止	15-9
レコード件数の 転送		禁止	15-9	

初期値の一覧表(続き)

モード	BTモードの動作	初期値	参照 章
BT	Bluetooth接続タイプ	HID	15-10
	専用USB dongleのUSBインターフェース	USB HID	15-10
	専用USB dongleのアドレス	000000000000	15-10
	通信時間	ペアリングの時間	90 (1sec)
		Bluetooth 接続の時間	9 (10sec)
	スキャナの表示名	Pocket Reader W1	15-10

モード	スキャンモード	初期値	参照 章
ケーブル	スキャンモード	モーメンタリ	15-11
メモリ	スキャンモード	モーメンタリ	15-11
BT	スキャンモード	モーメンタリ	15-11

モード	エイマーの点灯時間	初期値	参照 章
ケーブル	エイマーの点灯時間	10 (1sec)	15-11
メモリ	エイマーの点灯時間	10 (1sec)	15-11
BT	エイマーの点灯時間	10 (1sec)	15-11

モード	同一コードを読み取るまでの時間	初期値	参照 章
メモリ	同一コードを読み取るまでの時間	0 (10msec)	15-11

モード	2度読み防止	初期値	参照 章
ケーブル	2度読み防止	禁止	15-11
メモリ	2度読み防止	禁止	15-11
BT	2度読み防止	禁止	15-11

モード	読み取り一致	初期値	参照 章
ケーブル	読み取り一致	禁止	15-11
	読み取り一致回数	1(回)	15-11
メモリ	読み取り一致	禁止	15-11
	読み取り一致回数	1(回)	15-11
BT	読み取り一致	禁止	15-11
	読み取り一致回数	1(回)	15-11

モード	省電力モード	初期値	参照 章
メモリ	スタンバイ時間	30 (1sec)	15-12
BT	スタンバイ時間	9 (10sec)	15-12

初期値の一覧表(続き)

モード	ブザー オン/オフ	初期値	参照 章
各モード共通	警告	許可	15-13
ケーブル	読み取り	許可	15-13
	警告	許可	15-13
	機能操作	許可	15-13
	音調	27 (100Hz)	15-13
	鳴る長さ	10 (10msec)	15-13
メモリ	読み取り	許可	15-13
	警告	許可	15-13
	機能操作	許可	15-13
	音調	27 (100Hz)	15-13
	鳴る長さ	10 (10msec)	15-13
BT	読み取り	許可	15-13
	警告	許可	15-13
	機能操作	許可	15-13
	音調	27 (100Hz)	15-13
	鳴る長さ	10 (10msec)	15-13

モード	ブザー 音量	初期値	参照 章
各モード共通	警告	最大	15-14
ケーブル	読み取り	最大	15-14
	警告	最大	15-14
	機能操作	最大	15-14
メモリ	読み取り	最大	15-14
	警告	最大	15-14
	機能操作	最大	15-14
BT	読み取り	最大	15-14
	警告	最大	15-14
	機能操作	最大	15-14

モード	バイブレータ	初期値	参照 章
各モード共通	警告	禁止	15-15
	設定時	禁止	15-15
ケーブル	読み取り	許可	15-15
	警告	許可	15-15
	機能操作	許可	15-15
	バイブの長さ	5 (10msec)	15-15
メモリ	読み取り	許可	15-15
	警告	許可	15-15
	機能操作	許可	15-15
	バイブの長さ	5 (10msec)	15-15
BT	読み取り	許可	15-15
	警告	許可	15-15
	機能操作	許可	15-15
	バイブの長さ	5 (10msec)	15-15

初期値の一覧表(続き)

モード	プリアンブル/プリフィックス/サフィックス/ポストアンブル	初期値	参照 章
ケーブル	プリアンブルの転送	禁止	15-16
	プリアンブル データ	(なし)	15-16
	プリフィックスの転送	禁止	15-16
	プリフィックス データ	(なし)	15-16
	サフィックスの転送	禁止	15-16
	サフィックス データ	(なし)	15-16
	ポストアンブルの転送	許可	15-16
	ポストアンブル データ	CR LF (設定値 0D 0A)	15-16
メモリ	プリアンブルの転送	禁止	15-16
	プリアンブル データ	(なし)	15-16
	プリフィックスの転送	禁止	15-16
	プリフィックス データ	(なし)	15-16
	サフィックスの転送	禁止	15-16
	サフィックス データ	(なし)	15-16
	ポストアンブルの転送	許可	15-16
	ポストアンブル データ	CR LF (設定値 0D 0A)	15-16
BT	プリアンブルの転送	禁止	15-16
	プリアンブル データ	(なし)	15-16
	プリフィックスの転送	禁止	15-16
	プリフィックス データ	(なし)	15-16
	サフィックスの転送	禁止	15-16
	サフィックス データ	(なし)	15-16
	ポストアンブルの転送	許可	15-16
	ポストアンブル データ	CR LF (設定値 0D 0A)	15-16

モード	コードタイプ/コードID/桁数	初期値	参照 章
ケーブル	コードタイプの転送	禁止	15-17
	コードIDの転送	禁止	15-17
	コードIDの位置	データの前	15-17
	桁数の転送	禁止	15-17
メモリ	コードタイプの転送	禁止	15-17
	コードIDの転送	禁止	15-17
	コードIDの位置	データの前	15-17
	桁数の転送	禁止	15-17
BT	コードタイプの転送	禁止	15-17
	コードIDの転送	禁止	15-17
	コードIDの位置	データの前	15-17
	桁数の転送	禁止	15-17

モード	アルファベット大文字小文字の変換	初期値	参照 章
ケーブル	アルファベット大文字小文字の変換	変換しない	15-18
メモリ	アルファベット大文字小文字の変換	変換しない	15-18
BT	アルファベット大文字小文字の変換	変換しない	15-18

モード	制御文字の転送	初期値	参照 章
ケーブル	制御文字の転送	禁止	15-18
メモリ	制御文字の転送	禁止	15-18
BT	制御文字の転送	禁止	15-18

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定			初期値	参照 章
UPC-A	読み取り		許可	15-19
	チェックデジット転送		許可	15-19
	アドオンの読み取り		禁止	15-19
	アドオンの確認		禁止	15-19
	アドオンの確認回数（ケーブル/メモリ/BT）		20（ケーブル/メモリ/BT各モードとも）	15-19
	先頭から連続する0の削除		禁止	15-19
	データの削除	前方から削除	0	15-19
		後方から削除	0	15-19
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-19
		挿入データ2の位置	0	15-19
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-19
		挿入データ2	(なし)	15-19
	コードIDの文字		A (設定値 41)	15-19
UPC-E	読み取り		許可	15-20
	チェックデジット転送		許可	15-20
	アドオンの読み取り		禁止	15-20
	アドオンの確認		禁止	15-20
	アドオンの確認回数（ケーブル/メモリ/BT）		20（ケーブル/メモリ/BT各モードとも）	15-20
	13桁に変換		禁止	15-20
	先頭から連続する0の削除		禁止	15-20
	データの削除	前方から削除	0	15-20
		後方から削除	0	15-20
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-20
		挿入データ2の位置	0	15-20
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-20
		挿入データ2	(なし)	15-20
	コードID	コードID	E (設定値 45)	15-20
		サブコードID	E (設定値 45)	15-20
EAN 13/ EAN 13	読み取り		許可	15-21
	チェックデジット転送		許可	15-21
	アドオンの読み取り		禁止	15-21
	アドオンの確認		なし	15-21
	アドオンの確認回数（ケーブル/メモリ/BT）		20（ケーブル/メモリ/BT各モードとも）	15-21
	ISBN/ISSNに変換		禁止	15-21
	先頭から連続する0の削除		禁止	15-21
	データの削除	前方から削除	0	15-21
		後方から削除	0	15-21
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-21
		挿入データ2の位置	0	15-21
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-21
		挿入データ2	(なし)	15-21
コードID	コードID	F (設定値 46)	15-21	
	サブコードID	F (設定値 46)	15-21	
EAN 8/ EAN 8	読み取り		許可	15-22
	チェックデジット転送		許可	15-22
	アドオンの読み取り		禁止	15-22
	アドオンの確認		禁止	15-22
	アドオンの確認回数（ケーブル/メモリ/BT）		20（ケーブル/メモリ/BT各モードとも）	15-22
	13桁に変換		禁止	15-22
	先頭から連続する0の削除		禁止	15-22
	データの削除	前方から削除	0	15-22
		後方から削除	0	15-22
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-22
		挿入データ2の位置	0	15-22
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-22
		挿入データ2	(なし)	15-22
コードID	コードID	FF (設定値 46 46)	15-22	
	サブコードID	FF (設定値 46 46)	15-22	

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定		初期値	参照 章
Code 39	読み取り	許可	15-23
	スタート/ストップ転送	禁止	15-23
	チェックデジット確認	禁止	15-23
	チェックデジット転送	禁止	15-23
	Code 39の形式	標準	15-23
	最小読取桁数	0	15-23
	最大読取桁数	0	15-23
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-23
	データの削除	前方から削除	15-23
		後方から削除	15-23
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	15-23
		挿入データ2の位置	15-23
	挿入データ	挿入データ1	(なし)
		挿入データ2	(なし)
	コードID	コードID	M (設定値 4D)
		サブコードID	M (設定値 4D)
Interleaved 2 of 5	読み取り	禁止	15-24
	チェックデジット確認	禁止	15-24
	チェックデジット転送	禁止	15-24
	最小読取桁数	0	15-24
	最大読取桁数	0	15-24
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-24
	データの削除	前方から削除	15-24
		後方から削除	15-24
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	15-24
		挿入データ2の位置	15-24
	挿入データ	挿入データ1	(なし)
		挿入データ2	(なし)
	コードID	I (設定値 49)	15-24
Industrial 2 of 5	読み取り	禁止	15-25
	チェックデジット確認	禁止	15-25
	チェックデジット転送	禁止	15-25
	最小読取桁数	0	15-25
	最大読取桁数	0	15-25
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-25
	データの削除	前方から削除	15-25
		後方から削除	15-25
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	15-25
		挿入データ2の位置	15-25
	挿入データ	挿入データ1	(なし)
		挿入データ2	(なし)
	コードID	J (設定値 4A)	15-25
Matrix 2 of 5	読み取り	禁止	15-26
	チェックデジット確認	禁止	15-26
	チェックデジット転送	禁止	15-26
	最小読取桁数	0	15-26
	最大読取桁数	0	15-26
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-26
	データの削除	前方から削除	15-26
		後方から削除	15-26
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	15-26
		挿入データ2の位置	15-26
	挿入データ	挿入データ1	(なし)
		挿入データ2	(なし)
	コードID	G (設定値 47)	15-26

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定		初期値	参照 章
Codabar / NW7	読み取り	許可	15-27
	スタート/ストップ転送	禁止	15-27
	スタート/ストップ転送形式	ABCD/ABCD	15-27
	スタート/ストップ同一確認	禁止	15-27
	チェックデジット確認 (MOD16)	禁止	15-27
	チェックデジット転送	禁止	15-27
	最小読取桁数	0	15-27
	最大読取桁数	0	15-27
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-27
	データの削除	前方から削除	15-27
		後方から削除	15-27
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	15-27
		挿入データ2の位置	15-27
	挿入データ	挿入データ1	(なし)
		挿入データ2	(なし)
	コードID	N (設定値 4E)	15-27
Code 128	読み取り	許可	15-28
	転送形式	標準	15-28
	AIカッコ追加	(AIカッコ追加)	15-28
		AIカッコ変更	((設定値 28)
	GS1 AIM ID転送	GS1 AIM ID転送	15-28
		区切FNC1変更	<GS>※文字通りの4文字 (設定値 1D)
	最小読取桁数	0	15-28
	最大読取桁数	0	15-28
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-28
	データの削除	前方から削除	15-28
		後方から削除	15-28
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	15-28
		挿入データ2の位置	15-28
	挿入データ	挿入データ1	(なし)
		挿入データ2	(なし)
	コードID	コードID	K (設定値 4B)
		サブコードID	K (設定値 4B)
Code 93	読み取り	禁止	15-29
	チェックデジット確認	2桁	15-29
	チェックデジット転送	禁止	15-29
	最小読取桁数	0	15-29
	最大読取桁数	0	15-29
	先頭から連続する0の削除	禁止	15-29
	データの削除	前方から削除	15-29
		後方から削除	15-29
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	15-29
		挿入データ2の位置	15-29
	挿入データ	挿入データ1	(なし)
		挿入データ2	15-29
	コードID	L (設定値 4C)	15-29

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定			初期値	参照 章
Code 11	読み取り		禁止	15-30
	チェックデジット確認		2桁	15-30
	チェックデジット転送		禁止	15-30
	最小読取桁数		0	15-30
	最大読取桁数		0	15-30
	先頭から連続する0の削除		禁止	15-30
	データの削除	前方から削除	0	15-30
		後方から削除	0	15-30
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-30
		挿入データ2の位置	0	15-30
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-30
		挿入データ2	(なし)	15-30
	コードID		O (設定値 4F)	15-30
MSI	読み取り		禁止	15-31
	チェックデジット確認		Mod10	15-31
	チェックデジット転送		禁止	15-31
	最小読取桁数		0	15-31
	最大読取桁数		0	15-31
	先頭から連続する0の削除		禁止	15-31
	データの削除	前方から削除	0	15-31
		後方から削除	0	15-31
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-31
		挿入データ2の位置	0	15-31
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-31
		挿入データ2	(なし)	15-31
	コードID		P (設定値 50)	15-31
Plessey	読み取り		禁止	15-32
	チェックデジット確認		禁止	15-32
	チェックデジット転送		禁止	15-32
	最小読取桁数		0	15-32
	最大読取桁数		0	15-32
	先頭から連続する0の削除		禁止	15-32
	データの削除	前方から削除	0	15-32
		後方から削除	0	15-32
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-32
		挿入データ2の位置	0	15-32
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-32
		挿入データ2	(なし)	15-32
	コードID		R (設定値 52)	15-32
Telepen	読み取り		禁止	15-33
	転送形式		Numeric	15-33
	チェックデジット確認		禁止	15-33
	チェックデジット転送		禁止	15-33
	最小読取桁数		0	15-33
	最大読取桁数		0	15-33
	先頭から連続する0の削除		禁止	15-33
	データの削除	前方から削除	0	15-33
		後方から削除	0	15-33
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-33
		挿入データ2の位置	0	15-33
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-33
		挿入データ2	(なし)	15-33
	コードID		S (設定値 53)	15-33

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定			初期値	参照 章
GS1データバー 標準型（オムニ ディレクショナル）	読み取り		禁止	15-34
	AIカッコ追加	（AIカッコ追加）	禁止	15-34
		AIカッコ変更	((設定値 28)	15-34
	GS1 AIM ID転送	GS1 AIM ID転送	禁止	15-34
	データの削除	前方から削除	0	15-34
		後方から削除	0	15-34
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-34
		挿入データ2の位置	0	15-34
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-34
挿入データ2		(なし)	15-34	
コードID			T (設定値 54)	15-34
GS1データバー 限定型（リミテ ッド）	読み取り		禁止	15-35
	AIカッコ追加	（AIカッコ追加）	禁止	15-35
		AIカッコ変更	((設定値 28)	15-35
	GS1 AIM ID転送	GS1 AIM ID転送	禁止	15-35
	データの削除	前方から削除	0	15-35
		後方から削除	0	15-35
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-35
		挿入データ2の位置	0	15-35
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-35
挿入データ2		(なし)	15-35	
コードID			U (設定値 55)	15-35
GS1データバー 標準二層型（オ ムニディレクシ ヨナルスタッ ク）	読み取り		禁止	15-36
	AIカッコ追加	（AIカッコ追加）	禁止	15-36
		AIカッコ変更	((設定値 28)	15-36
	GS1 AIM ID転送	GS1 AIM ID転送	禁止	15-36
	データの削除	前方から削除	0	15-36
		後方から削除	0	15-36
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-36
		挿入データ2の位置	0	15-36
	挿入データ	挿入データ1	(なし)	15-36
挿入データ2		(なし)	15-36	
コードID			V (設定値 56)	15-36

初期値の一覧表(続き)

バーコードの読み取り設定			初期値	参照 章
GS1データバー 拡張型（エク спанデッド）	読み取り		禁止	15-37
	AIカッコ追加	（AIカッコ追加）	禁止	15-37
		AIカッコ変更	（（設定値 28）	15-37
	GS1 AIM ID転送	GS1 AIM ID転送	禁止	15-37
		区切FNC1変更	<GS>※文字通りの4文字（設定値 1D）	15-37
	データの削除	前方から削除	0	15-37
		後方から削除	0	15-37
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-37
		挿入データ2の位置	0	15-37
	挿入データ	挿入データ1	（なし）	15-37
		挿入データ2	（なし）	15-37
	コードID		W（設定値 57）	15-37
GS1 データバー 拡張多層型（エ クспанデッ ドスタック）	読み取り		禁止	15-38
	AIカッコ追加	（AIカッコ追加）	禁止	15-38
		AIカッコ変更	（（設定値 28）	15-38
	GS1 AIM ID転送	GS1 AIM ID転送	禁止	15-38
		区切FNC1変更	<GS>※文字通りの4文字（設定値 1D）	15-38
	データの削除	前方から削除	0	15-38
		後方から削除	0	15-38
	挿入データの位置	挿入データ1の位置	0	15-38
		挿入データ2の位置	0	15-38
	挿入データ	挿入データ1	（なし）	15-38
		挿入データ2	（なし）	15-38
	コードID		X（設定値 58）	15-38

13-2 コード ID 一覧

コード ID は初期値の一覧表にも表示しています。見やすくするためにまとめた表です。

コード ID 一覧表

バーコードシンボル	コードID (ASCII)	コードIDの 設定値(HEX)	サブコードID (ASCII)	サブコードIDの 設定値(HEX)	GS1 AIM ID
UPC-A	A	41			
UPC-E	E	45	E	45	
EAN 13 / JAN 13	F	46	F	46	
EAN 8 / JAN 8	FF	46 46	FF	46 46	
Code 39	M	4D			
Interleaved 2 of 5	I	49			
Industrial 2 of 5	H	48			
Matrix 2 of 5	G	47			
Codabar / NW7	N	4E			
Code 128	K	4B	K	4B]C1
Code 93	L	4C			
Code 11	O	4F			
MSI	P	50			
Plessey	R	55			
Telepen	S	53			
GS1データバー	T	54]e0
GS1データバー限定型	U	55]e0
GS1データバー標準二層型	V	56]e0
GS1データバー拡張型	W	57]e0
GS1データバー拡張多層型	X	58]e0

メモ 次の設定時、コード ID の代わりにサブコード ID を転送します。

- ・ UPC-E・・・「13 桁に変換する」設定時
- ・ EAN13/JAN13・・・「ISBN/ISSN 形式に変換する」設定時
- ・ EAN8/JAN8・・・「13 桁に変換する」設定時
- ・ Code 128・・・転送形式を「GS1-128」設定時

メモ 本製品は一部のバーコードタイプに AIM ID を追加する設定があります。便宜上、説明書では GS1 AIM ID と呼びます。

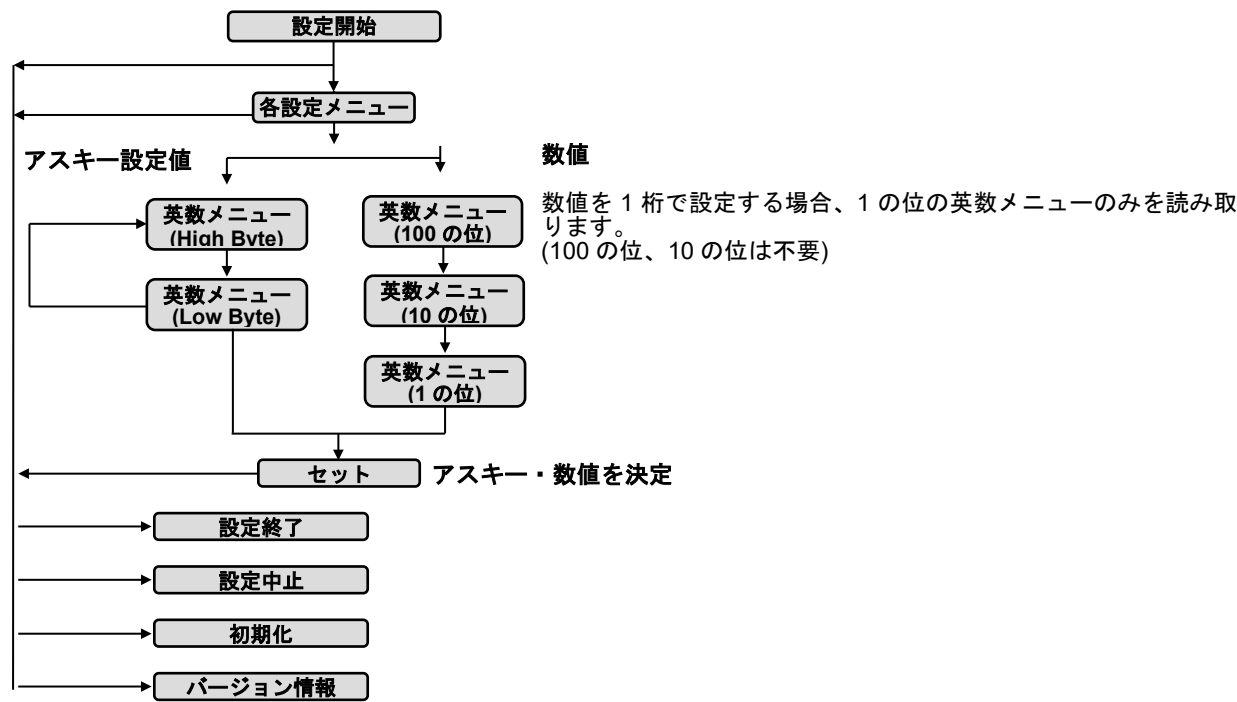
- ・ Code 128・・・「GS1 AIM ID 転送」の設定を許可に設定すると、GS1-128 を読み取ったときは読み取りデータの先頭に AIM ID の]C1 を追加します。第 15 章 15-28 を参照して下さい。
- ・ GS1 データバー各種・・・「GS1 AIM ID 転送」の設定を許可に設定すると読み取りデータの先頭に AIM ID の]e0 を追加します。第 15 章 15-34～15-38 を参照して下さい。

第 14 章 設定の方法

14-1 設定について

本製品は第 15 章の設定メニュー(設定用バーコード)を読み取ると設定を変更することが出来ます。設定は本製品の不揮発性メモリに保存され、電源を切った後も保持されます。

14-2 設定フローチャート



14-3 設定の初期化

次の設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 初期化

注意 初期化すると Bluetooth の設定も初期化されます。再度、ペアリングの設定をして下さい。
専用 USB ドングルとのペアリングの設定が初期化されます。第 9 章 9-2 を参照し、設定して下さい。

注意 初期化するとバイブレータが許可(オン)になります。→第 15 章 15-15 参照

メモ Interleaved 2 of 5 は読み取り禁止に戻ります

14-4 基本的な設定

禁止（オフ）、許可（オン）、動作を選択する設定は、次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 各設定 → 設定終了

ご案内 動作設定（ブザーなど）は、ケーブル、メモリ、BT のモードごとに設定します。
メニュー表の「モード」を確認し、設定するモードの設定メニューを読み取って下さい。
読取設定（コードタイプごとの設定）は、すべてのモード共通の設定です。

例 BT モードのすべての動作の音量を小にする

設定開始 → (ブザーの音量/BT) 読み取り 小 → 警告 小 → 機能操作 小 → 設定終了

例 メモリモードのすべての動作のバイブレータをオフにする

設定開始 → (バイブレータ/メモリ) 読み取り 禁止 → 警告 禁止 → 機能操作 禁止 → 設定終了

14-5 数値・桁数の設定

設定メニューの下か横に「→0～255(桁/0)」など数字の指示がある設定は次の順で読み取って下さい。「0～255」なら 0 から 255 の範囲で数字を設定します。カッコは設定値の「単位/初期値」です。(桁/0)なら桁を設定し、初期値は 0 桁の意味です。

英数メニューとセットは巻末にあります。

設定開始 → 各設定 → 英数メニュー1～3 桁 → セット → 設定終了

例 BT モードのデータ転送の速度を遅くする

設定開始 → ギャップ BT 桁間隔 → 1 → セット → ギャップ 1 文字間の転送時間 → 1 → 5 → セット → 設定終了

注意 設定メニュー中に指示のある桁数の最大値は論理値です。実際にはスキャナが光学的に読み取りできる範囲で読み取ります。実際に読み取るバーコードの桁数などを確認して設定して下さい。

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

14-6 アスキーの設定（文字・キーの設定）

アスキー(ASCII)とは文字やキーを表す 2 桁の設定値です。メニュー表に「→アスキー(8 桁)」などアスキーの指示がある設定は、次の順で設定メニューを読み取って下さい。英数メニューは巻末にあります。

設定開始 → 各設定 → 英数メニュー → 英数メニュー → セット → 設定終了

アスキーの設定値

英数メニュー(巻末)2 つで 1 文字（1 キー）を表します。

14-6-1 アスキーの設定値の求め方

例えば文字「A」の設定値を求める場合、アスキーコード表（巻末）から「A」を見つけます。A は行の見出し(High)が 4、列の見出し(Low)が 1 です。「A」の設定値は「41」となります。英数メニューは「4」「1」と 1 個ずつ読み取ります。

例 プリフィックスに「A (設定値 41)」を設定する

設定開始 → プリフィックスのデータ → 4 → 1 → セット → 設定終了

メモ プリフィックス、サフィックス、プリアンブル、ポストアンブルについては 13-7(次項)をお読み下さい。

14-6-2 複数のアスキー設定

設定メニューに「→アスキー(8 桁)」と指示がある場合、8 桁までアスキー（文字やキー）を設定できます。

複数の文字とキーを設定する場合、英数メニューでアスキーの設定値を連続して読み取ります。

例 プレフィックスに「AB1 (設定値 41 42 31)」を設定する

設定開始 → プリフィックスのデータ → 4 → 1 → 4 → 2 → 3 → 1 → セット → 設定終了

14-6-3 ファンクションキーの設定

アスキーコード表（巻末）の「00」から「1F」までの設定値はファンクションキーとして転送します。

例えば設定値「09」は Tab（タブ）、設定値「0D」は Enter（改行）となります。

例 読み取りデータの後に転送するキーを「Tab (設定値 09)」に設定する

設定開始 → ポストアンブルの転送 許可 → ポストアンブル データ 0 → 0 → 9 → セット → 設定終了

14-6-4 アスキーの消去

アスキーの設定値を「00」と設定すると、消去と同等になります。

または、初期化して初期値に戻して下さい。

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります。

14-7 読み取りデータの前後に文字やキーを転送する設定

第 15 章 15-16 動作設定の「**プリアンブルのデータ**」、「**プリフィックスのデータ**」、「**サフィックスのデータ**」、「**ポストアンブルのデータ**」にアスキーを設定すると、すべての読み取りデータの前後に文字やキーを追加して転送します。

それぞれの設定は転送の「許可」と「禁止」の設定があります。「禁止」に設定すると転送しませんが、設定した文字やキーは保持されています。

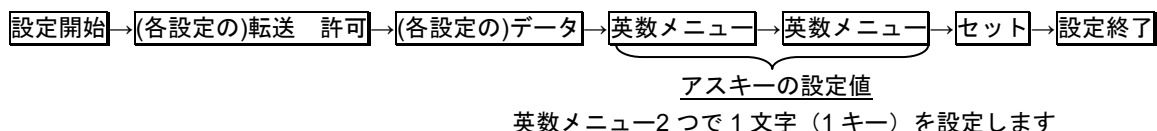
読み取りデータ転送形式

プリアンブル	プリフィックス	バーコードタイプ	コード ID	桁数	読取データ	(コード ID)	サフィックス	ポストアンブル
1-8 桁	1-8 桁	可変	1-2 桁	2 桁		1-2 桁	1-8 桁	1-8 桁

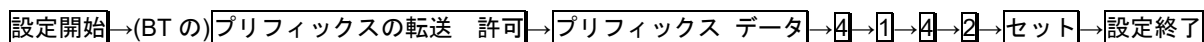
プリアンブル	すべてのデータの前方に文字を追加する設定です。2 桁まで文字やキー設定できます。
プリフィックス	プリアンブルの次に文字を追加する設定です。8 桁まで文字やキー設定できます。
サフィックス	読み取りデータの後に文字を追加する設定です。8 桁まで文字やキー設定できます。
ポストアンブル	すべてのデータの後方に文字を追加する設定です。データ 2 桁まで文字やキー設定できます。 出荷時は Enter（アスキーの CR LF 設定値 0D 0A）が設定されています。 USB HID では設定値 0D のみで Enter となります

14-7-1 設定の方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。英数メニューとセットは巻末にあります。

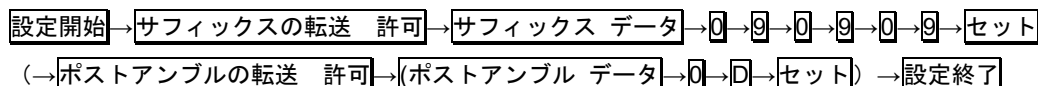


例 BT モードの読み取りデータの前に「A B(設定値 41 42)」を設定する



例 BT モードの読み取りデータの後に、Tab(設定値 09)を 3 回、Enter(設定値 0D)を 1 回転送する

※ () は、出荷時の初期値です。この例の場合、省略してかまいません。



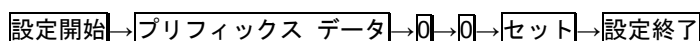
メモ アスキーの設定値については 14-6 アスキーの設定をお読み下さい

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

14-7-2 設定の消去

アスキーを 00 に設定して下さい。（または「禁止」を設定すると、転送しなくなります。）

例 プリフィックスに設定した文字を消去する



14-8 バーコードタイプ、コード ID、桁数を転送する設定

第 15 章 15-17 動作設定に「コードタイプの転送」、「コード ID の転送」、「桁数の転送」の設定があります。これらの設定を「許可」に設定するとすべての読み取りデータに情報を追加して転送します。

第 15 章 15-28 読取設定 Code 128 に「転送形式」を「GS1-128」に設定すると、GS1-128 の読取データの直前に GS1 AIM ID 「J C1」を追加します。第 15 章 15-34～15-38 読取設定 GS1 データバーそれぞれの「GS1 AIM ID 転送」の設定を「許可」に設定すると、GS1 データバーそれぞれの読取データの直前に GS1 AIM ID 「Je0」を追加します。又、GS1 AIM ID を追加する設定のときは区切り FNC1 を規定のキャラクタに置換して転送します。

データ転送形式

プリアンブル	プレフィックス	コードタイプ	コード ID	桁数	GS1 AIM ID	読取データ	(コード ID)	サフィックス	ポストアンブル
1-8 桁	1-8 桁	可変	1-2 桁	2 桁	3 桁		1-2 桁	1-8 桁	1-8 桁

メモ この図は概要です。日時も含めた完全なデータ転送形式は第 4 章 データ転送形式を参照して下さい。

バーコードタイプ	読み取ったバーコードの種類です。 例 Code39 のデータ 1234→(Code-39)1234 と転送します。
コード ID	読み取ったバーコードの種類を識別する 1 文字または 2 文字です。 コード ID の位置は読み取りデータの前か後を設定できます。 コード ID の一覧は第 13 章「13-2 コード ID 一覧」をお読み下さい。 例 Code128 のデータ 12345→K12345 と転送します。
桁数	読み取ったバーコードの桁数です。2 桁で転送します。 例 6 桁のデータ 123456 の場合→06123456 と転送します。
GS1 AIM ID	AIM ID は国際自動認識工業会が定めたバーコードの種類を識別する 3 文字です。本製品は GS1-128、GS1 データバー各種の読取データの直前に AIM ID を追加します。本製品では便宜上 GS1 AIM ID と呼びます。GS1-128 は J C1、GS1 データバー各種は Je0 が GS1 AIM ID です。 例 GS1 -128 のデータ 014512345678906→J C1014512345678906 と転送します。

コード ID の文字の設定変更

各コードタイプの「コード ID の文字」の設定で、コード ID の文字を変更できます。

例 Code39 のコード ID を「Z (設定値 5A)」に設定する (初期値は M)

設定開始→(Code39)コード ID の文字→5→A→セット→設定終了

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

14-9 1 桁目から連続する 0 (ゼロ) を削除する設定

読取設定のコードタイプごと、「1 桁目から連続する 0 を削除」の設定があります。「許可」に設定すると 1 桁目から連続する 0 を削除して、0 以外の数字・文字がある桁からデータを転送します。

例えば会員番号などのバーコードが前方 (左側) を連続した 0 で埋めているとき、0 を削除して転送できます。

設定方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始→(1 桁目から連続する 0 を削除)許可→設定終了

例 NW7 の 1 桁目から連続する 0 を削除する

000056789010→56789010 と転送する。

設定開始→(NW7)1 桁目から連続する 0 の削除 許可→設定終了

14-10 読み取りデータの前方と後方を削除する設定

読取設定のコードタイプごとに「データの削除 前方から削除」と「データの削除 後方から削除」の設定があります。設定すると読み取りデータの前方または後方からデータを削除します。

前方から削除	1桁目から後方に向かって設定した桁数を削除します。
後方から削除	後方から前方に向かって設定した桁数を削除します。

設定方法

次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 前方から削除(後方から削除) → 英数メニュー → セット → 設定終了

例 Code 39 の前方から 3 桁を削除する。1234567890 → 4567890 と転送する

設定開始 → (Code 39)データの削除 前方から削除 → 0 → 3 → セット → 設定終了

例 Code 39 の後方から 4 桁を削除する。1234567890 → 123456 と転送する

設定開始 → (Code 39)データの削除 後方から削除 → 0 → 4 → セット → 設定終了

元に戻す方法（削除しない）

次の順で次の順で設定メニューを読み取って下さい。

設定開始 → 前方から削除(後方から削除) → 0 → 0 → セット → 設定終了

メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

注意 「UPC-A」の「前方から削除」について

UPC-A(12桁のバーコード)のみ、「前方から削除」の初期値が「1」(1桁削除)になっています。UPC-Aの先頭桁を調整するときは、下記を参照して設定して下さい。

UPC-Aに設定したいこと	設定
先頭に0を付けて13桁で転送する	通常は下記を設定して下さい。 設定開始 → EAN 13 / JAN 13 に変換 → 設定終了 ※ コードタイプとコードIDはEAN 13のものに変わります。 ※ 次の設定も13桁になりますが、コードタイプとコードIDはUPC-Aのものになります。 設定開始 → 前方から削除 → 0 → セット → 設定終了
UPC-Aをそのまま12桁で転送する (出荷時の状態)	出荷時の設定です。 設定開始 → 前方から削除 → 1 → セット → 設定終了
先頭1桁を削除し11桁で転送する	設定開始 → 前方から削除 → 2 → セット → 設定終了

14-11 読み取りデータに文字やキーを挿入する設定

読取設定のコードタイプごとにデータの挿入メニューがあります。

挿入は2箇所まで設定できます。挿入する桁の位置は「挿入データ1の位置」と「挿入データ2の位置」のメニューで設定します。

挿入データ1の位置	1箇所目の挿入の桁位置を設定します。 桁を0に設定すると、バーコードの先頭に挿入データが付きます。1に設定すると、1桁目の後に挿入データが付きます。
挿入データ2の位置	2箇所目の挿入の桁位置です。（桁の設定は上記と同様）

挿入するデータは「挿入データ1」と「挿入データ2」のメニューで設定します。

挿入データ1	1箇所目に挿入する文字・キーを設定します。 2桁まで設定できます。
挿入データ2	2箇所目に挿入する文字・キーを設定します。 2桁まで設定できます。

挿入のイメージ図 1234567890 に挿入を設定する例

123	挿入データ1の位置 →3を設定	456	挿入データ2の位置 →6を設定	7890
	挿入データ1 →Tabを設定		挿入データ2 →ABを設定	

設定方法

設定メニューの読み取り方は下記の例を参照して下さい。

例 Code 39 の3桁目の後にTab、6桁目の後にAを挿入する。
1234567890→123 Tab 456AB7890 と転送する。


設定開始

→(Code 39)挿入データ1の位置→3→セット
 →(Code 39)挿入データ1→0→9→セット
 →(Code 39)挿入データ2の位置→6→セット
 →(Code 39)挿入データ2→4→1→4→2→セット→設定終了




メモ 英数メニューとセットは巻末にあります

第 15 章 設定メニュー


15-1 初期化、設定中止、バージョン情報

	設定開始	このページのメニューは 設定終了が不要 です
---	------	-------------------------------


システムメニュー

モード	システムメニュー
すべて (ケーブル/メモリ/BT)	<p>初期化</p>  <p>* Z A D E *</p> <p>設定開始を読み取り、次に初期化を読み取ると、スキャナを工場出荷時の設定に戻します。 注意 Bluetooth の設定も初期化します。 ・ ドングル付きセット品はスキャナと専用 USB ドングルのペアリングが失われます。 → 第 9 章 9-2 を参照し、専用 USB ドングルとスキャナをペアリングして下さい。 ・ タブレット、スマートフォンなどとスキャナのペアリングが失われます。 → タブレット、スマートフォンの Bluetooth 設定画面に残っている本製品(Pocket Reader W1)の表示を削除して下さい。第 9 章 9-3～9-5 を参照しペアリングして下さい。 注意 バイブレータが許可(オン)になります。→ 第 15 章 15-15 参照</p>
	<p>設定中止</p>  <p>* Z E X T *</p> <p>設定メニューを読み間違ったときなどに読み取ると、設定を中止し、設定モードを終了します。</p>
	<p>バージョン情報</p>  <p>* Z V E R *</p> <p>スキャナとパソコンを USB ケーブルで接続して下さい。パソコンのソフト（メモ帳など）を開いて下さい。設定開始を読み取り、次にバージョン情報を読み取って下さい。パソコンのソフト（メモ帳など）にスキャナのバージョン情報を転送します。</p>
ケーブル	

15-2 スキャナの操作

	設定開始	このページのメニューは 設定終了が不要 です
---	------	-------------------------------



充電オン/オフ ケーブルをパソコンに接続して下さい。

モード	充電オン/オフ	
ケーブル	 * Z C H G *	
	充電中(充電オンのとき)にメニューを読むと充電オフになります。充電オフのときにメニューを読むと充電オンになります。	

モード切替 ケーブルを外して下さい。

モード	メモリモードに切り替える	BT モードに切り替える
メモリ	 * Z T O M *	 * Z M O T *
BT		

蓄積データの転送/消去

モード	蓄積データの転送モードに入る	蓄積データを消去する
ケーブル	 * Z M T X * →次に、大ボタンを押す	 * Z F C A *
BT		
	読み取った後、大ボタンを押すと蓄積データを転送します。 (注)読み取っただけでは転送しません。	読み取ると、蓄積データを消去します。 ヘッダの日時は消去した日時になります。

ペアリング ケーブルを外し、BT モードに切り替えて下さい。

モード	ペアリングモードに入る	
BT	 * Z P A R *	
	読み取ると、スキャナの青ランプが点滅し、Bluetooth ペアリングモードに入ります。	

追記 クイックメニュー（設定開始が不要）

下記のメニューを読むと直接その動作をします。設定開始メニューは不要です。

転送モードに入る  読み取り後、大ボタンを押すと転送します。 USB または Bluetooth 接続中のみ有効です	消去  蓄積データをすべて消去します
--	---

15-3 動作設定 インターフェースの設定



設定開始

設定終了





* 印は出荷時設定

インターフェースの設定 スキャナ本体のインターフェース設定です。USB ケーブルでパソコンに接続したときの設定です

モード	USB HID	USB COM
ケーブル/メモリ	<div><div>*</div><div>* 3 H V 1 *</div></div>	<div><div>* 3 H V 2 *</div></div>
	出荷時の設定です。通常はこのままご使用下さい。スキャナは USB HID キーボードの状態になります。パソコンの画面のキー入力する箇所（カーソルがある箇所）にデータを転送します。	スキャナは USB COM (USB シリアル) の状態になります。Windows10 以上は Windows の標準ドライバで認識します。デバイスマネージャ上は USB シリアルデバイス(COM3)のように表示されます。 <div><div>注</div>USBCOM はプログラミングやシステムが必要な動作です。お客様にてご対応下さい。</div>




メモ 専用 USB ドングルの USB インターフェースの設定は第 15 章 15-10 を参照して下さい。

15-4 動作設定 キーボード設定








	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

キーボード配列 転送データの記号文字が正しくない場合は「日本キーボード」を設定して下さい。

モード	英語キーボード	日本キーボード
ケーブル	* 	
メモリ	* 6 7 8 0 *	* 6 7 8 2 *
BT	* 	
	* 8 E C 0 *	* 8 E C 2 *

Caps Lock

モード	オート	Caps Lock オフ	Caps Lock オン	Alt+テンキー
ケーブル	* 			
メモリ	* 3 7 5 0 *	* 3 7 5 1 *	* 3 7 5 2 *	* 3 7 5 3 *
BT	(なし)	* 		
		* 5 E 9 1 *	* 5 E 9 2 *	* 5 E 9 3 *



数字データ

モード	フルキーとして数字データを転送	テンキーとして数字データを転送
ケーブル	* 	
メモリ	* 4 7 6 0 *	* 4 7 6 1 *
BT	* 	
	* 6 E A 0 *	* 6 E A 1 *

ギャップ（転送遅延の設定） 文字抜け対策の設定です。桁間隔 1 に設定し、1 文字間の転送時間を 10 などに設定して下さい。

モード	桁間隔	1 文字間の転送時間	1 レコード間の転送時間
ケーブル			
メモリ	* 3 7 W + *	* 4 7 X + *	* 5 7 Y + *
	→0-255(桁ごと/0)→セット→設定 終了	→0-255(1ms/0)→セット→設定終 了	→0-255(10ms/0)→セット→設定 終了
BT (※HID、専用 USB ドングルの HID)			
	* 6 F 0 + *	* 7 F 1 + *	* 8 F 2 + *
	→0-255(桁ごと/0)→セット→設定 終了	→0-255(1ms/0)→セット→設定終 了	→0-255(10ms/0)→セット→設定 終了
BT 専用 USB ドング ルの USB COM			
	* 2 F W + *	* 3 F X + *	* 4 F Y + *
	→0-255(桁ごと/0)→セット→設定 終了	→0-255(1ms/0)→セット→設定終 了	→0-255(10ms/0)→セット→設定 終了

15-5 動作設定 モード固定



	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

スキャナのモード選択 設定すると、そのモードでのみ動作します。

モード	モードの選択
ケーブル+メモリ+BT	 * 5 3 K 6 *
ケーブル	 * 5 3 K 0 *
メモリ	 * 5 3 K 1 *
ケーブル+メモリ	 * 5 3 K 2 *
BT	 * 5 3 K 3 *
ケーブル+BT	 * 5 3 K 4 *
メモリ+BT	 * 5 3 K 5 *

15-6 動作設定 ボタンの設定

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定


小ボタンの設定

モード	設定	禁止	許可
ケーブル	蓄積データの 転送モードに入る	 * 5 H X 0 *	*  * 5 H X 2 *
		転送モードに入らない。	長押しすると転送モードに入る。 (ブザー3 回→まだ長押し→ブザー1 回→ボ タンをはなす) 備考：転送モードになってから大ボタンを押 すと転送する。
メモリ	蓄積データを 1 件消去する	 * B E 2 8 0 *	*  * B E 2 9 3 *
		1 件消去しない。(エイマー点灯しない)	読み間違ったときなどに、小ボタンを押して そのバーコードを読むと蓄積データから 1 件 消去する。
BT	蓄積データの 転送モードに入る	 * 8 P 1 0 *	*  * 8 P 1 2 *
		転送モードに入らない。	長押しすると転送モードに入る。 (ブザー3 回→まだ長押し→ブザー1 回→ボ タンをはなす) 備考：転送モードになってから大ボタンを押 すと転送する。

小ボタン長押し+大ボタンの設定

モード	設定	禁止	許可
ケーブル	充電オン/オフ	 * 4 H W 0 *	*  * 4 H W 1 *
		充電オン/オフしない。	充電オン/オフする。 ケーブルモードが使えるときのみに有効です。
メモリ	蓄積データを すべて消去する	 * 1 L G 0 *	*  * 1 L G 1 *
		消去しない。	小ボタンを長押しする。 オレンジ のランプが 高速点滅したら、小ボタンを押したまま大ボ タンを押す。→蓄積データをすべて消去する。
BT	ペアリングモード に入る	 * 7 P 0 0 *	*  * 7 P 0 1 *
		ペアリングモードに入らない。 備考：ボタンではペアリングモードに入りま せんが、設定メニューの読み取りでペアリン グモードに入ることができます。	ペアリングモードに入る。

15-7 動作設定 スキャナ本体の日時設定

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

日時の設定 スキャナ本体の日時合わせの設定。

モード	日時の設定	日付の区切文字	時刻の区切文字
すべて (ケーブル/メモリ/BT)	 * Z C L K * →数値 12 桁→セット	 * 2 4 G + * →アスキー1 桁 (/)→セット→設定終了	 * 3 4 H + * →アスキー1 桁 (:)→セット→設定終了
出荷時の設定	2013/01/01 00:00:FF	/ (スラッシュ、設定値 2F)	: (コロン、設定値 3A)
備考	2022/05/18 10:30:57 に設定するなら、次にメニューを 220518103057、セット、設定終了を読む	-(ハイフン)に設定するなら、次にメニューを 2、D、セット、設定終了と読む	:が+で表示される場合、キーボード配列(第 14 章 14-3)を接続機器に合わせて設定して下さい。



日付の形式 Y(年)、M(月)、D(日)の形式。YMD の間は日付の区切文字-(ハイフン、出荷時設定)が付きます

モード	形式		
すべて (ケーブル/メモリ/BT)	* YYYYMMDD  * 6 3 U 0 *	MMDDYYYY  * 6 3 U 1 *	DDMMYYYY  * 6 3 U 2 *
	YYMMDD  * 6 3 U 3 *	MMDDYY  * 6 3 U 4 *	DDMMYY  * 6 3 U 5 *

時刻の形式 h(時)、m(分)、s(秒)の形式。hms の間は時刻の区切文字:-(コロン、出荷時設定)が付きます































モード	形式		
すべて (ケーブル/メモリ/BT)	* hhmmss  * 7 3 V 0 *	hhmm  * 7 3 V 1 *	mmss  * 7 3 V 2 *

15-8 動作設定 日時の転送設定

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

日時の転送 許可に設定すると読み取り日時（タイムスタンプ）を読み取りデータとともに転送します。



モード	設定	禁止	許可	オプション	
ケーブル	日付の転送	*  * 8 S P 0 *	 * 8 S P 1 *		
	時刻の転送	*  * 0 S Q 0 *	 * 0 S Q 1 *	日付と時刻の間のキャラクタ  * 7 T 5 + *	→アスキー1桁 (SP)→セット→ 設定終了
	デリミタの転送 日時とデータの間の キャラクタ	*  * 2 S S 0 *	 * 2 S S 1 *	デリミタのキャラクタ  * 6 T 4 + *	→アスキー1桁 (SP)→セット→ 設定終了
	日時の位置 データの前か後	* 前  * 1 S R 0 *	後  * 1 S R 1 *		
メモリ	日付の転送	*  * 5 W 9 0 *	 * 5 W 9 1 *		
	時刻の転送	*  * 6 W A 0 *	 * 6 W A 1 *	日付と時刻の間のキャラクタ  * 3 W P + *	→アスキー1桁 (SP)→セット→ 設定終了
	デリミタの転送 日時とデータの間の キャラクタ	*  * 8 W C 0 *	 * 8 W C 1 *	デリミタのキャラクタ  * 2 W 0 + *	→アスキー1桁 (SP)→セット→ 設定終了
	日時の位置 データの前か後	* 前  * 7 W B 0 *	後  * 7 W B 1 *		
BT	日付の転送	*  * 1 Z T 0 *	 * 1 Z T 1 *		
	時刻の転送	*  * 2 Z U 0 *	 * 2 Z U 1 *	日付と時刻の間のキャラクタ  * A 0 9 + *	→アスキー1桁 (SP)→セット→ 設定終了
	デリミタの転送 日時とデータの間の キャラクタ	*  * 4 Z W 0 *	 * 4 Z W 1 *	デリミタのキャラクタ  * 9 0 8 + *	→アスキー1桁 (SP)→セット→ 設定終了
	日時の位置 データの前か後	* 前  * 3 Z V 0 *	後  * 3 Z V 1 *		

読み取りデータ形式

日付(読み取り日付)	日付と時刻の間	時刻(読み取り時刻)	デリミタ	読み取りデータ	ポストアンブル
YYYY-MM-DD	SP (スペース)	hh:mm:ss	SP (スペース)	バーコードデータ	CR,LF (改行)

メモ この図は概要です。他の付加情報を含めた完全なデータ転送形式は第4章 データ転送形式を参照して下さい。

15-9 動作設定 メモリモードの動作



	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

メモリモードの転送タイプ

モード	標準動作	マストレージ
メモリ	<p style="text-align: center;">*</p>  <p style="text-align: center;">* 0 L F 0 *</p>	 <p style="text-align: center;">* 0 L F 5 *</p>
	蓄積データをキーボードキャラクタとして転送します。	スキャナをパソコンに USB 接続すると、USB メモリのように認識します。蓄積データはテキストファイルとなります。 (注)マストレージはUSB 接続時のみ使用できます。


蓄積データの転送単位 「転送モード 標準」設定時のオプション設定

モード	すべて転送	1 件ずつ転送
メモリ	<p style="text-align: center;">*</p>  <p style="text-align: center;">* 4 L S 0 *</p>	 <p style="text-align: center;">* 4 L S 1 *</p>
BT	転送モードになった後、大ボタンを押すとすべての蓄積データを転送します。	転送モードになった後、大ボタンを押すたびに蓄積データを 1 件ずつ転送します。



1 件ずつ転送のキー押下待機時間 蓄積データの転送単位が「1 件ずつ転送」設定時の設定

モード	1 件ずつ転送のキー押下待機時間
メモリ/BT	 <p style="text-align: center;">* 4 W Q + *</p> <p style="text-align: center;">→0-255(秒/30)→セット→設定終了</p>

蓄積データの自動消去 「転送モード 標準」設定時のオプション設定

モード	禁止	許可
メモリ	<p style="text-align: center;">*</p>  <p style="text-align: center;">* 5 L T 0 *</p>	 <p style="text-align: center;">* 5 L T 1 *</p>
BT	蓄積データを転送した後も、蓄積データはスキャナに残ります。	蓄積データを転送した後、すべての蓄積データをスキャナから消去します。

15-9 動作設定 メモリモードの動作（続き）










	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定










ヘッダ/フッタの転送 ヘッダ/フッタはメモリモードが「標準モード」のみの設定です。マストレージには付きません。

モード	設定	禁止(オフ)	許可(オン)	オプション
メモリ	ヘッダの転送	 * 6 L U 0 *	 * 6 L U 1 *	禁止(オフ)に設定すると、ヘッダ内、フッタ内の文字をすべて転送しなくなります。
	フッタの転送	 * 7 L V 0 *	 * 7 L V 1 *	

ヘッダ内の文字の転送 ヘッダ内の文字を個別にオンオフします。転送するには上記の「ヘッダの転送」を許可にしてください。

モード	設定	禁止(オフ)	許可(オン)	オプション	
メモリ	<Header> の転送	 * 8 3 W 0 *	 * 8 3 W 1 *	<Header>の文字変更  * H 3 4 + *	→アスキー16桁 (<Header>)→セット→設定終了
	前回全データ削除した日付の転送(注)	 * 1 3 Y 0 *	 * 1 3 Y 1 *		
	前回全データ削除した時刻の転送	 * 2 3 Z 0 *	 * 2 3 Z 1 *		
	レコード件数の転送	 * 4 4 0 0 *	 * 4 4 0 1 *		

フッタ内の文字の転送 フッタ内の文字を個別にオンオフします。転送するには上記の「フッタの転送」を許可にしてください。



モード	設定	禁止(オフ)	許可(オン)	オプション	
メモリ	<Footer>の転送	 * 5 4 1 0 *	 * 5 4 1 1 *	<Footer>の文字変更  * F 3 K + *	→アスキー16桁 (<Footer>)→セット→設定終了
	前回全データ削除した日付の転送(注)	 * 7 4 3 0 *	 * 7 4 3 1 *		
	前回全データ削除した時刻の転送	 * 8 4 4 0 *	 * 8 4 4 1 *		
	レコード件数の転送	 * 0 4 5 0 *	 * 0 4 5 1 *		

ヘッダ/フッタ内の文字の形式

ヘッダの文字 (フッタの文字)	区切文字	日付 時刻(蓄積データの消去日時)	区切文字	レコード件数	ポストアンブル
<Header> (<Footer>)	SP	YYYY-MM-DD SP hh:mm:ss	SP	nnnnnn	CR,LF (改行)

メモ ヘッダ/フッタ内の SP（スペース）は固定で、変更できません。区切文字の前後の文字を転送しない場合、SP を転送しません。

15-10 動作設定 BT モードの動作

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

Bluetooth 接続タイプ スキャナ本体と Bluetooth 機器との通信方式の設定です。


モード	Bluetooth 接続タイプ	
BT	* HID  * 5 0 Z 1 *	専用 USB ドングル  * 5 0 Z 4 *
	出荷時は右記の専用 USB ドングルに設定されています。初期設定すると初期値の HID になります。	

ご案内 スキャナ本体直接の Bluetooth SPP 設定はありません。



専用 USB ドングルの USB インターフェース 専用 USB ドングルとパソコンの通信方式の設定です。

モード	専用 USB ドングルの USB インターフェース	
-	* USB HID  * 4 0 Y 0 *	USB COM(USB シリアル)  * 4 0 Y 1 *
	読取データをキーボードデータとして入力します。通常はこちらをご使用下さい。	COM ポートに読取データをシリアルデータ転送します。お客様にて開発等が必要です。


専用 USB ドングルのアドレス 専用 USB ドングルのアドレスを、スキャナに設定します

モード	専用ドングルのアドレス
BT	 * B 8 2 + * →0-F,12 桁(000000000000)→セット→設定終了
	スキャナが Bluetooth 接続する専用ドングルの 12 文字を設定します。



通信時間

モード	ペアリングの時間	Bluetooth 接続の時間
BT	 * 1 Q K + * →30-255(1sec/90)→セット→設定終了	 * 4 Q N + * →1-255(10sec/9)→セット→設定終了
	初期値は 90 秒(設定値 90)。時間が過ぎるとペアリングモードを終了します。	初期値は 90 秒(設定値 9)。時間が過ぎると Bluetooth を切断します。スタンバイモードと同じ設定です。わかりやすくするため Bluetooth 接続の時間とも表記しています。

スキャナの表示名 Bluetooth 接続タイプが HID の時に、スマートフォンや PC に表示するスキャナの表示名を設定します










モード	スキャナの表示名
BT	 * E 5 8 + * →アスキー32 文字(Pocket Reader W1)→セット→設定終了
	初期値は Pocket Reader W1。ペアリング時、デバイスが発見するスキャナの名前です。例えば「A1」と設定するなら次に英数メニューの 4、1、3、1→セット→設定終了を読み取ります。

15-11 動作設定 スキャニング

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

スキャンモード エイマー(読み取り光)の点灯方法です。


モード	グッドリードオフ	モーメンタリ	トグル
	ボタン離しても 5 秒点灯 読むと消灯	ボタン押す間のみ点灯 読むと消灯	ボタンで点灯消灯を切替 読むと消灯
ケーブル	 * 0 H S 0 *	*  * 0 H S 1 *	 * 0 H S 3 *
メモリ	 * 6 L C 0 *	*  * 6 L C 1 *	 * 6 L C 3 *
BT	 * 2 0 W 0 *	*  * 2 0 W 1 *	 * 2 0 W 3 *

(注) 連続点灯でも、エイマーの点灯時間が経過すると消灯します


エイマーの点灯時間 エイマー(読み取り光)の点灯時間です

モード	エイマーの点灯時間
ケーブル	 * 0 J H + * →1-30(1sec/10)→セット→設定終了
メモリ	 * 6 N 1 + * →1-30(1sec/10)→セット→設定終了
BT	 * 2 Q L + * →1-30(1sec/10)→セット→設定終了

同一コードを読み取るまでの時間 メモリモード用の設定です。

モード	同一コードを読み取るまでの時間
メモリ	 * 5 W R + * →0-255(10msec/0)→セット→設定終了

15-11 動作設定 スキャニング（続き）










	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

2 度読み防止 メモリモード用の設定です。

モード	禁止	許可
メモリ	*  * 4 W H O *	 * 4 W H 1 *
		メモリモード時、同一コードを読まない。

読み取り一致 読み取りデータの正確さを向上します

モード	禁止	許可	オプション
ケーブル	*  * 8 S Y 0 *	 * 8 S Y 1 *	読み取り一致回数  * 2 T 9 + * →1-10(回/1)→セット→設定終了
メモリ	*  * 5 W I O *	 * 5 W I 1 *	読み取り一致回数  * 7 W T + * →1-10(回/1)→セット→設定終了
BT	*  * C 0 2 0 *	 * C 0 2 1 *	読み取り一致回数  * E 0 D + * →1-10(回/1)→セット→設定終了

15-12 動作設定 省電力モード

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

スタンバイモードになる時間 スタンバイモード(省電力)になるまでの時間です。



モード	スタンバイ時間
メモリ	<div> * 8 N 3 + *</div> <div>→1-255(10sec/3)→セット→設定終了</div> <div>スタンバイモードになる時間。メモリモードでの初期値は 30 秒(設定値 3)。</div>
BT	<div> * 4 Q N + *</div> <div>→1-255(10sec/9)→セット→設定終了</div> <div>スタンバイモードになる時間。BT モードでの初期値は 90 秒(設定値 9)。</div>

省電力モードについて

スキャナがメモリモード又は BT モードのとき、バッテリーの消耗を抑える為に自動的に省電力モードになります。スキャナのエイマーが消灯した後、自動的にアイドルモード（省電力モード）になり、次にスタンバイモード（超省電力モード）になります。

メモ BT モードのとき、アイドルモード又はスタンバイモードになっても Bluetooth の接続は継続します(初期値の場合)。Bluetooth 接続の時間は第 9 章 9-11 Bluetooth 接続時間の設定 （又は第 15 章 15-10 Bluetooth 接続の時間）で設定します。




























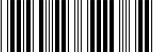





15-13 動作設定 ブザーの音量

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

ブザーの音量

メモ 音量を小さくするには「小」の列を上から順に全部読み取って下さい。

モード	設定	無音(オフ)	小	中	大	最大
各モード 共通	警告					*
	USB 抜き差し、メモリに切替、他		* 1 3 P 1 *		* 1 3 P 3 *	
ケーブル	読み取り		* 7 H Z 1 *		* 7 H Z 3 *	*
		* 7 H Z 0 *		* 7 H Z 2 *		* 7 H Z 4 *
	警告					*
	メモリ転送でボタン離れた後の音量		* 3 I 3 1 *		* 3 I 3 3 *	
メモリ	機能操作		* 1 I 1 1 *		* 1 I 1 3 *	*
	メモリ転送で小ボタン長押し時の音量	* 1 I 1 0 *		* 1 I 1 2 *		
	読み取り		* 4 L J 1 *		* 4 L J 3 *	*
		* 4 L J 0 *		* 4 L J 2 *		* 4 L J 4 *
BT	警告					*
	2 度読み防止で同一コード読み取り時、他		* 8 L N 1 *		* 8 L N 3 *	
	機能操作		* 6 L L 1 *		* 6 L L 3 *	*
	大ボタン長押しで BT に切り替わる音量	* 6 L L 0 *		* 6 L L 2 *		
BT	読み取り		* 1 P 3 1 *		* 1 P 3 3 *	*
		* 1 P 3 0 *		* 1 P 3 2 *		
	警告					*
	通信確立、エラー、ペアリング開始の音量		* 5 P 7 1 *		* 5 P 7 3 *	
BT	機能操作		* 3 P 5 1 *		* 3 P 5 3 *	*
	小ボタン長押しでペアリングに入る音量	* 3 P 5 0 *		* 3 P 5 2 *		
























15-14 動作設定 バイブレータ

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---



* 印は出荷時設定

バイブレータの禁止（オフ）と許可（オン）

メモ バイブレータをオフにするには「オフ」の列を上から順に全部読み取って下さい。
























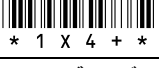












モード	設定	禁止(オフ)	許可(オン)	オプション	
各モード共通	警告 USB 抜き差し、設定開始/ 設定終了メニュー読取時、モード切替時	*  * 2 3 Q 0 *	*  * 2 3 Q 1 *	(なし)	
ケーブル	読み取り	 * 0 I 0 0 *	*  * 0 I 0 1 *	バイブの長さ  * 8 I Q + *	→0-255 (10ms/5) →セット→設定 終了
	警告 メモリ転送で ボタン離した後のバイブ	*  * 4 I 4 0 *	*  * 4 I 4 1 *		
	機能操作 メモリ転送で 小ボタン長押し時のバイブ	*  * 2 I 2 0 *	*  * 2 I 2 1 *		
メモリ	読み取り	 * 5 L K 0 *	*  * 5 L K 1 *	バイブの長さ  * B F A E 0 *	→0-255 (10ms/5) →セット→設定 終了
	警告 2 度読み防止 オンでの重複 読取時、他	*  * 0 L 0 0 *	*  * 0 L 0 1 *		
	機能操作 ボタン操作で 蓄積データ 全消去時、他	*  * 7 L M 0 *	*  * 7 L M 1 *		
BT	読み取り	 * 2 P 4 0 *	*  * 2 P 4 1 *	バイブの長さ  * 1 P U + *	→1-255 (10ms/5) →セット→設定 終了
	警告 通 信 エ ラ ー (Bluetooth 接続 できていない)	*  * 6 P 8 0 *	*  * 6 P 8 1 *		
	機能操作 ペアリングに 入る時、通信確 立時	*  * 4 P 6 0 *	*  * 4 P 6 1 *		

15-15 動作設定 プリアンブル/プリフィックス/サフィックス/ポストアンブル



	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

プリアンブル/プリフィックス/サフィックス/ポストアンブルの転送

























モード	設定	禁止	許可	オプション	
ケーブル	プリアンブルの転送	*  * 8 S G 0 *	*  * 8 S G 1 *	プリアンブル データ  * 5 T C + *	→アスキー8桁 →セット→設定終了
	プリフィックスの転送	*  * 1 S I 0 *	*  * 1 S I 1 *	プリフィックス データ  * 3 T S + *	→アスキー8桁 →セット→設定終了
	サフィックスの転送	*  * 2 S J 0 *	*  * 2 S J 1 *	サフィックス データ  * 3 U 0 + *	→アスキー8桁 →セット→設定終了
	ポストアンブルの転送	*  * 0 S H 0 *	*  * 0 S H 1 *	ポストアンブル データ  * 4 T K + *	→アスキー8桁 (CR,LF)→セット →設定終了
メモリ	プリアンブルの転送	*  * 5 W 0 0 *	*  * 5 W 0 1 *	プリアンブル データ  * 1 W W + *	→アスキー8桁 →セット→設定終了
	プリフィックスの転送	*  * 7 W 2 0 *	*  * 7 W 2 1 *	プリフィックス データ  * 0 X C + *	→アスキー8桁 →セット→設定終了
	サフィックスの転送	*  * 8 W 3 0 *	*  * 8 W 3 1 *	サフィックス データ  * 8 X K + *	→アスキー8桁 →セット→設定終了
	ポストアンブルの転送	*  * 6 W 1 0 *	*  * 6 W 1 1 *	ポストアンブル データ  * 1 X 4 + *	→アスキー8桁 (CR,LF)→セット →設定終了
BT	プリアンブルの転送	*  * 1 Z K 0 *	*  * 1 Z K 1 *	プリアンブル データ  * H 0 G + *	→アスキー2桁 →セット→設定終了
	プリフィックスの転送	*  * 3 Z M 0 *	*  * 3 Z M 1 *	プリフィックス データ  * F 0 W + *	→アスキー8桁 →セット→設定終了
	サフィックスの転送	*  * 4 Z N 0 *	*  * 4 Z N 1 *	サフィックス データ  * F 1 4 + *	→アスキー8桁 →セット→設定終了
	ポストアンブルの転送	*  * 2 Z L 0 *	*  * 2 Z L 1 *	ポストアンブル データ  * G 0 0 + *	→アスキー8桁 (CR,LF)→セット →設定終了

15-16 動作設定 コードタイプ/コード ID/桁数



	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

コードタイプ/コード ID/桁数の転送













モード	設定	禁止	許可
ケーブル	コードタイプの転送	*  * 3 S K 0 *	 * 3 S K 1 *
	コード ID の転送	*  * 4 S L 0 *	 * 4 S L 1 *
	コード ID の位置 データの前か後	* 前  * 5 S M 0 *	後  * 5 S M 1 *
	桁数の転送	*  * 7 S 0 0 *	 * 7 S 0 1 *
メモリ	コードタイプの転送	*  * 0 W 4 0 *	 * 0 W 4 1 *
	コード ID の転送	*  * 1 W 5 0 *	 * 1 W 5 1 *
	コード ID の位置 データの前か後	* 前  * 2 W 6 0 *	後  * 2 W 6 1 *
	桁数の転送	*  * 4 W 8 0 *	 * 4 W 8 1 *
BT	コードタイプの転送	*  * 5 Z 0 0 *	 * 5 Z 0 1 *
	コード ID の転送	*  * 6 Z P 0 *	 * 6 Z P 1 *
	コード ID の位置 データの前か後	* 前  * 7 Z Q 0 *	後  * 7 Z Q 1 *
	桁数の転送	*  * 0 Z S 0 *	 * 0 Z S 1 *

15-17 動作設定 アルファベット大文字小文字の変換/制御文字の転送

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定



アルファベット大文字小文字の変換

モード	変換しない	大小を逆に変換	全て小文字に変換	全て大文字に変換
ケーブル	*  * 6 S W 0 *	 * 6 S W 1 *	 * 6 S W 2 *	 * 6 S W 3 *
メモリ	*  * 3 W G 0 *	 * 3 W G 1 *	 * 3 W G 2 *	 * 3 W G 3 *
BT	*  * A 0 0 0 *	 * A 0 0 1 *	 * A 0 0 2 *	 * A 0 0 3 *

























制御文字の転送 許可に設定すると、読み取りデータ内のアスキー制御文字を転送します

モード	禁止	許可
ケーブル	*  * 3 S T 0 *	 * 3 S T 1 *
メモリ	*  * 0 W D 0 *	 * 0 W D 1 *
BT	*  * 5 Z X 0 *	 * 5 Z X 1 *

15-18 読取設定 UPC-A




























	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定



設定	設定メニュー			
読み取り	禁止  * I D C 0 *		* 許可  * I D C 1 *	
チェックデジット転送	禁止  * P D J 0 *		* 許可  * P D J 1 *	
アドオンの読み取り	* 禁止  * J D M 0 *	2 桁  * J D M 1 *	5 桁  * J D M 2 *	2 桁と 5 桁  * J D M 3 *
アドオンの確認	* 禁止  * J D D 0 *		許可  * J D D 1 *	
アドオンの確認回数 アドオンの確認を許可にすると確認回数が反映します。モードごとに設定します。 メモ UPC/EAN/JAN とも同じメニューです	ケーブルモード用  * 1 T 8 + * →0-255(回/20)→セット→設定 終了	メモリモード用  * 6 W S + * (設定手順は同左)	BT モード用  * D O C + * (設定手順は同左)	
先頭から連続する 0 の削除	* 禁止  * O D I 0 *		許可  * O D I 1 *	
データの削除 データの前か後	前方から削除  * I D U + * →0-255(桁/1)→セット→設定終了		後方から削除  * J D V + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * K D W + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		挿入データ 2 の位置  * N D Z + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データ	挿入データ 1  * L D X + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了		挿入データ 2  * P E O + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	
コード ID	コード ID の文字  * I E 2 + * →アスキー2 文字(A)→セット→設定終了			
EAN 13 / JAN 13 に変換	* 禁止  * K D E 0 *		許可  * K D E 1 *	

メモ 「EAN 13 / JAN 13 に変換」を許可に設定後、UPC-A(12 桁)を読み取ると先頭に 0 を追加し 13 桁で転送します。設定後、コードタイプの転送を許可に設定すると UPC-A のコードタイプは(EAN-13)を転送します。また、コード ID の転送を許可に設定すると UPC-A のコード ID は EAN 13 / JAN 13 のコード ID 「F」を転送します。














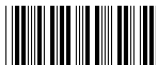


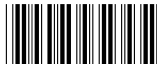








15-19 読取設定 UPC-E

		設定開始		設定終了			
* 印は出荷時設定							
設定	設定メニュー						
読み取り	禁止  * 0 E 8 0 *			* 許可  * 0 E 8 1 *			
チェックデジット転送	禁止  * M E F 0 *			* 許可  * M E F 1 *			
アドオンの読み取り	* 禁止  * P E I 0 *		2 桁  * P E I 1 *		5 桁  * P E I 2 *		2 桁と 5 桁  * P E I 3 *
アドオンの確認	* 禁止  * P E 9 0 *			許可  * P E 9 1 *			
アドオンの確認回数 アドオンの確認を許可にすると確認回数が反映します。モードごとに設定します。 メモ UPC/EAN/JAN とも同じメニューです	ケーブルモード用  * 1 T 8 + * →0-255(回/20)→セット→設定終了		メモリモード用  * 6 W S + * (設定手順は同左)		BT モード用  * D 0 C + * (設定手順は同左)		
13 桁に変換	* 禁止  * Q E A 0 *			許可  * Q E A 1 *			
先頭から連続する 0 の削除	* 禁止  * L E E 0 *			許可  * L E E 1 *			
データの削除 データの前か後	前方から削除  * 0 E Q + * →0-255(桁/1)→セット→設定終了			後方から削除  * P E R + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了			
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * Q E S + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了			挿入データ 2 の位置  * K E V + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了			
挿入データ	挿入データ 1  * I E T + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了			挿入データ 2  * L E W + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了			
コード ID	コード ID の文字  * N E Y + * →アスキー2 文字(E)→セット→設定終了			サブコード ID の文字  * Q F 0 + * →アスキー2 文字(E)→セット→設定終了			
				13 桁に変換を許可にしたときの ID			




























15-20 読取設定 EAN-13/JAN-13

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---



* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー			
読み取り	禁止  * L F 4 0 *		* 許可  * L F 4 1 *	
チェックデジット転送	禁止  * J F B 0 *		* 許可  * J F B 1 *	
アドオンの読み取り	* 禁止  * M F E 0 *	2 桁  * M F E 1 *	5 桁  * M F E 2 *	2 桁と 5 桁  * M F E 3 *
アドオンの確認 アドオンの確認回数を別途設定で きます。→参照	* 禁止  * M F 5 0 *		許可  * M F 5 1 *	
アドオンの確認回数 アドオンの確認を許可にすると確 認回数が反映します。モードごと に設定します。 メモ UPC/EAN/JAN とも同じメニューです	ケーブルモード用  * 1 T 8 + * →0-255(回/20)→セット→設定 終了	メモリモード用  * 6 W S + * (設定手順は同左)	BT モード用  * D O C + * (設定手順は同左)	
ISBN/ISSN に変換	* 禁止  * N F 6 0 *		許可  * N F 6 1 *	
先頭から連続する 0 の削除	* 禁止  * I F A 0 *		許可  * I F A 1 *	
データの削除	前方から削除  * L F M + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		後方から削除  * M F N + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * N F 0 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		挿入データ 2 の位置  * Q F R + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データ	挿入データ 1  * O F P + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了		挿入データ 2  * I F S + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	
コード ID	コード ID の文字  * K F U + * →アスキー2 文字(F)→セット→設定終了		サブコード ID の文字  * M F W + * →アスキー2 文字(F)→セット→設定終了	
	ISBN/ISSN 変換を許可にしたときの ID			























15-21 読取設定 EAN-8/JAN-8

		設定開始		設定終了		
* 印は出荷時設定						
設定	設定メニュー					
読み取り	禁止  * I G 0 0 *			* 許可  * I G 0 1 *		
チェックデジット転送	禁止  * P G 7 0 *			* 許可  * P G 7 1 *		
アドオンの読み取り	* 禁止  * J G A 0 *	2 桁  * J G A 1 *	5 桁  * J G A 2 *	2 桁と 5 桁  * J G A 3 *		
アドオンの確認	* 禁止  * J G 1 0 *			許可  * J G 1 1 *		
アドオンの確認回数 アドオンの確認を許可にすると確認回数が反映します。モードごとに設定します。 メモ UPC/EAN/JAN とも同じメニューです	ケーブルモード用  * 1 T 8 + * →0-255(回/20)→セット→設定終了		メモリモード用  * 6 W S + * (設定手順は同左)	BT モード用  * D O C + * (設定手順は同左)		
13 桁に変換	* 禁止  * K G 2 0 *			許可  * K G 2 1 *		
先頭から連続する 0 の削除	* 禁止  * 0 G 6 0 *			許可  * 0 G 6 1 *		
データの削除	前方から削除  * I G I + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了			後方から削除  * J G J + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * K G K + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了			挿入データ 2 の位置  * N G N + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		
挿入データ	挿入データ 1  * L G L + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了			挿入データ 2  * 0 G 0 + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了		
コード ID	コード ID の文字  * Q G Q + * →アスキー2 文字(FF)→セット→設定終了			サブコード ID の文字  * J G S + * →アスキー2 文字(FF)→セット→設定終了		
	13 桁変換を許可にしたときの ID					



15-22 読取設定 Code 39

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---





* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	禁止  * N G W 0 *	* 許可  * N G W 1 *
スタート/ストップ転送	* 禁止  * Q G Z 0 *	許可  * Q G Z 1 *
チェックデジット確認	* 禁止  * N H 4 0 *	許可  * N H 4 1 *
チェックデジット転送	* 禁止  * M H 3 0 *	許可  * M H 3 1 *
Code 39 の形式	* 標準  * P H 6 0 *	Full ASCII Code 39  * P H 6 1 *
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * K H A + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数  * D L H B + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * L H 2 0 *	許可  * L H 2 1 *
データの削除	前方から削除  * O H E + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除  * P H F + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * Q H G + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 2 の位置  * K H J + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * I H H + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 2  * L H K + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字  * N H M + * →アスキー2文字(M)→セット→設定終了	サブコード ID の文字  * P H 0 + * →アスキー2文字(M)→セット→設定終了
		Full ASCII Code39 の ID



15-23 読取設定 Interleaved 2 of 5

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---


















* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	* 禁止  * N J K 0 *	許可  * N J K 1 *
チェックデジット確認	* 禁止  * M J S 0 *	許可  * M J S 1 *
チェックデジット転送	* 禁止  * L J R 0 *	許可  * L J R 1 *
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * J J Y + * →4-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数  * K J Z + * →4-255(桁/0)→セット→設定終了
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * K J Q 0 *	許可  * K J Q 1 *
データの削除	前方から削除  * O K 2 + * →4-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除  * P K 3 + * →4-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * Q K 4 + * →4-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 2 の位置  * K K 7 + * →4-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * I K 5 + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 2  * L K 8 + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コードID	コードIDの文字  * N K A + * →アスキー2文字(I)→セット→設定終了	



15-24 読取設定 Industrial 2 of 5

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

















* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	* 禁止  * K K G 0 *	許可  * K K G 1 *
チェックデジット確認	* 禁止  * J K 0 0 *	許可  * J K 0 1 *
チェックデジット転送	* 禁止  * I K N 0 *	許可  * I K N 1 *
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * P K U + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数  * Q K V + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * Q K M 0 *	許可  * Q K M 1 *
データの削除	前方から削除  * K K Y + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除  * L K Z + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * N L 0 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 2 の位置  * Q L 3 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * 0 L 1 + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 2  * I L 4 + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字  * K L 6 + * →アスキー2文字(J)→セット→設定終了	



15-25 読取設定 Matrix 2 of 5

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---


























* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	* 禁止  * Q L C 0 *	許可  * Q L C 1 *
チェックデジット確認	* 禁止  * P L K 0 *	許可  * P L K 1 *
チェックデジット転送	* 禁止  * O L J 0 *	許可  * O L J 1 *
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * M L Q + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数  * N L R + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * N L I 0 *	許可  * N L I 1 *
データの削除	前方から削除  * Q L U + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除  * I L V + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * J L W + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 2 の位置  * M L Z + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * K L X + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 2  * O M O + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コードID	コードIDの文字  * Q M 2 + * →アスキー2文字(G)→セット→設定終了	


15-26 読取設定 Codabar / NW7

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---























* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー			
読み取り	禁止  * Q I 0 0 *		* 許可  * Q I 0 1 *	
スタート/ストップ転送	* 禁止  * K I R 0 *		許可  * K I R 1 *	
スタート/ストップ転送形式	* ABCD/ABCD  * L J 0 0 *	abcd/abcd  * L J 0 1 *	ABCD/TN*E  * L J 0 2 *	abcd/tn*e  * L J 0 3 *
スタート/ストップ同一確認 許可はスタートとストップが同一の ときのみ読み取る	* 禁止  * J I Q 0 *		許可  * J I Q 1 *	
チェックデジット確認 MOD16 のチェックデジットを確認 します	* 禁止  * P I W 0 0 *		許可  * P I W 1 *	
チェックデジット転送	* 禁止  * 0 I V 0 *		許可  * 0 I V 1 *	
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * N J 2 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		最大読取桁数  * 0 J 3 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * N I U 0 *		許可  * N I U 1 *	
データの削除	前方から削除  * I J 6 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		後方から削除  * J J 7 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * K J 8 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		挿入データ 2 の位置  * N J B + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データ	挿入データ 1  * L J 9 + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了		挿入データ 2  * 0 J C + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	
コード ID	コード ID の文字  * Q J E + * →アスキー2文字(N)→セット→設定終了			

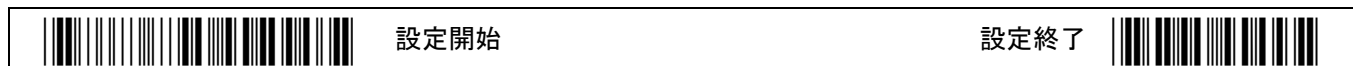
15-27 読取設定 Code 128

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー		
読み取り	禁止  * K H S 0 *	* 許可  * K H S 1 *	
転送形式 GS1-128 を設定すると、AI のカッ コ転送、GS1 AIM ID 転送の設定が 反映されます。	* 標準  * 0 I 4 0 *	GS1-128  * 0 I 4 1 *	
AI カッコ追加 転送形式を GS1-128 に設定し、許 可を設定すると GS1-128 の AI に カッコ()を付けて転送します	* 禁止  * 0 H W 0 *	許可  * 0 H W 1 *	AI カッコ追加 許可 設定時の オプション設定 AI カッコ変更  * K I 9 + * →1 文字()→セット→設定終了 ※初期値 28 は()を設定します
GS1 AIM ID 転送 転送形式を GS1-128 に設定し、許 可を設定すると GS1-128 の先頭 に[C1]を追加、区切り FNC1 を 4 文字の<GS>として転送します	* 禁止  * P H X 0 *	許可  * P H X 1 *	GS1 AIM ID 転送 許可設定時の オプション設定 区切 FNC1 変更  * J I 8 + * →1 文字(<GS>)→セット→設定終 了※初期値 1D は 4 文字の<GS>を 転送します
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * Q I 6 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数  * I I 7 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
先頭から連続する 0 の削除	* 禁止  * Q H Y 0 *	許可  * Q H Y 1 *	
データの削除	前方から削除  * L I A + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除  * M I B + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * N I C + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 2 の位置  * Q I F + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データ	挿入データ 1  * 0 I D + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 2  * I I G + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	
コード ID メモ コード ID は Code 128 の ID、サブコード ID は、GS1-128 の ID です。	コード ID の文字  * K I I + * →アスキー2 文字(K)→セット→設定終了	サブコード ID の文字  * M I K + * →アスキー2 文字(K)→セット→設定終了	

15-27 読取設定 Code 128 (続き)



* 印は出荷時設定

資料 転送形式 GS1-128 とオプション設定の説明です。

GS1-128 のデータが <FNC1>0124512345678900172212003010<FNC1>10A1234 のときの各設定と転送データ



(01)24512345678900(17)221200(30)10(10)A1234

転送形式	AI カッコ追加	GS1 AIM ID	制御文字の転送	転送データ
GS1-128	禁止	禁止	禁止	012451234567890017221200301010A1234
			許可	01245123456789001722120030100x1D10A1234
		許可	禁止	JC10124512345678900172212003010<GS>10A1234
			許可	JC10124512345678900172212003010<GS>10A1234
	許可	禁止	禁止	(01)24512345678900(17)221200(30)10(10)A1234
			許可	(01)24512345678900(17)221200(30)10(10)A1234
		許可	禁止	JC1(01)24512345678900(17)221200(30)10(10)A1234
			許可	JC1(01)24512345678900(17)221200(30)10(10)A1234

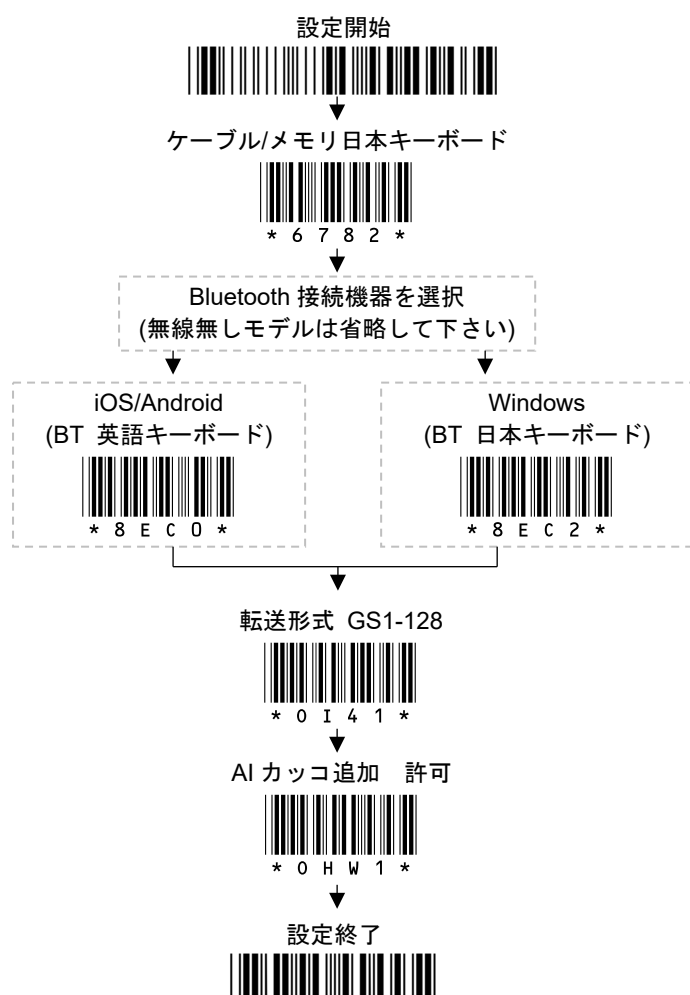
※ 制御文字の転送は 15-16 を参照。

※ 制御文字 0x1D(ASCII の GS)は、USB HID と Bluetooth HID では F12 キーになります。



※ <GS>は表示通りの 4 文字です。制御文字 0x1D(ASCII の GS)ではありません。

設定例 GS1-128 の AI にカッコを追加する



















下記の設定メニューを読み取って下さい。



15-28 読取設定 Code 93

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---



















* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー		
読み取り	* 禁止  * N M 8 0 *		許可  * N M 8 1 *
チェックデジット確認	禁止  * M M G 0 *	1 桁  * M M G 1 *	* 2 桁  * M M G 2 *
チェックデジット転送	* 禁止  * L M F 0 *		許可  * L M F 1 *
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * J M M + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		最大読取桁数  * K M N + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
先頭から連続する 0 の削除	* 禁止  * K M E 0 *		許可  * K M E 1 *
データの削除	前方から削除  * N M Q + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		後方から削除  * O M R + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * P M S + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		挿入データ 2 の位置  * J M V + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * Q M T + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了		挿入データ 2  * K M W + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字  * M M Y + * →アスキー2 文字(L)→セット→設定終了		



15-29 読取設定 Code 11

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---




















* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー		
読み取り	* 禁止  * K N 4 0 *		許可  * K N 4 1 *
チェックデジット確認	禁止  * J N C 0 *	1 桁  * J N C 1 *	* 2 桁  * J N C 2 *
チェックデジット転送	* 禁止  * I N B 0 *		許可  * I N B 1 *
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * P N I + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		最大読取桁数  * Q N J + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
先頭から連続する 0 の削除	* 禁止  * Q N A 0 *		許可  * Q N A 1 *
データの削除	前方から削除  * K N M + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		後方から削除  * L N N + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * M N O + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		挿入データ 2 の位置  * P N R + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * N N P + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了		挿入データ 2  * Q N S + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字  * J N U + * →アスキー2 文字(0)→セット→設定終了		



15-30 読取設定 MSI

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---


















* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー			
読み取り	* 禁止  * Q 0 0 0 *		許可  * Q 0 0 1 *	
チェックデジット確認	禁止  * P 0 8 0 *	* Mod10  * P 0 8 1 *	Mod10/10  * P 0 8 2 *	Mod11/10  * P 0 8 3 *
チェックデジット転送	* 禁止  * 0 0 7 0 *		許可  * 0 0 7 1 *	
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * M 0 E + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		最大読取桁数  * N 0 F + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * N 0 6 0 *		許可  * N 0 6 1 *	
データの削除	前方から削除  * Q 0 I + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		後方から削除  * I 0 J + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * J 0 K + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		挿入データ 2 の位置  * M 0 N + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データ	挿入データ 1  * K 0 L + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了		挿入データ 2  * N 0 O + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	
コード ID	コード ID の文字  * P 0 Q + * →アスキー2文字(P)→セット→設定終了			



15-31 読取設定 Plessey

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---





















* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー	
読み取り	* 禁止  * M O W 0 *	許可  * M O W 1 *
チェックデジット確認	* 禁止  * M P 4 0 *	許可  * M P 4 1 *
チェックデジット転送	* 禁止  * L P 3 0 *	許可  * L P 3 1 *
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * J P A + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	最大読取桁数  * K P B + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * K P 2 0 *	許可  * K P 2 1 *
データの削除	前方から削除  * N P E + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除  * O P F + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * P P G + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 2 の位置  * J P J + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * Q P H + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 2  * K P K + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コードID	コードIDの文字  * M P M + * →アスキー2文字(R)→セット→設定終了	



15-32 読取設定 Telepen

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---














* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー		
読み取り	* 禁止  * J P S 0 *		許可  * J P S 1 *
転送形式	* Numeric  * L Q 2 0 *	ASCII  * L Q 2 1 *	自動  * L Q 2 2 *
チェックデジット確認	* 禁止  * J Q 0 0 *		許可  * J Q 0 1 *
チェックデジット転送	* 禁止  * Q P Z 0 *		許可  * Q P Z 1 *
最小/最大読取桁数	最小読取桁数  * P Q 6 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		最大読取桁数  * Q Q 7 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
先頭から連続する0の削除	* 禁止  * P P Y 0 *		許可  * P P Y 1 *
データの削除	前方から削除  * K Q A + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		後方から削除  * L Q B + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * M Q C + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		挿入データ 2 の位置  * P Q F + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * N Q D + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了		挿入データ 2  * Q Q G + * →アスキー2文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字  * J Q I + * →アスキー2文字(S)→セット→設定終了		

15-33 読取設定 GS1 データバー標準型 (オムニディレクショナル)

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー		
読み取り	* 禁止  * P Q 0 0 *		許可  * P Q 0 1 *
AI カッコ追加 許可を設定すると AI にカッコ()を付けて転送します	* 禁止  * K Q S 0 *	許可  * K Q S 1 *	AI カッコ追加 許可 設定時のオプション設定
			AI カッコ変更  * P R 5 + * →1 文字() →セット→設定終了 ※初期値 28 は()を設定します
GS1 AIM ID 転送 許可を設定すると先頭に]e0 を追加、区切り FNC1 を 4 文字の<GS>として転送します	* 禁止  * L Q T 0 *	許可  * L Q T 1 *	
データの削除 <div>メモ 先頭 01 を転送しない場合、設定開始→前方から削除→下記欄外 2→セット→設定終了を設定します。詳細は欄外メモを参照。</div>	前方から削除  * Q R 6 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		後方から削除  * I R 7 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
	挿入データ 1 の位置  * J R 8 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		挿入データ 2 の位置  * M R B + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * K R 9 + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了		挿入データ 2  * N R C + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
	コード ID の文字  * P R E + * →アスキー2 文字(T)→セット→設定終了		



メモ 先頭のアプリケーション識別子 01 を転送しない設定 → 次の設定をして下さい。

設定開始→前方から削除→2→セット→設定終了















(設定後、元に戻す場合 設定開始→前方から削除→0→セット→設定終了)



15-34 読取設定 GS1 データバー限定型 (リミテッド)

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー		
読み取り	* 禁止  * M R K 0 *		許可  * M R K 1 *
AI カッコ追加 許可を設定すると AI にカッコ()を付けて転送します	* 禁止  * Q R O 0 *	許可  * Q R O 1 *	AI カッコ追加 許可 設定時のオプション設定 AI カッコ変更  * M S 1 + * →1 文字()→セット→設定終了 ※初期値 28 は()を設定します
GS1 AIM ID 転送 許可を設定すると先頭にJe0 を追加、区切り FNC1 を 4 文字の<GS>として転送します	* 禁止  * I R P 0 *	許可  * I R P 1 *	
データの削除 メモ 先頭 01 を転送しない場合、 設定開始→前方から削除→下記欄外 2→セット→設定終了を設定します。詳細は欄外メモを参照。	前方から削除  * N S 2 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		後方から削除  * 0 S 3 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * P S 4 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		挿入データ 2 の位置  * J S 7 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * Q S 5 + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了		挿入データ 2  * M S A + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字  * M S A + * →アスキー2 文字(U)→セット→設定終了		



メモ 先頭のアプリケーション識別子 01 を転送しない設定 → 次の設定をして下さい。

設定開始→前方から削除→2→セット→設定終了















(設定後、元に戻す場合 設定開始→前方から削除→0→セット→設定終了)



15-35 読取設定 GS1 データバー標準二層型（オムニディレクショナルスタック）

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー		
読み取り	* 禁止  * J S G 0 *		許可  * J S G 1 *
AI カッコ追加 許可を設定すると AI にカッコ()を付けて転送します	* 禁止  * N S K 0 *	許可  * N S K 1 *	AI カッコ追加 許可 設定時のオプション設定 AI カッコ変更  * I S X + * →1 文字()→セット→設定終了 ※初期値 28 は()を設定します
GS1 AIM ID 転送 許可を設定すると先頭にJe0 を追加、区切り FNC1 を 4 文字の<GS>として転送します	* 禁止  * 0 S L 0 *	許可  * 0 S L 1 *	
データの削除 メモ 先頭 01 を転送しない場合、 設定開始→前方から削除→下記欄外 2→セット→設定終了を設定します。詳細は欄外メモを参照。	前方から削除  * J S Y + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		後方から削除  * K S Z + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * M T 0 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		挿入データ 2 の位置  * P T 3 + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * N T 1 + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了		挿入データ 2  * Q T 4 + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字  * J T 6 + * →アスキー2 文字(V)→セット→設定終了		



メモ 先頭のアプリケーション識別子 01 を転送しない設定 → 次の設定をして下さい。

設定開始→前方から削除→2→セット→設定終了
















(設定後、元に戻す場合 設定開始→前方から削除→0→セット→設定終了)



15-36 読取設定 GS1 データバー拡張型 (エクспанデッド)

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー		
読み取り	* 禁止  * P T C 0 *		許可  * P T C 1 *
AI カッコ追加 許可を設定すると AI にカッコ()を付けて転送します	* 禁止  * K T G 0 *	許可  * K T G 1 *	AI カッコ追加 許可 設定時のオプション設定 AI カッコ変更  * 0 T T + * →1 文字()→セット→設定終了 ※初期値 28 は()を設定します
GS1 AIM ID 転送 許可を設定すると先頭にJe0 を追加、区切り FNC1 を 4 文字の<GS>として転送します	* 禁止  * L T H 0 *	許可  * L T H 1 *	GS1 AIM ID 転送 許可設定時のオプション設定 区切 FNC1 変更  * N T S + * →1 文字(<GS>)→セット→設定終了 ※初期値 1D は 4 文字の<GS>を転送します
データの削除	前方から削除  * P T U + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		後方から削除  * Q T V + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * I T W + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了		挿入データ 2 の位置  * L T Z + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了
挿入データ	挿入データ 1  * J T X + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了		挿入データ 2  * N U O + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了
コード ID	コード ID の文字  * P U 2 + * →アスキー2 文字(W)→セット→設定終了		

例 GS1 Databar Expanded のデータが 0124512345678900172212003010<FNC1>10A1234 のときの各設定と転送データ

AI カッコ追加	GS1 AIM ID	制御文字の転送	転送データ
禁止	禁止	禁止	012451234567890017221200301010A1234
		許可	01245123456789001722120030100x1D10A1234
	許可	禁止	Je00124512345678900172212003010<GS>10A1234
		許可	Je00124512345678900172212003010<GS>10A1234
許可	禁止	禁止	(01)24512345678900(17)221200(30)10(10)A1234
		許可	(01)24512345678900(17)221200(30)10(10)A1234
	許可	禁止	Je0(01)24512345678900(17)221200(30)10(10)A1234
		許可	Je0(01)24512345678900(17)221200(30)10(10)A1234

※ 制御文字の転送は 15-16 を参照。
















※ 制御文字 0x1D(ASCII の GS)は、USB HID と Bluetooth HID では F12 キーになります。

※ <GS>は表示通りの 4 文字です。制御文字 0x1D(ASCII の GS)ではありません。

15-37 読取設定 GS1 データバー拡張多層型 (エクспанデッドスタック)

	設定開始	設定終了	
---	------	------	---

* 印は出荷時設定

設定	設定メニュー		
読み取り	* 禁止  * M U 8 0 *	許可  * M U 8 1 *	
AI カッコ追加 許可を設定すると AI にカッコ()を付けて転送します	* 禁止  * Q U C 0 *	許可  * Q U C 1 *	AI カッコ追加 許可 設定時のオプション設定 AI カッコ変更  * L U P + * →1 文字() →セット→設定終了 ※初期値 28 は()を設定します
GS1 AIM ID 転送 許可を設定すると先頭にje0 を追加、区切り FNC1 を 4 文字の<GS>として転送します	* 禁止  * I U D 0 *	許可  * I U D 1 *	GS1 AIM ID 転送 許可設定時のオプション設定 区切 FNC1 変更  * K U 0 + * →1 文字(<GS>) →セット→設定終了 ※初期値 1D は 4 文字の<GS>を転送します
データの削除	前方から削除  * M U Q + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	後方から削除  * N U R + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データの位置	挿入データ 1 の位置  * O U S + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	挿入データ 1 の位置  * I U V + * →0-255(桁/0)→セット→設定終了	
挿入データ	挿入データ 1  * P U T + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	挿入データ 2  * J U W + * →アスキー2 文字(なし)→セット→設定終了	
コード ID	コード ID の文字  * L U Y + * →アスキー2 文字(X)→セット→設定終了		

メモ 各設定と転送データについては 15-35 読取設定 GS1 Databar Expanded の欄外の例を参照して下さい。

第 16 章 保証と修理

16-1 保証

■保証について

本製品には保証書が添付されておりません。ただし、本製品に表示している製造番号（シリアルナンバー、S/N）によって保証期間を管理し、保証規定に基づく保証対象製品としております。

■保証規定

保証規定はお客様が購入された本製品について、修理などに関する保証の条件等を規定するものです。

■保証期間

お買い上げ日から 1 年間

■無償保証

製品が正常な使用状態のもとで故障した場合、保証期間内に当社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、保証期間内であっても次に掲げる場合は無償保証の適用を受けることができません。

1. 修理依頼時に、修理依頼書をご提示いただけない場合。
2. 使用上の誤り（落下による衝撃など）によって故障及び損傷が発生した場合。
3. お客様が製品を改造、分解、修理された場合。
4. お客様が、当社が指定するもの以外の機器と接続したことによって故障または破損した場合。
5. お客様による運送または移動の際に、落下または衝撃によって故障または破損した場合。
6. 火災、地震、風水害、落雷およびその他の天災地変、または異常電圧などの外部的要因によって故障または破損した場合。
7. 消耗品(ケーブル、電池)は無償保証の対象外のため有償交換となります。
8. 以上に掲げる場合のほか、故障の原因がお客様の使用方法にあると認められた場合。

■保証範囲

- ・保証規定は、製品についてのみ無償修理をお約束するもので、製品の故障またはお取り扱い上の注意に反する使用により発生した損害、損失については、弊社は一切補償いたしません。
- ・修理または交換にかかる付帯費用（運送費など）は一切補償いたしません。
- ・保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

16-2 修理

●修理について

故障と思われる症状が発生した場合は、説明書などをお読みいただき、正しい設定・接続ができているかをご確認ください。症状が改善されない場合は、弊社ホームページ掲載の「修理依頼書」を印刷の上、修理依頼書に必要事項をご記入いただき、製品に添付して指定の宛先まで現品をお送りください。

修理依頼品の発送送料はお客様のご負担とさせていただきますのでご了承ください。

●修理依頼・製品の送付先について

修理をご依頼になる場合は、まず弊社にご相談ください。

●修理依頼書の入手先

弊社ホームページからダウンロードしてください。

お問い合わせ先

株式会社エイポック

ホームページ <https://www.a-poc.co.jp/>

メール info_mail@a-poc.co.jp

〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 4-36-1 ナイス第 2 ビル 5F

電話 045-508-5201 FAX 045-501-5202

付録 A サンプルバーコード

UPC-A



UPC-E



JAN-13(EAN-13)



JAN-8(EAN-8)



Code 39



CODE39-1Q

Interleaved 2 of 5 (ITF) ※



14512345678903

※出荷時、読み取りは禁止※出荷時、最小読取桁数は6桁

Codabar / NW7



A1234567890A

Code 128



Code128-567890

GS1 Databar Limited GS1 データバー限定型 ※



(01)04598765432113

※出荷時、読み取りは禁止※出荷時、アプリケーション識別子(01)の転送は禁止

印刷設定や環境によってはサンプルを正しく印刷できず、読み取らない場合があります。

















付録 B 英数メニュー

アスキーコード表

<div>H L</div>	0(*)	1(*)	0(**)	1(**)
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	ESC	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

*USB キーボードインターフェースが対応

<div>H L</div>	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	"	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	'	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	¥	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

0	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
A	
B	
C	
D	
E	
F	



セット



設定終了

